



LinkCube

ユーザーガイド

2015年6月25日 第1版発行

2015年7月16日 第2版発行

- ▶セクション29「小組（コマ）を複数配置した状態で自動組版しよう」を追加

2015年12月21日 第3版発行

- ▶セクション13「インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう」に日本語InDesignタグを追加
- ▶セクション14「Google ドライブと連携しよう」を追加
- ▶セクション4「プロジェクトを作ろう」にGoogle ドライブプロジェクトの作成方法を追加
- ▶セクション2「組版用テキストデータを作ろう」にGoogle スプレッドシートを追加
- ▶セクション23「表組を組版しよう（エクセルファイル）」にxlsm（マクロ有効ブック）を追加
- ▶セクション26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」にフィルター機能と1つの小組で複数の増減行を使用する方法を追加
- ▶セクション27「複数データ行を組版しよう（増減テキスト）」にフィルター機能と1つの小組で複数の増減テキストを使用する方法を追加
- ▶セクション44「アカウント情報を変更しよう」～48「ユーザーを管理しよう」を追加

▶ Copyright© 2013-2015 LinkCube.LLC All Rights Reserved.

本ユーザーガイドの内容はすべて、著作権法によって保護されています。

当社の許諾を得ることなく、複写、複製、転載、頒布等の二次利用を禁止します。また、内容を変形、変更、加筆修正等を行うことも同様に禁止いたします。

▶登録商標について

Adobe および InDesign は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

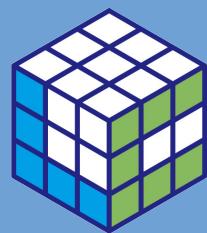
Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。

その他、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

第 1 章

LinkCube の基本

組版データの用意、テンプレートの用意、プロジェクト作成、アップロード、組版実行、ダウンロード、といった全体の流れを解説します。



LinkCube

サンプルを試そう

サンプルプロジェクトを取込む

画面上部、右上のサンプル取込みをクリックすると、サンプルプロジェクトを取込む事ができます。

任意のサンプルをクリックして、取込み実行ボタンをクリックすると、プロジェクトに追加します。

追加されたプロジェクトフォルダをクリック→画面上部の組版実行ボタン→組版実行ボタンで、組版済みフォルダに組版結果が作成されます。

組版結果やテンプレート、組版データをダウンロードし、どのように作られているか確認する事ができます。

取込んだサンプルの組版データやテンプレートを修正し、アップロードすれば色々試すことができます。サンプルを最初の状態に戻す場合、プロジェクトを削除し、もう一度取込んでください。

また、サンプルで使用している画像は、弊社 Web サイト、「LinkCube ユーザーガイド」

<http://link-cube.net/usersguide/>

からダウンロードできます。

Windows 版の方は、ルートフォルダから

C:¥LC サンプル画像 ¥LC ちらし ¥P&G.jpg

Mac 版の方は、ルートディレクトリから (Macintosh HD の下に)

/LC サンプル画像 /LC ちらし /P&G.jpg

となるようにコピーしてください。

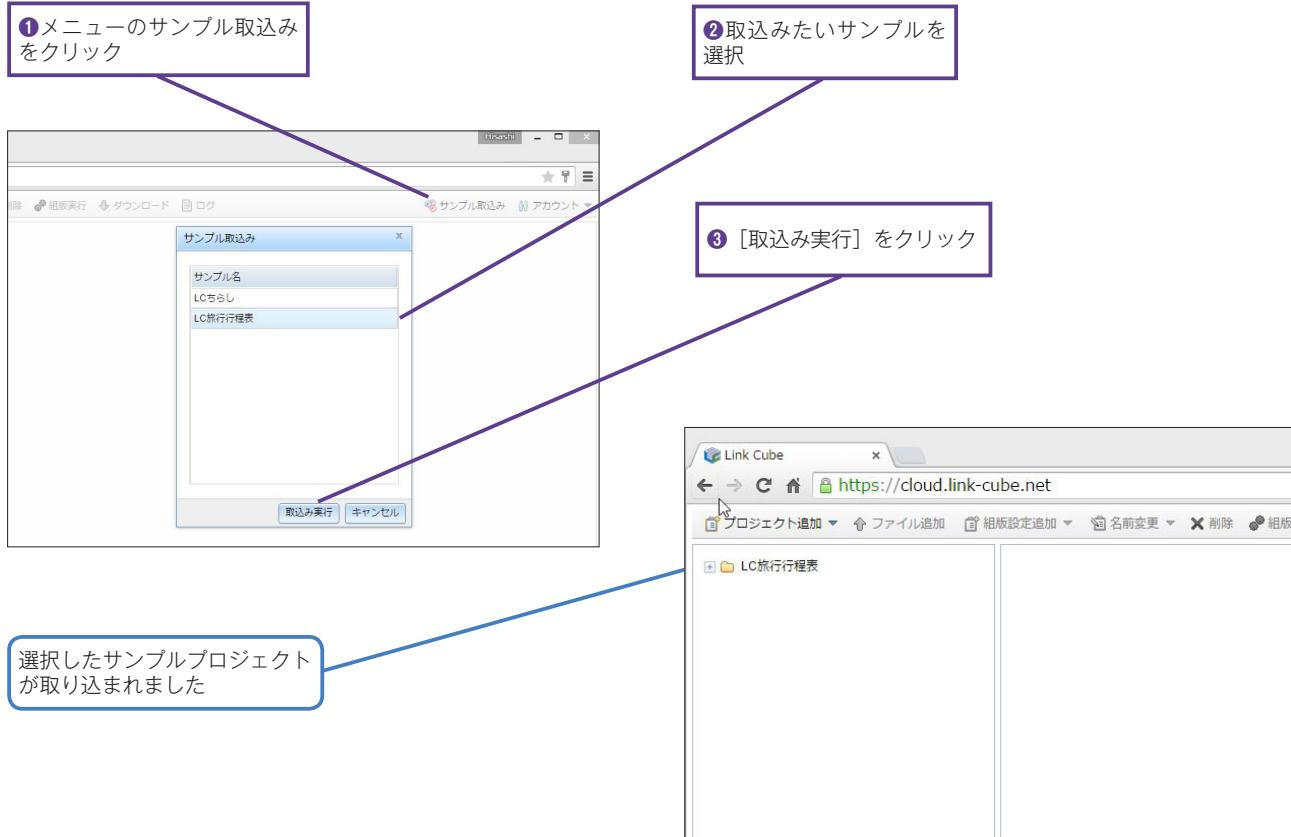
サンプルを複数取込む

Tips

サンプルは複数選択し、取り込むことができます。

(Win)Ctrl キー／(Mac)command キー+クリック、Shift キー+クリックなどで選択できます。

サンプルを試すには



スニペットファイルのデータ入力方法

画像をフレームに配置するように、スニペットをフレームに配置する場合は、ファイル名のみ入力します。例えは、「商品紹介_idml」となります。

スニペットファイルは、プロジェクトのテンプレートフォルダに必ずアップロードしてください。

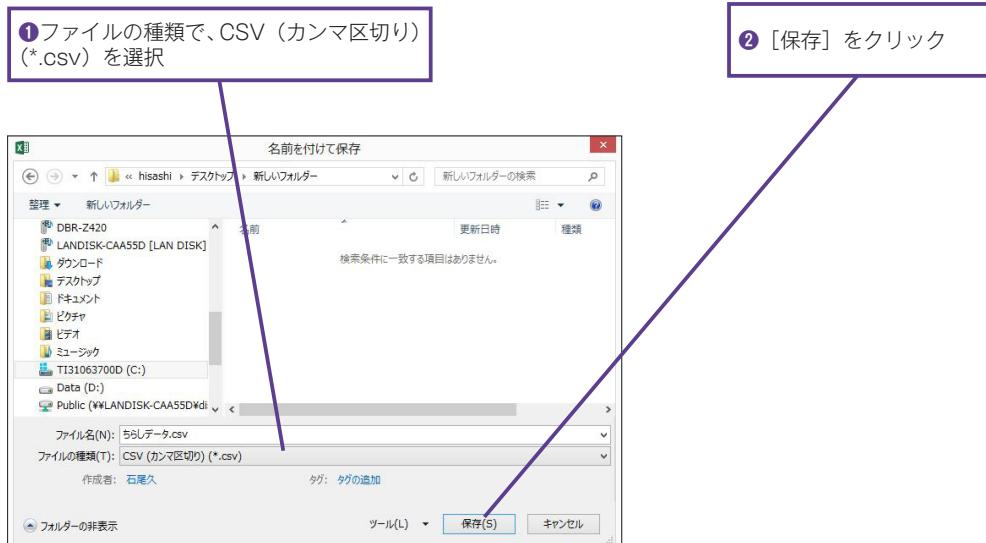
Tセルファイルやcsv, txt, tsvファイルを表組にする入力方法

エクセルシートを表組として配置する場合は、エクセルファイル名|シート名と入力します。フルパスではありません。ファイル名とシート名のみです。例えば、「料金表.xlsx|5-6月」となります。区切り記号「|」以降のシート名は省略可能です。省略時は最初のシートを使用します。入力例は、セクション23「表組を組版しよう（エクセルファイル）」をご覧ください。

csv、txt、tsv ファイルを表組として配置する場合は、ファイル名のみ入力します。例えば、「料金表.csv」となります。入力例は、セクション 24 「表組を組版しよう (csv、txt、tsv ファイル)」をご覧ください。表組にしたいエクセルファイルや csv、txt、tsv ファイルは、プロジェクトの組版データフォルダに必ずアップロードしてください。

また、ヤル文字内にインデザインタグを入力する事もできます。

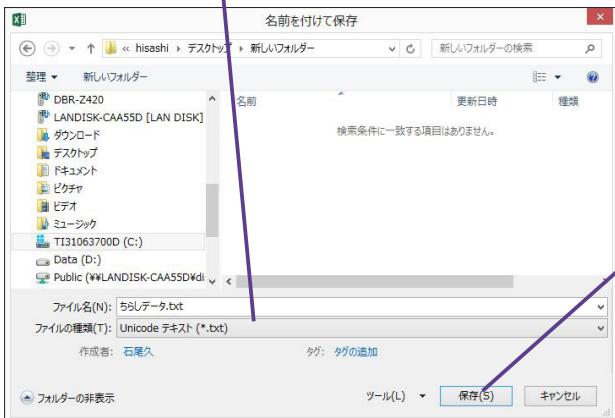
csvファイルを作るには



txt ファイルを作るには

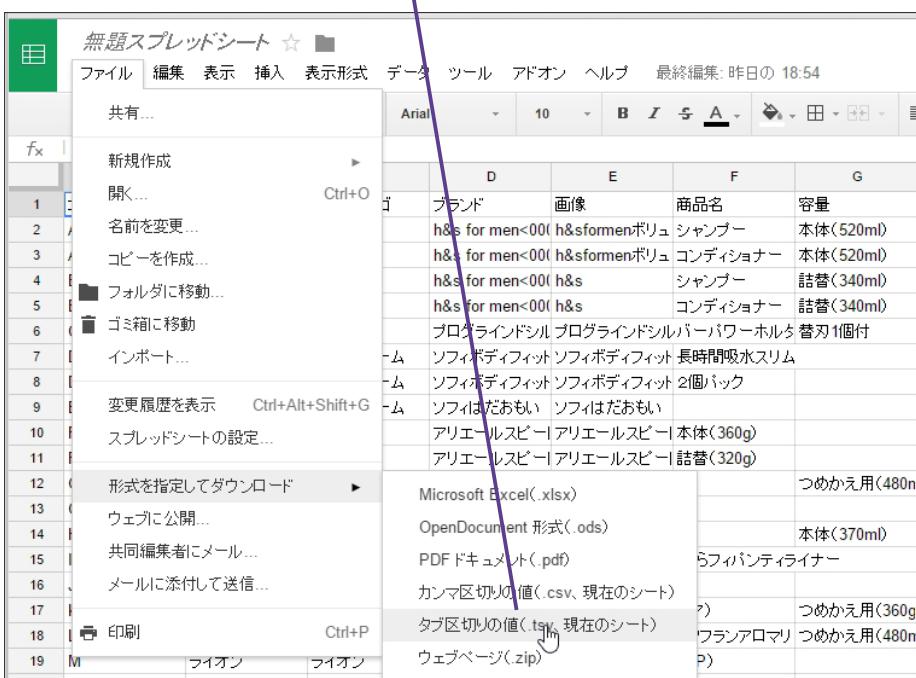
① ファイルの種類で、Unicode テキスト (*.txt) を選択

② [保存] をクリック



tsv ファイルを作るには

① Google スプレッドシートメニューの [ファイル] [形式を指定してダウンロード] [タブ区切りの値 (.tsv、現在のシート)] をクリック



Google スプレッドシートを作るには



3

テンプレートを作ろう

InDesign の標準機能で作成する

テンプレートとして使用できるファイル形式は、InDesign スニペットファイル（拡張子、idms）と、InDesign IDML ファイル（拡張子、idml）です。InDesign テンプレートファイル（拡張子、indt）は使用できません。InDesign の標準機能で、テンプレートを作成します。既存の InDesign ファイルでも構いません。レイアウトが決定すれば、テンプレート作成作業は、8～9割完成です。残りの作業は、流し込みを行いたい箇所に、スタイルを付けます。文字、オブジェクト、表組にスタイルを適用する場合、普段使っているやりやすい方法で、スタイルを適用してください。（先にスタイルを作ったり、既に別のスタイル適用されている場合、基準スタイルを指定してスタイルを作るなど）



スタイルグループ内にスタイルがあるか確認

Tips
作成したスタイルが、[データ接続] スタイルグループ内に正しく作成されているか、スタイルグループを展開、折りたたみ表示して確かめてください。

文字を組版する（段落・文字スタイルを使用）

文字を流し込みたい場合は、段落スタイル、または文字スタイルに「**データ接続**」スタイルグループを作成します。流し込みたい文字範囲（**必ず選択する文字が必要**）を選択後、作成した「データ接続」スタイルグループを選択します。段落スタイル、または文字スタイルパネルで新規スタイルを作成します。スタイル名は、流し込みたい組版用テキストデータ項目名と同じにします。

画像、動画、音声ファイルを配置する（オブジェクトスタイルを使用）

画像、動画、音声ファイルを配置したい場合は、オブジェクトスタイルに「**データ接続**」スタイルグループを作成します。配置したいフレームを選択後、作成した「データ接続」スタイルグループを選択します。オブジェクトスタイルパネルで新規スタイルを作成します。スタイル名は、配置したい組版用テキストデータ項目名と同じにします。

表組を組版する（表スタイルを使用）

データ行に応じて、表組行が変動する組版を行いたい場合、2つの方法があります。

1つめの方法は、エクセルシート、csv、txt、tsv ファイルイメージのまま、表組にする方法です。用意するデータは、組版データ（csv、txt、tsv、Google スプレッドシート）と、表組データ（xls、xlsx、xlsm、csv、txt、tsv）の2つです。テンプレートは、表スタイルの「**データ接続**」スタイルグループ内に、配置したい組版用テキストデータ項目名のスタイルを作成し、表組に適用します。例えば、データ接続／価格表となります。詳しくは、セクション 23「表組を組版しよう（エクセルファイル）」.24「表組を組版しよう（csv、txt、tsv ファイル）」をご覧ください。

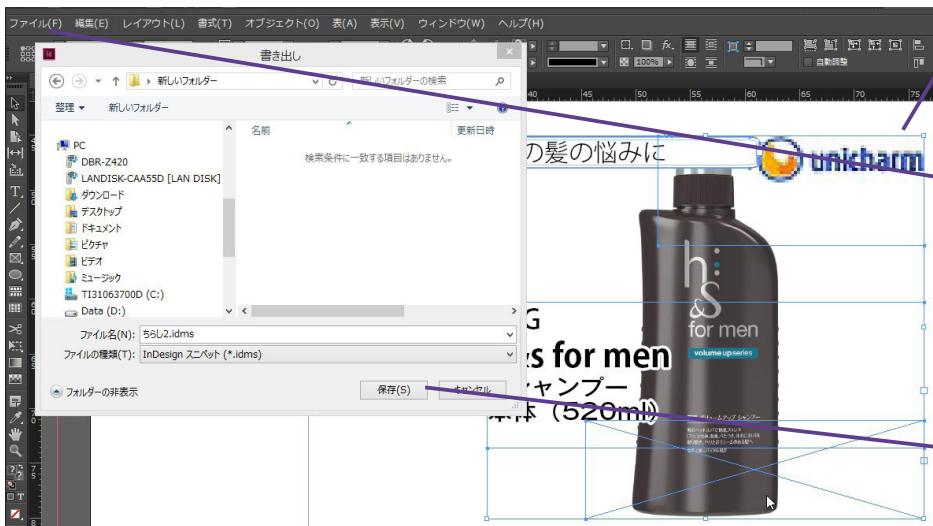
2つめの方法は、組版データ（csv、txt、tsv、Google スプレッドシート）の必要な項目のみ、セル内の文字やオブジェクトに関連付けて表組にする方法です。用意するデータは、組版データのみです。ただし、組版データに「コマコード」項目が必要になります。1つの表組にしたいデータ行を、同じコマコード値にします。テンプレートは、表スタイルの「**データエリア**」スタイルグループ内に「**増減行**」スタイルを作成し、表組に適用します。「増減行」スタイルを適用した表組は、テンプレートにある本文行を繰り返します。例えば、テンプレートの本文行が3行あり、組版データが2行だと、本文行は6行になります。詳しくは、セクション 26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

idms ファイルを作るには

- ① [データ接続] グループ内のスタイルを適用



- ① テンプレートにしたいオブジェクトを選択

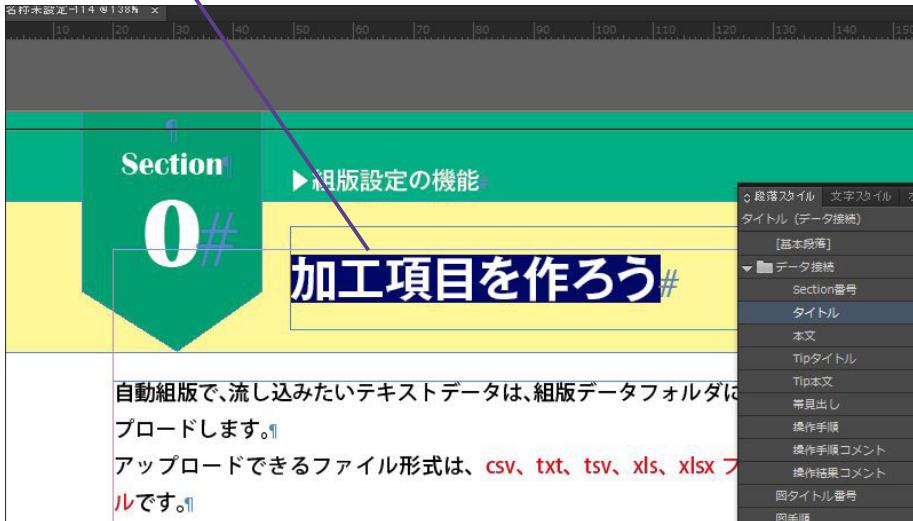


- ② メニューの [ファイル] [書き出し] をクリック

- ③ ファイルの種類で、InDesign
スニペット (*.idms) を選択し、
[保存] をクリック

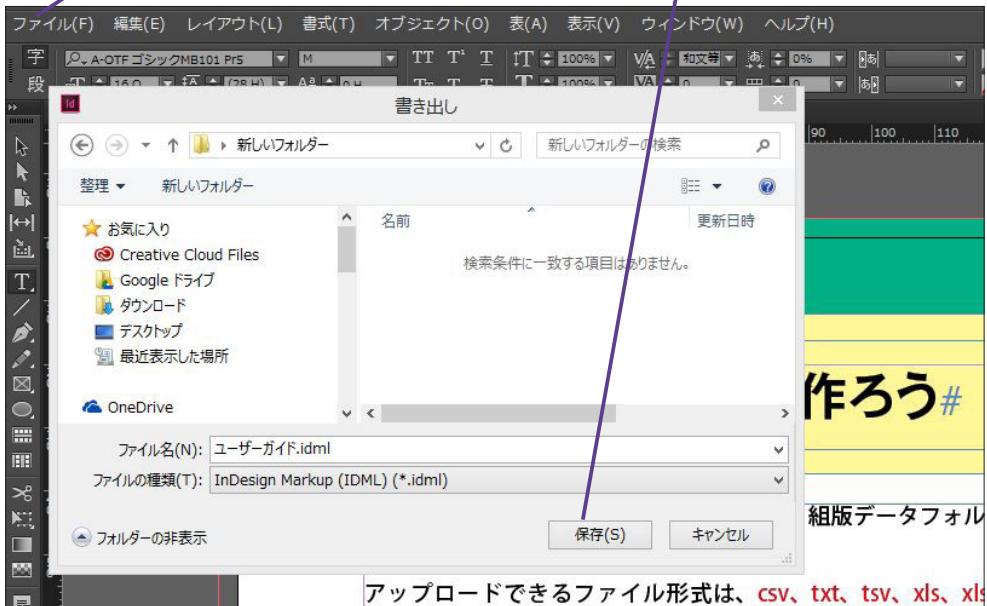
idml ファイルを作るには

① [データ接続] グループ内のスタイルを適用



① メニューの [ファイル] [書き出し] をクリック

② ファイルの種類で、InDesign Markup(IDML) (*.idml) を選択し、[保存] をクリック



プロジェクトを作ろう

プロジェクト（仕事）単位で管理する

プロジェクトは、テンプレート、組版データ、組版設定、自動組版した結果を管理する単位です。

プロジェクトを作成すると、プロジェクトの下に、テンプレート、組版データ、組版設定、組版済みフォルダが自動で作成されます。作成した直後は、全てのフォルダは空の状態です。

テンプレートフォルダには、InDesign で作成した idms ファイルや idml ファイルをアップロードします。

組版データフォルダには、csv、txt、tsv ファイルやエクセルファイル（xls、xlsx、xlsm）をアップロードします。

組版設定フォルダは、ブラウザから文字の置換設定や、エクセル変換などの設定を作成できますが、必須ではありません。組版設定フォルダが空でも、自動組版する事ができます。

組版済みフォルダは、自動組版した結果を保存するフォルダです。このフォルダからダウンロードしたファイルを、InDesign で開いたり（idml ファイル）、配置（idms ファイル）します。

テンプレート、組版データ、組版結果を Google ドライブで管理する

初めて Google ドライブプロジェクトを作成する場合、一度だけアカウントメニューの「Google ドライブと連携する」をクリック後、「許可」をクリックする必要があります。「Google ドライブと連携する」は、管理者のみ表示されます。詳しくは、セクション 14 「Google ドライブと連携しよう」をご覧ください。

プロジェクト作成時に、「Google ドライブプロジェクトにする」にチェックを入れると、Google ドライブにプロジェクトフォルダを作成します。Google ドライブのフォルダ構成は、登録時の会社名フォルダの下に、入力したプロジェクト名フォルダとなります。

Google ドライブプロジェクトにすると、LinkCube のプロジェクトフォルダの下は、組版設定フォルダのみとなります。その他のテンプレート、組版データ、組版済みフォルダは、Google ドライブに作成されます。テンプレートファイル、組版データファイル、組版結果ファイルは、Google ドライブでアップロードやダウンロードを行ってください。Google 社が無料で提供しているアプリをインストールすれば、パソコン内のファイルと Google ドライブを自動で同期するため、ファイルのアップロードやダウンロードが不要になります。URL は以下になります。

<https://www.google.com/intl/ja/drive/download/>

Google ドライブプロジェクトでは、組版データに Google スプレッドシートを使用できます。詳しくは、セクション 2 「組版用テキストデータを作ろう」をご覧ください。

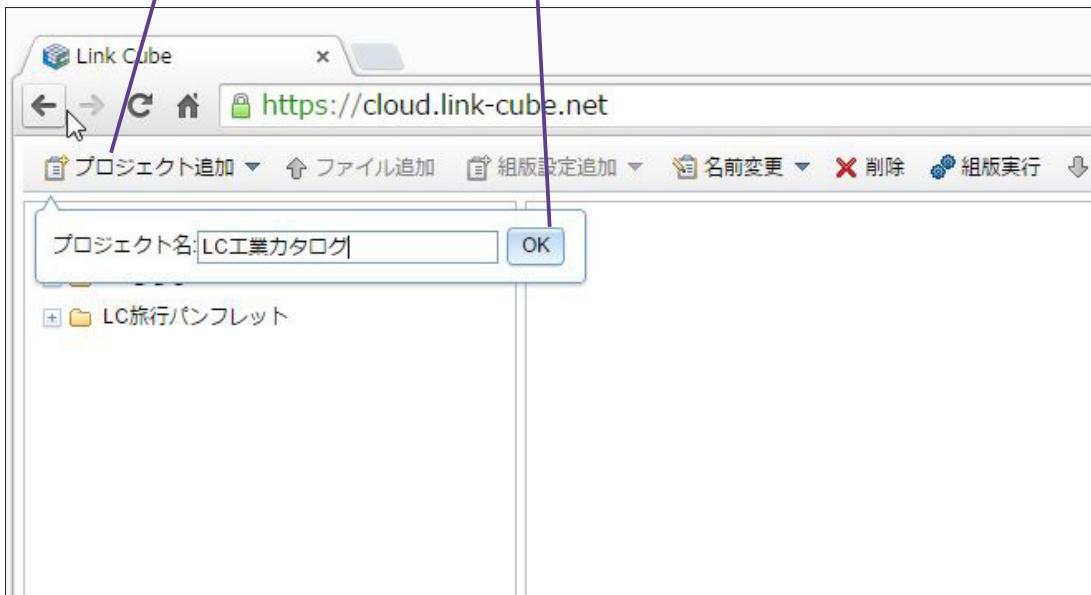
Google ドライブには、強力な共有機能があり、簡単にクラウド上のファイルやフォルダを共有できます。例えばお客様と、組版データや組版結果フォルダの PDF を共有したり、テンプレートを支社や協力会社と共有すれば、より仕事がスムーズになります。

また、Google アカウントに 2 段階認証を使用すれば、Google ドライブのセキュリティが非常に高まります。

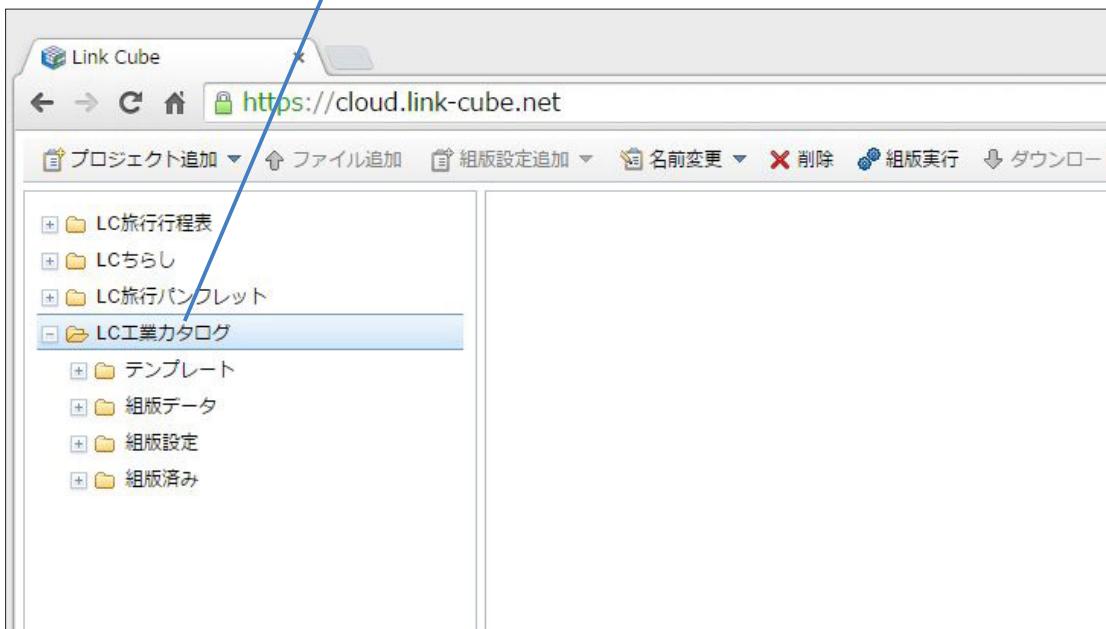
<https://www.google.co.jp/intl/ja/landing/2step/>

プロジェクトを作るには

- ①メニューのプロジェクト追加をクリック
- ②プロジェクト名を入力し[OK]をクリック

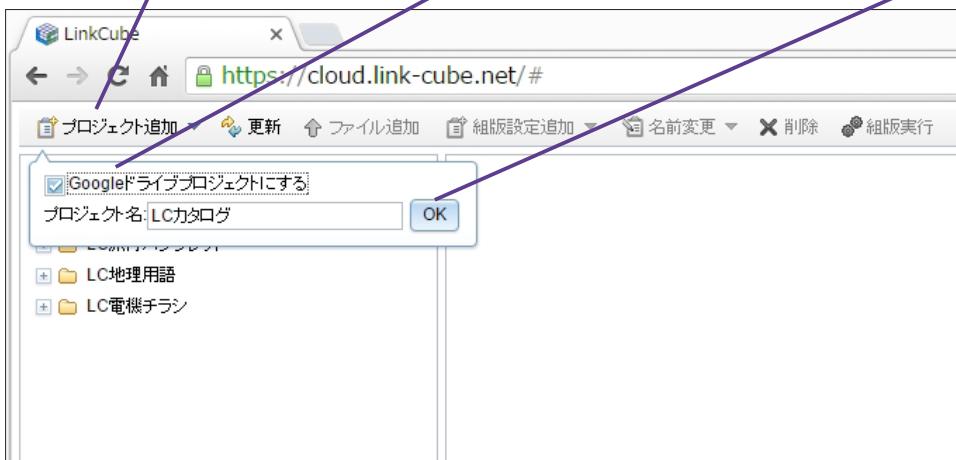


新しく作ったプロジェクトの下にテンプレートフォルダ・組版データ
フォルダ・組版設定フォルダ・組版済みフォルダが作成されました



Google ドライブプロジェクトを作るには

- ①メニューのプロジェクト追加をクリック
- ②Google ドライブプロジェクトにするをチェック
- ③プロジェクト名を入力し[OK]をクリック



新しく作ったプロジェクトの下に組版設定フォルダが作成されました
※ Google ドライブプロジェクトはアイコンが変わります



新しく作ったプロジェクトの下にテンプレートフォルダ・組版データフォルダ・組版済みフォルダが作成されました



組版用テキストデータをアップロードしよう

組版用テキストデータは、組版データフォルダで管理する

自動組版で、流し込みたいテキストデータは、組版データフォルダにアップロードします。

アップロードできるファイル形式は、csv、txt、tsv、xls、xlsx、xlsm ファイルです。xls、xlsx、xlsm ファイルは、エクセルシートイメージのまま、表組を組版したい場合に、アップロードします。

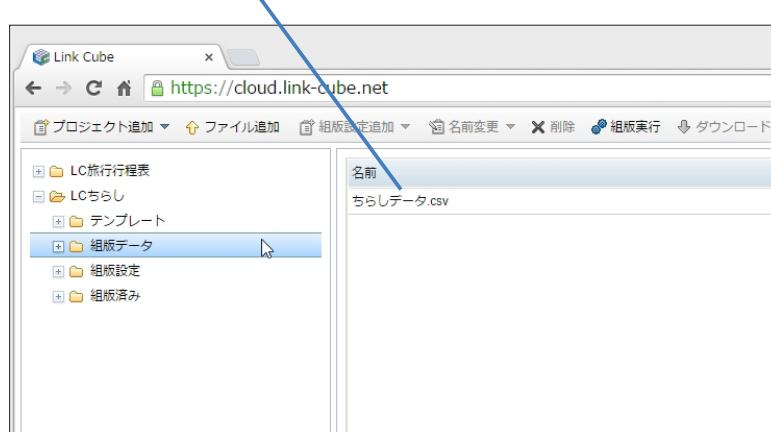
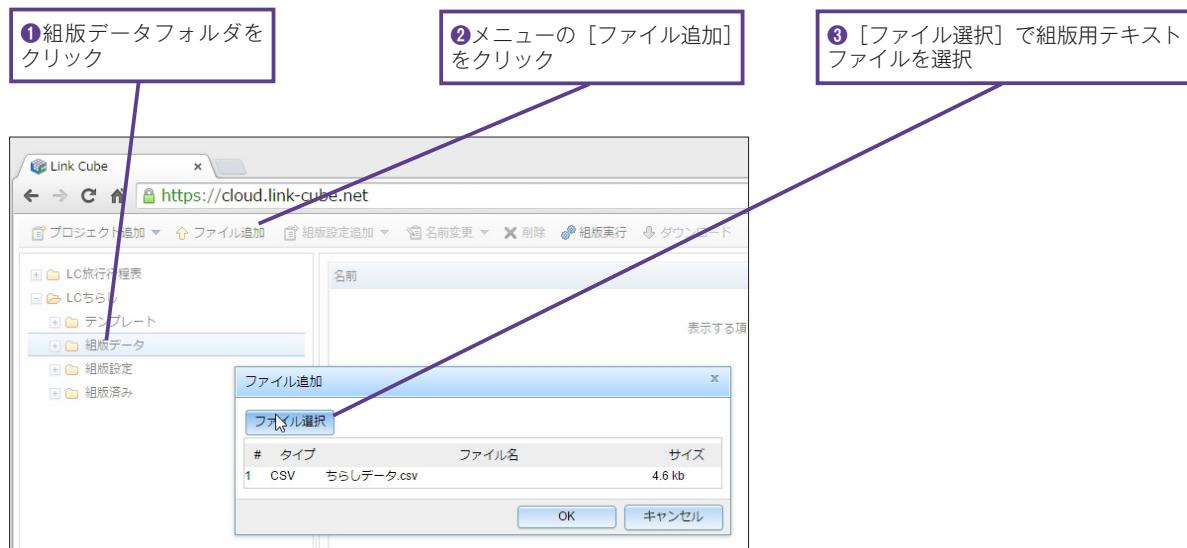
一度に複数ファイルをアップロードすることもできます。同じ名前のファイルをアップロードした場合は、上書きされます。

プロジェクト 1 つにつき、組版データフォルダにアップロードできるファイル数は、最大 500 ファイルです。

💡 ファイルをドラッグ&ドロップで追加する

Tips
ファイル追加するとき、ドラッグ&ドロップでもファイルを追加できます。その場合、ファイル追加ダイアログにドラッグ&ドロップしてください。

組版用テキストデータをアップロードするには



テンプレートをアップロードしよう

テンプレートは、テンプレートフォルダで管理する

テンプレートファイルは、テンプレートフォルダにアップロードします。

アップロードできるファイル形式は、InDesign スニペットファイル（拡張子、idms）と、InDesign IDML ファイル（拡張子、idml）です。InDesign テンプレートファイル（拡張子、indt）は、使用できません。

一度に複数ファイルをアップロードする事ができます。同じ名前のファイルをアップロードした場合は、上書きされます。

プロジェクト 1 つにつき、テンプレートフォルダにアップロードできるファイル数は、最大 500 ファイルです。

また、スニペットファイル（idms）はアップロードするとプレビューが表示されますが、IDML ファイルはプレビューが表示されません。

テンプレートをアップロードするには



テンプレート（スニペット）ファイルがアップロードされ、プレビューとファイル名が表示されました



ファイルをドラッグ&ドロップで追加する

ファイル追加するとき、ドラッグ&ドロップでもファイルを追加できます。その場合、ファイル追加ダイアログにドラッグ&ドロップしてください。

自動組版しよう

テンプレートと組版テキストがあれば自動組版できる

自動組版するには、テンプレートと組版テキストが必要です。組版設定はなくても大丈夫です。

組版ダイアログで、使用したいテンプレート、組版データ、組版データの範囲、保存ファイル名を決定します。

組版データの範囲は、なにも入力しなければ、組版データ行すべてを組版します。

3-5と入力すれば、3～5行目を組版し、3小組作成します(3行目から5行分ではない)。その他の例として、カンマで区切ったり、ハイフンで終わらせます。

10- (10行目以降)

1-5,11-16 (1～5行目、11～16行目)

1-3,10,15 (1～3行目、10行目、15行目)

保存ファイル名は、なにも入力しなければ、「名称未設定 - 連番 4 行」となります。

組版データの項目値をファイル名にする場合は、組版データの項目リストから追加できます。

ファイル名に任意の文字も入力できます。例えば任意の文字 (LC カタログ -) と、項目値 [ホテル名] を組み合わせて

LC カタログ -[ホテル名] とすれば、ファイル名は

LC カタログ - 横浜ホテル となります。

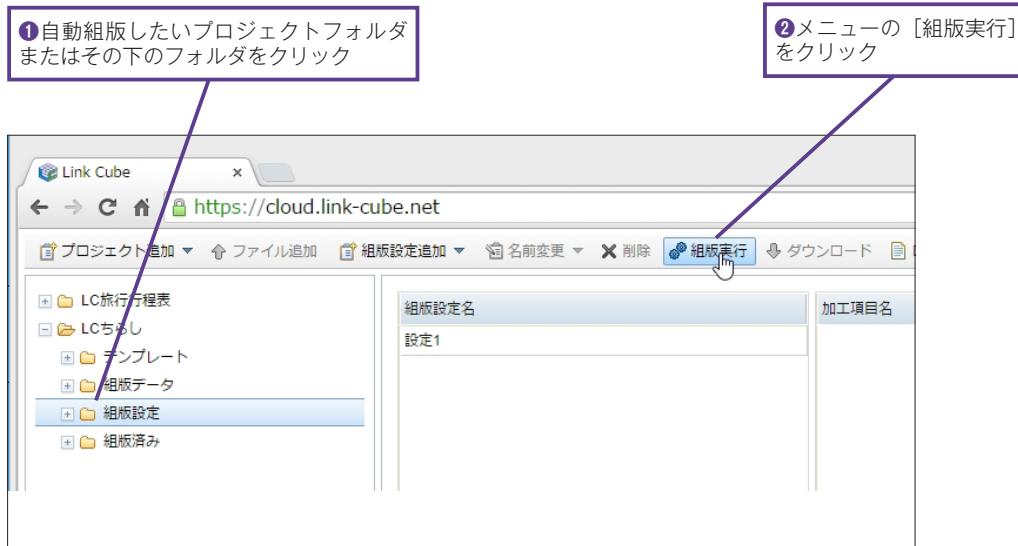
ファイル名が重複した場合は、ファイル名の後に「_ 連番 4 行」を付けます。

ファイル名の最長は、80 文字です。また、ファイル名に使用できない文字は、アンダーバーに置き換えます。

 ファイル名や設定名を入力で
絞り込み
Tips

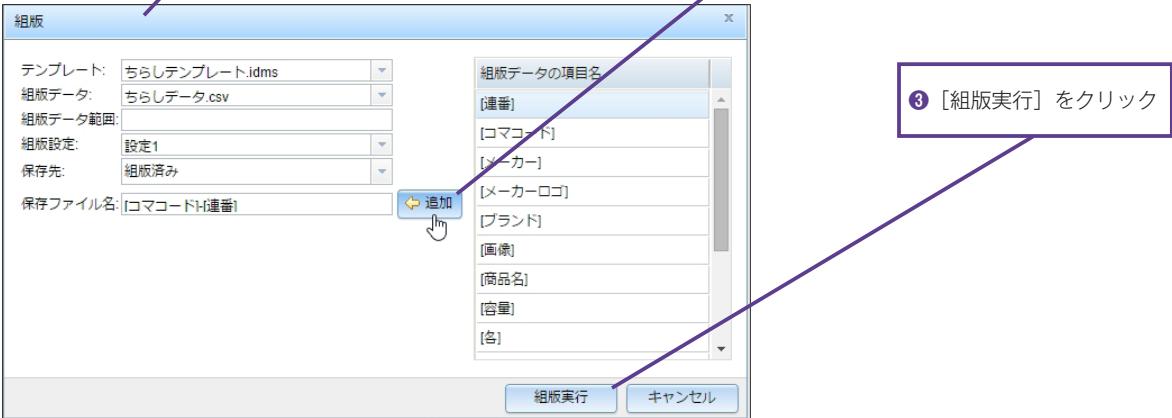
テンプレートや組版データ、組版設定がたくさんある場合、ファイル名または設定名を入力すると絞り込みできます。

自動組版するには



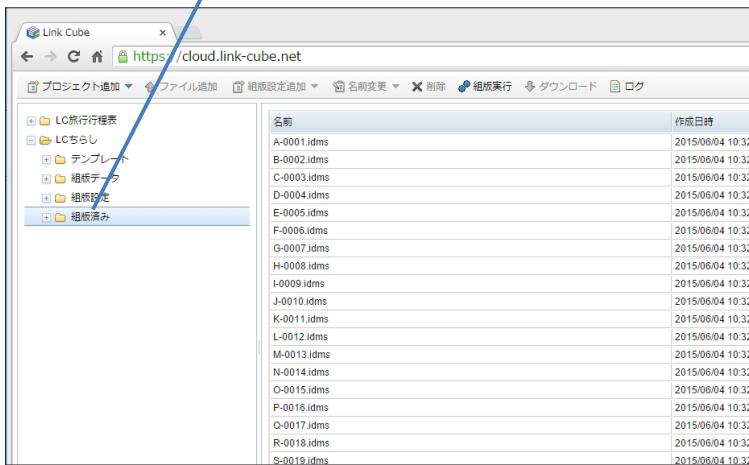
①組版に必要なテンプレートファイル、組版データを選択

②保存ファイル名に、任意の文字を入力したり、組版データ項目を選択し [追加] をクリック



③ [組版実行] をクリック

組版済みフォルダに自動組版結果ファイルが作成されました



ログを確認しよう

正常に終了したか確認する

自動組版を実行すると、ログを出力します。

ログは、画面上部のログボタンをクリックすると確認できます。

組版受付→処理中→正常終了または警告終了または異常終了となりま

す。警告終了や異常終了の表示行をクリックすると、右部に原因が表示されます。例えば、必要なファイルが見つからない、インデザインタグが間違っているなどです。

組版結果をダウンロードする前に確認すると、作業時間の短縮になります。

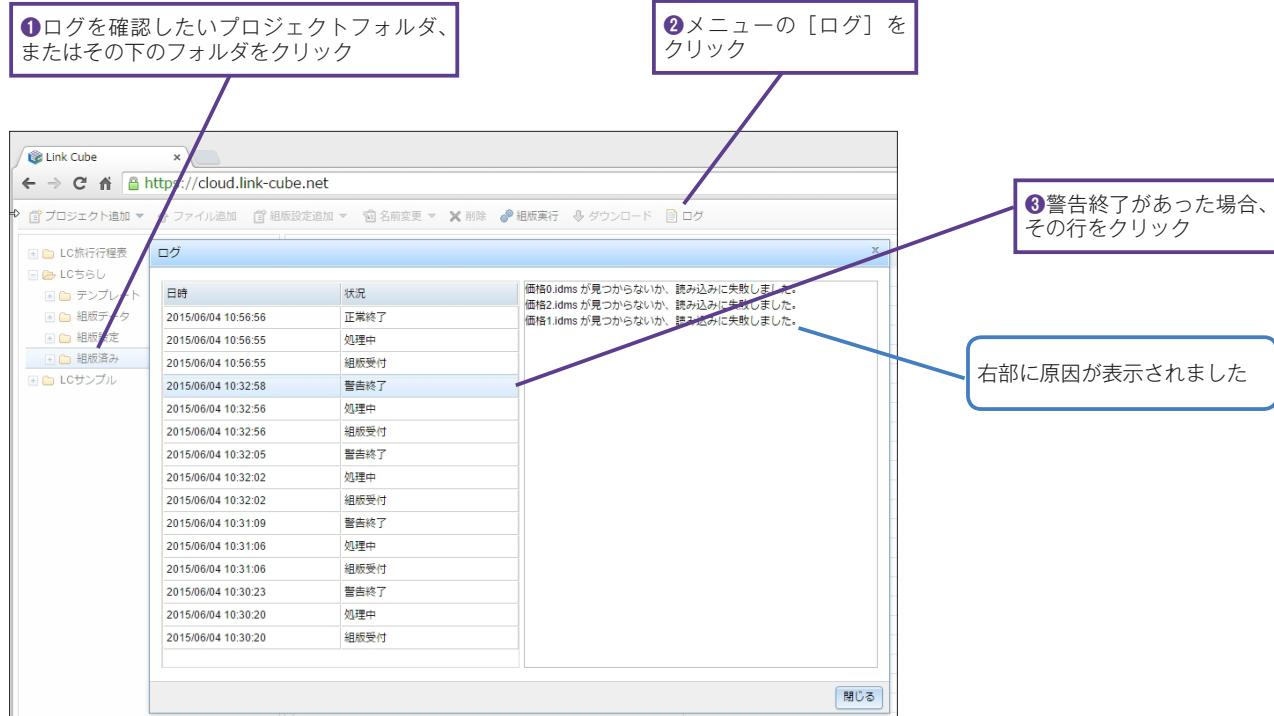
ただし、画像ファイルが見つからない場合、ログで確認できません。画像ファイルが見つからない場合、InDesign 上で画像がグレー表示となります。また、InDesign メニュー→ウィンドウ→リンクパネルで確認する事もできます。

ログの表示

Tips

ログはプロジェクト単位で表示されま
す。表示順は上が新しいログです。

ログを確認するには



組版結果をダウンロードしよう

ファイル選択し、ダウンロードする

自動組版が終了すると、組版済みフォルダに組版結果ファイルが作られます。

組版結果ファイル名をクリック、(Win) Ctrlキー／(Mac) commandキー+クリック、Shiftキー+クリックなどで選択できます。

単一選択してダウンロードすると、表示されているファイル名でダウンロードされます。

複数選択してダウンロードすると、圧縮ファイル名、プロジェクト名-組版済み.zipでダウンロードされます。圧縮ファイルを解凍すると、複数選択したファイルが利用できます。

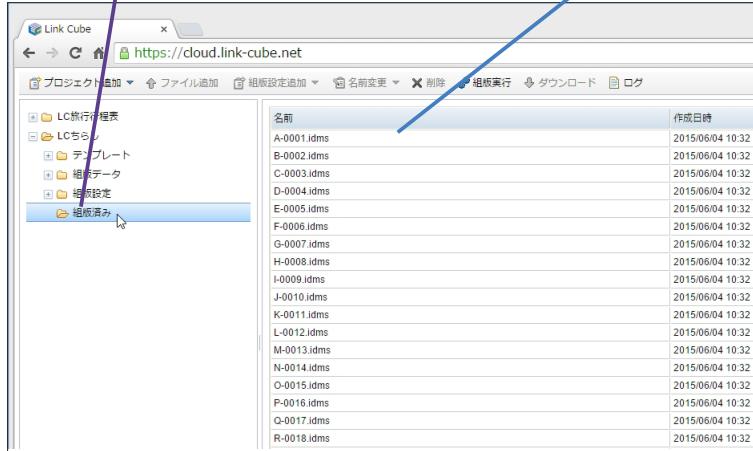
 **テンプレートや組版データも同様**
Tips

テンプレートや組版データも、ダウンロードする手順は同じです。

組版結果をダウンロードするには

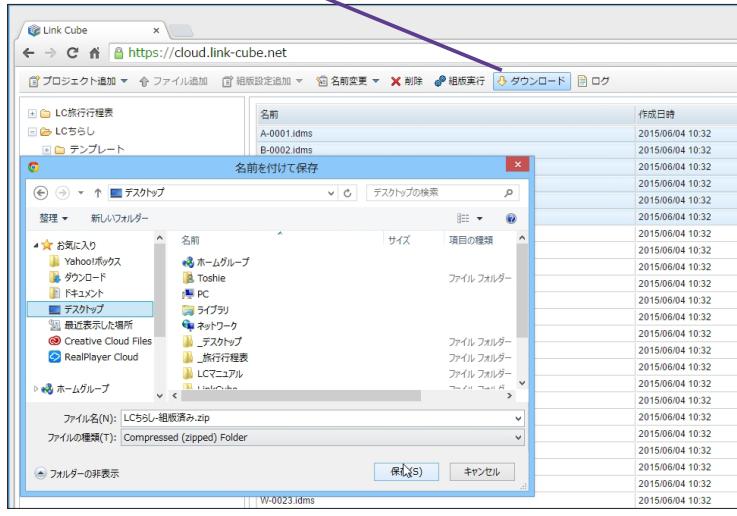
①組版済みフォルダをクリック

組版結果ファイルが表示されました



名前	作成日時
A-0001.idms	2015/06/04 10:32
B-0002.idms	2015/06/04 10:32
C-0003.idms	2015/06/04 10:32
D-0004.idms	2015/06/04 10:32
E-0005.idms	2015/06/04 10:32
F-0006.idms	2015/06/04 10:32
G-0007.idms	2015/06/04 10:32
H-0008.idms	2015/06/04 10:32
I-0009.idms	2015/06/04 10:32
J-0010.idms	2015/06/04 10:32
K-0011.idms	2015/06/04 10:32
L-0012.idms	2015/06/04 10:32
M-0013.idms	2015/06/04 10:32
N-0014.idms	2015/06/04 10:32
O-0015.idms	2015/06/04 10:32
P-0016.idms	2015/06/04 10:32
Q-0017.idms	2015/06/04 10:32
R-0018.idms	2015/06/04 10:32

①ダウンロードしたいファイルを選択し、メニューの「[ダウンロード]」をクリック



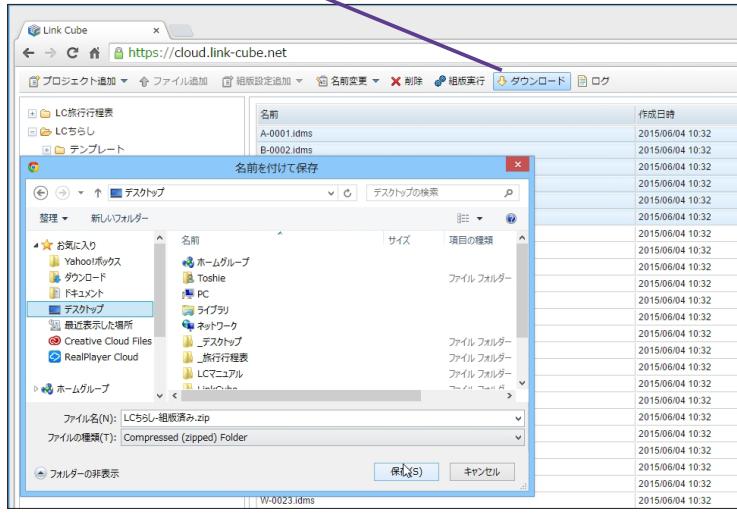
名前を付けて保存

名前: LCちらし-組版済み.zip

ファイル名(N): LCちらし-組版済み.zip

ファイルの種類(T): Compressed (zipped) Folder

保存(S) キャンセル



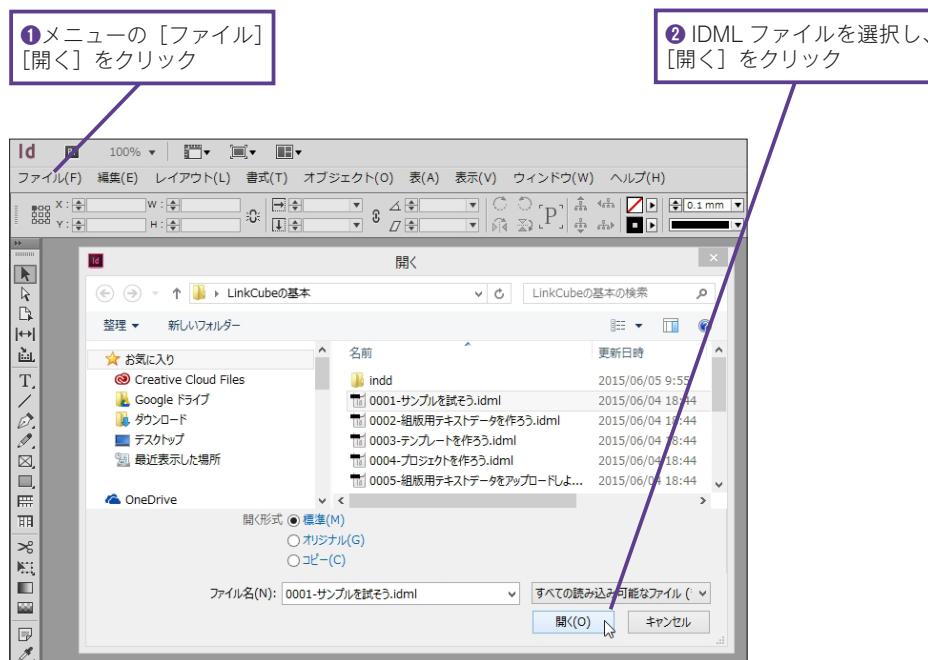
InDesign で開こう、または配置しよう

InDesign でダウンロードしたファイルを使用する

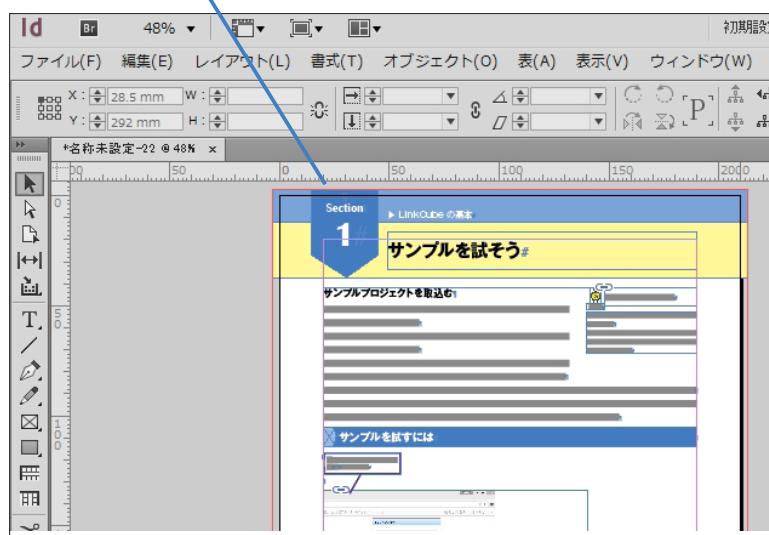
ダウンロードしたスニペットファイル（拡張子、idms）は、InDesign メニューのファイル→配置、または InDesign ドキュメントにドラッグ＆ドロップ、または InDesign メニューのウィンドウ→Mini Bridge で配置できます。

IDML ファイル（拡張子、idml）は、InDesign メニューのファイル→開く、で開く事ができます。
開く、配置ともに複数ファイル選択する事ができます。

InDesign で開くには



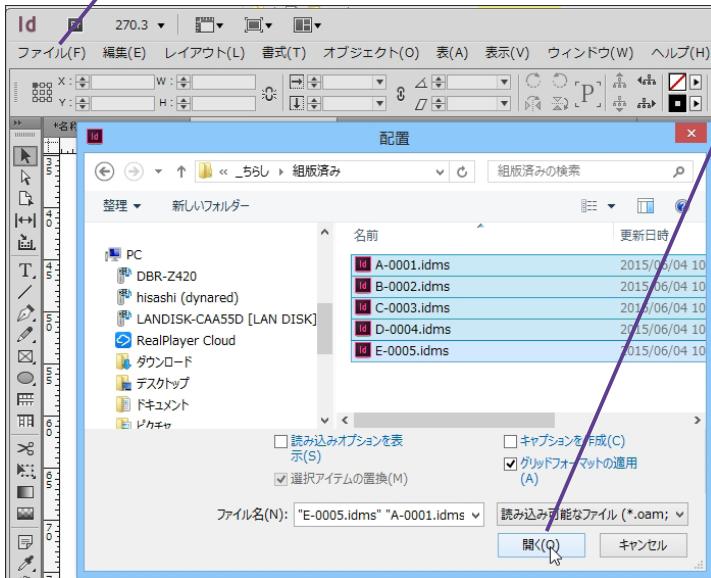
IDML ファイルが表示されました



InDesign で配置するには

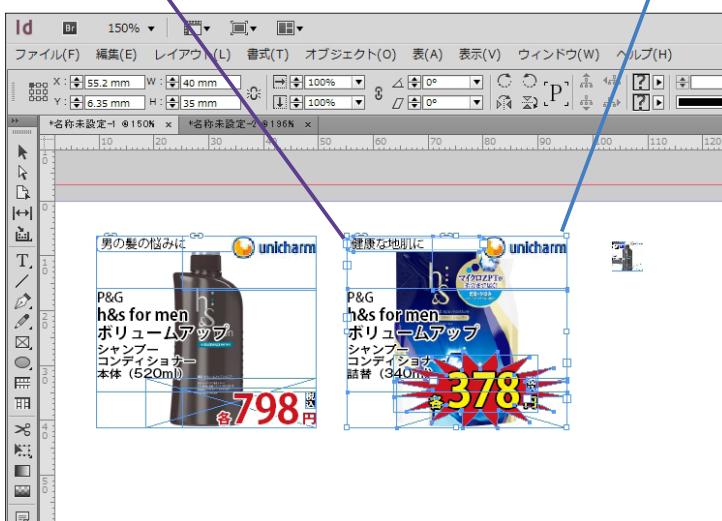
①メニューの【ファイル】
【配置】をクリック

②スニペットファイルを選択し、
【開く】をクリック



①任意の位置でクリック

スニペットファイルがドキュメントに
配置されました



11

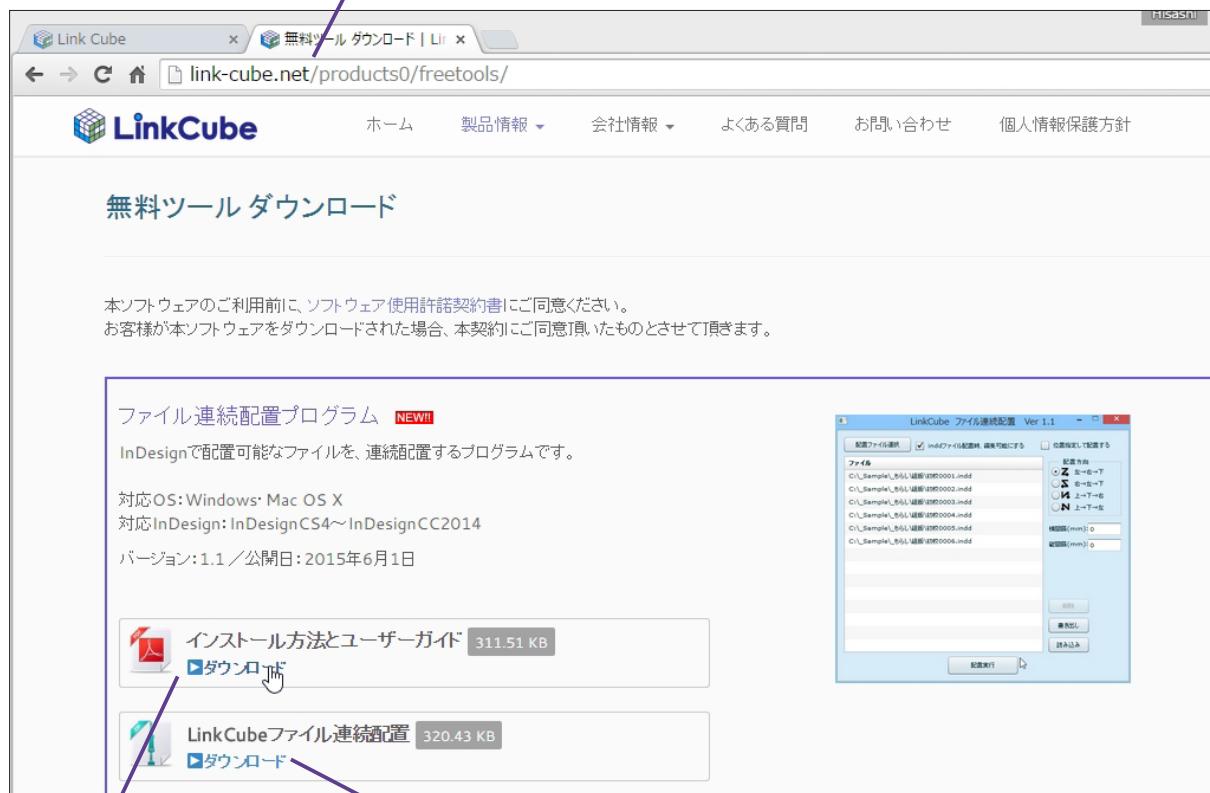
連続で配置しよう

無料の配置プログラムを使用する

左上から始まり右、折り返して下など一定の方向や、ページと位置を指定して、ファイルを配置するプログラムを無料提供しています。弊社 Web サイト、「無料ツール」からダウンロードしてご使用ください。契約に関わらず、どなたでも無料でご使用いただけます。

連続配置するには

- ① ブラウザで <http://link-cube.net/products0/freetools/> にアクセス



② ファイル連続配置プログラムの [インストール方法とユーザーガイド] をダウンロード

③ ファイル連続配置プログラムの [LinkCube ファイル連続配置] をダウンロード

12

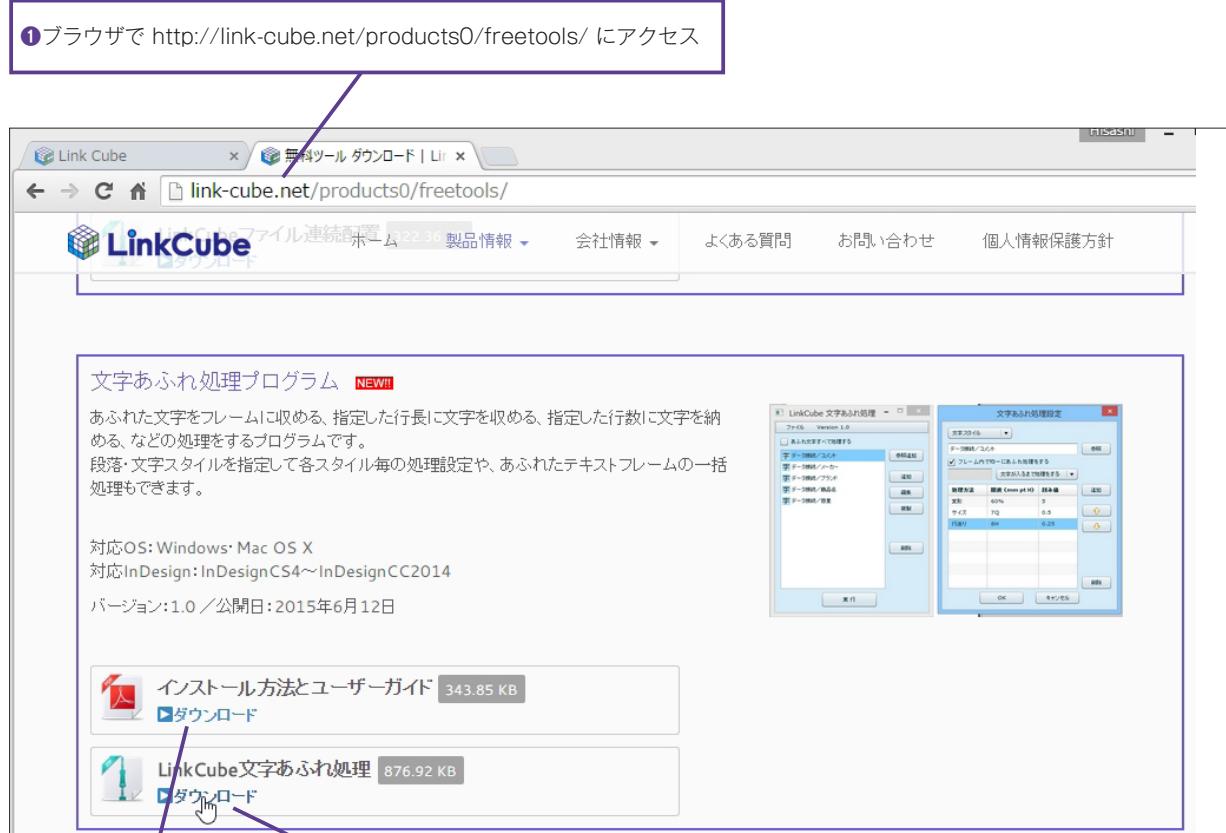
文字あふれを処理しよう

無料の文字あふれ処理プログラムを使用する

文字あふれを処理したり、指定した行数、行長にするプログラムを無料提供しています。弊社 Web サイト、「無料ツール」からダウンロードしてご使用ください。契約に関わらず、どなたでも無料でご使用いただけます。

文字あふれを処理するには

① ブラウザで <http://link-cube.net/products0/freetools/> にアクセス



② 文字あふれ処理プログラムの
[インストール方法とユーザー
ガイド] をダウンロード

③ 文字あふれ処理プログ
ラムの [文字あふれ処理]
をダウンロード



13

インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう

Adobe インデザインタグ資料

インデザインタグを使用しなくても、自動組版は十分可能ですが、インデザインタグを使う事で、より複雑な自動組版にも対応する事ができます。

http://help.adobe.com/ja_JP/indesign/cs/taggedtext/indesign_cs5_taggedtext.pdf

上記 URL は、Adobe 社のインデザインタグ資料です。リンクキューブは、この資料の定義タグ（エンコード指定や段落・文字スタイルを定義するタグ、カラー定義タグなど）、条件テキストタグ、表組タグを除いたタグを使用できます。

定義タグは必要なく、テンプレート上に定義してある段落・文字スタイルを使用します。カラー定義も同様です。テンプレート上に存在していないスタイルや、カラー定義が入力された場合、自動でスタイルやカラー定義（スウォッチ）を作成します。

表組開始や終了タグは使用できませんが、表組の一部タグと、セルのタグを使用できます。詳しくは、セクション 36 「表組の列設定をしよう」.37 「表組の行設定をしよう」.38 「エクセル罫線の変換設定をしよう」の Tip をご覧ください。

リンクキューブ拡張インデザインタグ

リンクキューブでは、インデザインタグの値に単位を使用できます。文字サイズや線幅に、Q,H,pt,mm などです。単位を省略するとポイントとして扱います。例えば、文字サイズ 16 級、下線の線幅 0.25mm にする場合、冗長タグでは

<cSize:16Q><cUnderline:1><cUnderlineWeightOffset:0.25mm> クラウド <cUnderline:0> と入力します。

リンクキューブでは、冗長タグ、略書きタグの他に、日本語タグも使用できます。上記の例では

<フォントサイズ:16Q><下線:1><下線線幅:0.25mm> クラウド <下線:0>

となります。タグ名だけでなく、タグの値も日本語で入力可能です。例えば、下線種類の場合は

<下線:1><下線線幅:0.25mm><下線種類:波状> クラウド <下線:0>

となります。日本語タグ名や値は、インデザインで使用されている用語（水平比率、文字前のアキ量など）そのままです。値が%表示されている属性（水平比率など）は、標準インデザインタグで

<cHorizontalScale:0.7> と入力しますが、日本語タグでは、<水平比率:70> と入力してください。日本語タグは、インデザイン上で表示されている値を入力します。

また、標準インデザインタグに、アンカー付オブジェクトを発生させるタグや、オブジェクトに対するタグ（線幅や色、オブジェクトスタイルの適用）などを追加しました。

▶ リンクキューブ拡張インデザインタグ一覧

※フレーム=テキストフレームまたはアンカー付オブジェクトタグ内で使用可能

入力例：テキストフレームがシアン、インライン画像枠の背景色がマゼンタ、角丸 5mm になります。

<oFillColor:C=100 M=0 Y=0 K=0> こんにちは <aobj:=<oSize:30,20><oFillColor:C=0 M=100 Y=0 K=0><oAllCorner:Rounded><oAllRadius:5mm><oLinkPath:/LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png>>

タイプ	日本語タグ	冗長タグ	略書きタグ	例および注意
フレーム (※)	オブジェクトスタイル	ObjStyle	ostyle	<ObjStyle: オブジェクトスタイル名> <オブジェクトスタイル: オブジェクトスタイル名> スタイルグループを含む場合、コロン「:」で区切ります。 <ObjStyle: グループ名: スタイル名> フレームに指定したオブジェクトスタイルを適用します。
フレーム	オブジェクト塗りカラー	oFillColor	ofc	<oFillColor: カラーネーム> <オブジェクト塗りカラー: C=100 M=0 Y=0 K=0> 全てのカラー指定タグは、スウォッチ名がテンプレート (idms、idml) にあれば、既存スウォッチを使用し、なければスウォッチを作成します。 カラー値を名前にしている場合は、カラー値 (CMYK) を設定します。
フレーム	オブジェクト線カラー	oStrokeColor	osc	<oStrokeColor: カラーネーム> <oStrokeColor: C=100 M=0 Y=0 K=0>
フレーム	オブジェクト線間隔のカラー	oStrokeGapColor	osgc	<oStrokeGapColor: カラーネーム> <oStrokeGapColor: C=100 M=0 Y=0 K=0>
フレーム	オブジェクト塗り濃淡	oFillTint	oft	<oFillTint: 50>
フレーム	オブジェクト線濃淡	oAttrStrokeTint	oast	<oAttrStrokeTint: 50>
フレーム	オブジェクト線間隔の濃淡	oStrokeGapTint	osgt	<oStrokeGapTint: 50>
フレーム	オブジェクト線線幅	oStrokeWeight	osw	<oStrokeWeight: 0.5mm>
フレーム	オブジェクト線タイプ	oStrokeType	ost	<oStrokeType: 線種> 線種に設定する値は Solid= ベタ、ThickThin= 太い - 太い、ThickThin= 太い - 細い、ThickThinThick= 太い - 細い - 太い、ThinThin= 細い - 太い、ThinThin= 二重線、Triple= 三重線、CannedDashed3x2= 点線 (3 & 2)、CannedDashed4x4= 点線 (4 & 4)、LeftSlantHash= 左斜線ハッシュ、RightSlantHash= 右斜線ハッシュ、StraightHash= 直線斜線ハッシュ、CannedDot= 点、SingleWavy= 波状、WhiteDiamond= ホワイトダイヤモンド、JapaneseDots= 句点、Dashed= 点線、またはユーザー定義線種名です。 ユーザー定義線種名を使用する場合、テンプレート (idms、idml) に定義した線種を含めてください。
フレーム	オブジェクト塗りオーバープリント	oFillOverprint	ofo	<oFillOverprint: 1= オン、0= オフ (デフォルト)>
フレーム	オブジェクト線オーバープリント	oStrokeOverprint	oso	<oStrokeOverprint: 1= オン、0= オフ (デフォルト)>
フレーム	オブジェクト線間隔オーバープリント	oStrokeGapOverprint	osgo	<oStrokeGapOverprint: 1= オン、0= オフ (デフォルト)>
フレーム	オブジェクト左上角のシェイプ	oTLCorner	otlc	<oTLCorner: 形状> 形状に設定する値は None= なし (デフォルト)、Fancy= 飾り、Bevel= 斜角、Inset= 角 (内)、InverseRounded= 丸み (内)、Rounded= 丸み (外)
フレーム	オブジェクト右上角のシェイプ	oTRCorner	otrc	<oTRCorner: 形状> 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト左下角のシェイプ	oBLCorner	oblc	<oBLCorner: 形状> 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト右下角のシェイプ	oBRCorner	obrc	<oBRCorner: 形状> 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト角のシェイプ	oAllCorner	oac	<oAllCorner: 形状> 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト左上角のサイズ	oTLRadius	otlr	<oTLRadius: 5mm>
フレーム	オブジェクト右上角のサイズ	oTRRadius	otrr	<oTRRadius: 5mm>
フレーム	オブジェクト左下角のサイズ	oBLRadius	oblr	<oBLRadius: 5mm>
フレーム	オブジェクト右下角のサイズ	oBRRRadius	obrr	<oBRRRadius: 5mm>
フレーム	オブジェクト角のサイズ	oAllRadius	oar	<oAllRadius: 5mm>

タイプ	日本語タグ	冗長タグ	略書きタグ	例および注意
テキストフレーム	組み方向	verticalComposition	vc	<verticalComposition:1> 1= 縦組み、0= 横組み (デフォルト)
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト	AnchoredObj	aobj	<ul style="list-style-type: none"> ●画像の場合 <AnchoredObj:=<oSize:20,30><oContentType:Graphic><oLinkPath:/フォルダ / ファイル .eps>> ●スニペットの場合 <AnchoredObj:=<oLinkPath: スニペット .idms>> ●インラインテキストフレームの場合 <AnchoredObj:=<oSize:20,30><oContentType:Text>> インラインテキスト内容 <AnchoredObj:>
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト 内容	oContentType	oct	<oContentType: タイプ> タイプは、Text または Graphic (デフォルト) AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト リンクパス	oLinkPath	olp	<oLinkPath:/ フォルダ / ファイル .eps> Windows 版はパス区切り文字が ¥ (エスケープが必要なので 2つ) でも可。AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト サイズ	oSize	osz	<oSize:20,30> 幅、高さ指定、単位は mm、幅、高さデフォルトは 3.25mm AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト 自動組版の値		@ 項目名	なし	<@ 項目名 : 値 > アンカー付オブジェクトで配置するスニペットに、データ接続項目はあるが、項目名が組版データにない場合、タグで項目名と値を指定できます。項目名が組版データにある場合、このタグは必要ありません。 <AnchoredObj:=<oLinkPath: スニペット .idms><@ コメント : お買い得 !>> AnchoredObj タグ内で使用。
ブックマーク	ブックマーク	Bookmark	Bm	<Bookmark: ブックマーク名 > 階層をつける場合、カンマを入力 <Bookmark: 第 1 階層ブックマーク > 大見出し <Bookmark: 第 2 階層ブックマーク > 中見出し ブックマークタグは、標準インデザインタグに存在しますが、独自形式としました。
項目参照		@ 項目名	なし	<@ 項目名 > 指定した項目名の値に置き換えます。

リンクキューブ日本語インデザインタグ一覧

上記、リンクキューブ拡張インデザインタグ一覧の日本語タグに加え、以下の日本語タグ名に対応しています。

入力例 : <下線:1><行送り:自動><文字カラー:C=100 M=0 Y=0 K=0><位置:下付き文字>

以下の表のタイプ列、区分列は日本語タグ名には関係ありませんが、段落スタイル、文字スタイル、セルスタイルで表示されるカテゴリーです。

単位が%の属性以外は、日本語タグとインデザインタグを混在しても構いません。例えば、下線種類の場合、<cUnderlineType: 二重線> または <下線:ThinThin> と入力しても構いません。

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	基本文字形式	フォント
		フォントスタイル
		フォントサイズ
		行送り
		自動カーニング
		カーニング
		字送り
		大文字と小文字
		位置
		下線
		欧文合字
		分割禁止
		打ち消し線
		文字揃え

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	詳細文字形式	水平比率
		垂直比率
		ベースラインシフト
		歪み
		文字ツメ
		文字前のアキ量
		文字後のアキ量
		文字回転
		字取り
		文字の比率を基準に行の高さを調整
文字カラ一	文字カラ一	グリッドの字間を基準に字送りを調整
		異体字
		文字カラー
		文字カラー線
		文字カラー濃淡
		文字カラー線濃淡
		文字カラー線幅
		文字カラー線オーバープリント
		文字カラー塗りオーバープリント
		文字カラー線角の比率
OpenType 機能	OpenType 機能	文字カラー線線の位置
		文字カラー線結合
		OpenType タイトル用字形
		OpenType 前後関係に依存する字形
		OpenType スワッシュ字形
		OpenType 上付き序数表記
		OpenType 任意の合字
		OpenType 分数
		OpenType スラッシュ付きゼロ
		OpenType 数字のスタイル
下線設定	下線設定	OpenType 位置依存形
		OpenType 横または縦組み用かな
		OpenType 欧文イタリック
		OpenType プロポーショナルメトリクス
		下線線幅
		下線種類
		下線オフセット
		下線カラー
		下線濃淡
		下線線オーバープリント
打ち消し線設定	打ち消し線設定	下線間隔のカラー
		下線間隔の濃淡
		下線間隔オーバープリント
		打ち消し線線幅
		打ち消し線種類
		打ち消し線オフセット
		打ち消し線カラー
		打ち消し線濃淡
		打ち消し線線オーバープリント
		打ち消し線間隔のカラー
縦中横設定	縦中横設定	打ち消し線間隔の濃淡
		打ち消し線間隔オーバープリント
		縦中横
ルビの位置と間隔	ルビの位置と間隔	縦中横左右位置
		縦中横上下位置
		ルビ
		ルビ文字
		ルビ種類
		ルビ揃え
		ルビ位置
		ルビ横組み上下 / 縦組み左右
		ルビ横組み左右 / 縦組み上下

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	ルビのフォントとサイズ	ルビフォント ルビフォントスタイル ルビサイズ ルビ水平比率 ルビ垂直比率 OpenTypePro のルビ字形を使用 ルビ組数字 ルビ欧文も含める ルビ幅に合わせる
		ルビ文字かけ処理 ルビ親文字間の調整 ルビの文字幅を自動的に詰める ルビの文字幅を自動的に詰めるまで ルビ自動行頭 / 行末揃え
		ルビカラー ルビカラー線 ルビカラー濃淡 ルビカラー線濃淡 ルビカラー線幅 ルビカラー塗りオーバープリント ルビカラー線オーバープリント
		圈点親文字からの間隔 圈点位置 圈点サイズ 圈点揃え 圈点水平比率 圈点垂直比率 圈点種類 圈点フォント 圈点フォントスタイル 圈点文字 圈点文字コード
		圈点カラー 圈点カラー線 圈点カラー濃淡 圈点カラー線濃淡 圈点カラー線幅 圈点カラー塗りオーバープリント 圈点カラー線オーバープリント
		斜体縮小率 斜体角度 斜体ライン揃え 斜体ツメの調整
		割注 割注行数 割注サイズ 割注行の間隔 割注揃え 割注1行目の最小文字数 割注最終行の最小文字数
		文字スタイルの適用 字形
	インデントとスペース	揃え 行末を揃える オプティカルマージンを無視 左 / 上インデント 右 / 下インデント 1行目インデント 最終行のインデント 段落前のアキ 段落後のアキ
		タブ

タイプ	区分	日本語タグ
段落レベルのタグ	段落境界線	前境界線
		前境界線線幅
		前境界線濃淡
		前境界線オフセット
		前境界線左インデント
		前境界線右インデント
		前境界線幅
		前境界線間隔の濃淡
		前境界線線オーバープリント
		前境界線間隔オーバープリント
	段落分離禁止オプション	前境界線カラー
		前境界線間隔のカラー
		前境界線種類
		前境界線フレームに収める
		後境界線
		後境界線線幅
		後境界線濃淡
		後境界線オフセット
		後境界線左インデント
		後境界線右インデント
	ハイフネーション	後境界線幅
		後境界線間隔の濃淡
		後境界線線オーバープリント
		後境界線間隔オーバープリント
		後境界線カラー
		後境界線間隔のカラー
		後境界線種類
		段落分離禁止前と連動
		段落分離禁止次の行数を保持
		段落の分離禁止
	ジャスティフィケーション	段落中のすべての行を分離禁止
		段落分離禁止先頭から
		段落分離禁止段落末まで
		段落の開始位置
		ハイフネーション
		ハイフネーション単語の最小文字数
		ハイフネーション先頭の後
		ハイフネーション最後の前
		ハイフネーション最大のハイフン数
		ハイフネーション領域
	ドロップキャップと先頭文字スタイル	ハイフネーション多く少なく
		ハイフネーション大文字の単語をハイフンで区切る
		ハイフネーション段落末尾の単語をハイフンで区切る
		段間、フレームにわたる単語をハイフンで区切る
		単語間隔最小
		単語間隔最大
		単語間隔最適
		文字間隔最小
		文字間隔最大
		文字間隔最適
	正規表現スタイル	グリフ幅拡大 / 縮小最小
		グリフ幅拡大 / 縮小最大
		グリフ幅拡大 / 縮小最適
		自動行送り
		1 単語揃え
	正規表現スタイル	コンポーラー
		ドロップキャップ行数
		ドロップキャップ文字数
		ドロップキャップ詳細
		先頭文字スタイル
	正規表現スタイル	先頭行スタイル
		正規表現スタイル

タイプ	区分	日本語タグ
段落レベルのタグ	箇条書き	箇条書きリストタイプ
		箇条書き記号文字
		箇条書き記号フォント
		箇条書き記号フォントスタイル
		箇条書き記号後続テキスト
		箇条書き記号文字スタイル
		箇条書きレベル
		箇条書き自動番号
		箇条書き自動番号文字スタイル
		箇条書き開始番号
日本語文字組版	自動縦中横設定	自動縦中横組数字桁まで
		自動縦中横欧文も含める
		禁則処理セット
		禁則調整方式
		ぶら下がり方法
		分離禁止処理
		文字組み
		行送りの基準位置
		連数字処理
		縦組み中の欧文回転
表セルレベルのタグ	テキスト	全角スペースを行末吸収
		欧文泣き別れ
		グリッド揃え
		1行目のみグリッドに揃える
表セルレベルのタグ	罫線と塗り	グリッド行取り
		段落行取りを使用
		段落スタイルの適用
		段落スタイル
		セル方向と組方向を逆にする
		セルの余白上
		セルの余白下
		セルの余白左
		セルの余白右
		セルテキストの配置
表セルレベルのタグ	罫線と塗り	セルテキスト段落スペース最大値
		セルテキスト先頭ベースライン位置オフセット
		セルテキスト先頭ベースライン位置最小値
		セルテキストクリッピング
		セルの内容を回転
		セルの塗りカラー
		セルの線上カラー
		セルの線下カラー
		セルの線左カラー
		セルの線右カラー
表セルレベルのタグ	罫線と塗り	セルの線上間隔のカラー
		セルの線下間隔のカラー
		セルの線左間隔のカラー
		セルの線右間隔のカラー
		セルの塗り濃淡
		セルの線上濃淡
		セルの線下濃淡
		セルの線左濃淡
		セルの線右濃淡
		セルの線上間隔の濃淡
表セルレベルのタグ	罫線と塗り	セルの線下間隔の濃淡
		セルの線左間隔の濃淡
		セルの線右間隔の濃淡
		セルの線上線幅
		セルの線下線幅
		セルの線左線幅
		セルの線右線幅
		セルの線中間隔
		セルの線端間隔
		セルの線端間隔

タイプ	区分	日本語タグ
表セルレベルのタグ	罫線と塗り	セルの線上種類
		セルの線下種類
		セルの線左種類
		セルの線右種類
		セルの塗りオーバープリント
		セルの線上線オーバープリント
		セルの線下線オーバープリント
		セルの線左線オーバープリント
		セルの線右線オーバープリント
		セルの線上間隔オーバープリント
		セルの線下間隔オーバープリント
		セルの線左間隔オーバープリント
		セルの線右間隔オーバープリント
斜線の設定	斜線の設定	セルの斜線カラー
		セルの斜線間隔のカラー
		セルの斜線濃淡
		セルの斜線間隔の濃淡
		セルの斜線線幅
		セルの斜線種類
		セルの斜線オーバープリント
		セルの斜線間隔オーバープリント
		セルの斜線前面に斜線
		左上から右下の斜線
		右上から左下の斜線
行と列の設定	行と列の設定	列の幅
		行の高さ
		行の高さ最小限度
		行の高さ最大限度
		行の高さ最小限度を使用
		セル次の行と連動
	セルスタイルの適用	セルスタイル

14

Google ドライブと連携しよう

Google ドライブと連携できる

アカウントメニューの「Google ドライブ連携」は、管理者ユーザーのみ表示されます。管理者ユーザーについては、セクション 48「ユーザーを管理しよう」をご覧ください。

ブラウザで Google アカウントにログインしている場合と、ログインしていない場合では、連携手順が異なります。

ブラウザで Google アカウントにログインしている場合、許可をクリックすると、ログインしているアカウントの Google ドライブに、LinkCube プロジェクトを作成します。

ブラウザで Google アカウントにログインしていない場合、Google アカウントのログイン画面後に、許可を求める画面が表示されます。

管理者ユーザー自身の Google ドライブに、LinkCube プロジェクトを作成したくない場合、事前に新しい Google アカウントを作成してください。

Google アカウントに 2 段階認証を使用すれば、Google ドライブのセキュリティが非常に高まります。(推奨)
<https://www.google.co.jp/intl/ja/landing/2step/>

Google ドライブと連携する
操作は一度だけ

初めて Google ドライブプロジェクトを作るとときに一度だけ、必要な操作です。既に Google ドライブ連携済みの場合、許可または拒否の画面は表示されません。Google ドライブと連携を解除した場合、もう一度、連携する操作を行います。

Google ドライブと連携すればより便利に

LinkCube と Google ドライブを連携すれば、以下の事ができるようになります。

1. 組版データとして、Google スプレッドシートが使用できます。複数人で共有すれば、簡易 Web データベースです。

2. お客様と組版結果 PDF フォルダを共有すれば、自動組版結果 PDF をすぐにお客様へ配信できます。

(※ 1、※ 2、※ 3)

3. テンプレートや組版データファイルのアップロード、組版済みファイルのダウンロードが不要になります。

(※ 1)

4. Google ドライブの共有機能で、お客様や協力会社と、簡単にファイルやフォルダ共有できます。

5. 自動組版時、保存先フォルダを複数選択できます。(組版済みフォルダ内に、フォルダを作成した場合)

※ 1 : Google 社が無料提供している Google ドライブアプリが必要

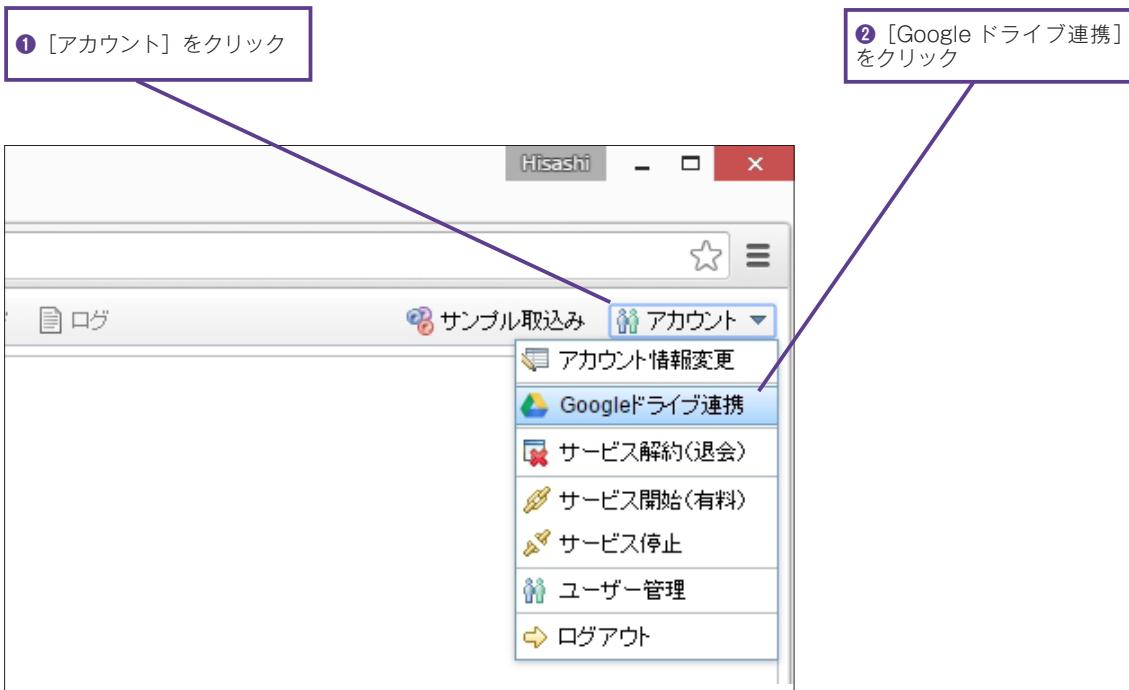
<https://www.google.com/intl/ja/drive/download/>

※ 2 : 弊社無料ツール、ファイル連続変換で、Google ドライブの組版済みフォルダを監視

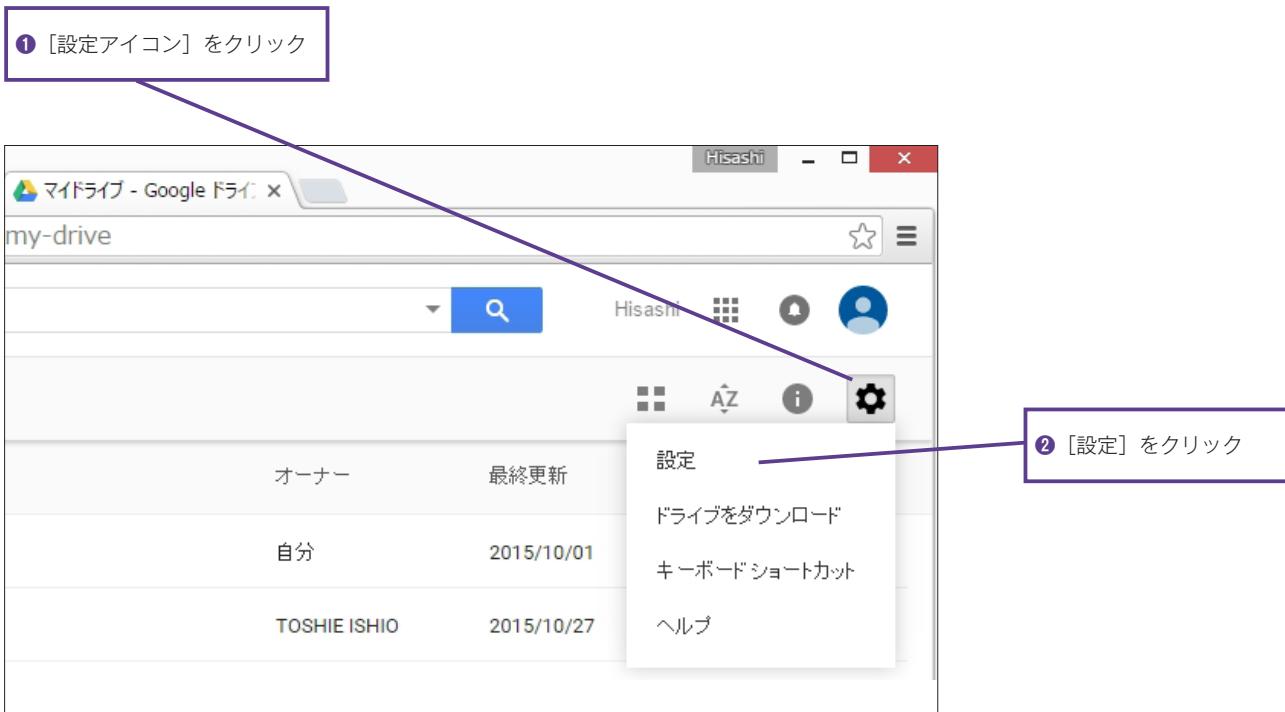
<http://link-cube.net/freetools/>

※ 3 : InDesignCS5 ~ CC2015 が必要

Google ドライブと連携するには



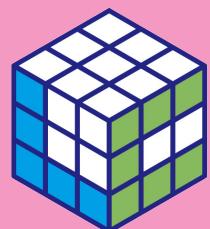
Google ドライブと連携を解除するには



第 2 章

テンプレートの機能

インデザインの機能だけでテンプレートを作成しますが、色々な事ができます。3つのスタイルグループ [データ接続] [データ付属] [データエリア] と、3つのルール、文字は [段落・文字スタイル]、画像は [オブジェクトスタイル]、表は [表スタイル] を使います。シンプルで容易に習得できます。



LinkCube

15

文字を組版しよう

段落スタイルまたは文字スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

段落スタイルまたは文字スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている文字範囲に、組版データを流し込みます。

例えば、文字スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品説明」スタイルが適用されている文字範囲には、商品説明の組版データを流し込みます。

適用されている文字範囲の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、組版データを流し込みます。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ組版データを流し込みます。

アンカー付オブジェクト内の文字や、グループ化されたオブジェクト内の文字、表組のセル文字などにも流し込む事が可能です。

段落スタイルと文字スタイルを使い分ける

段落スタイルで「データ接続」を使用する場合、流し込み時、自動で最後の文字に段落改行文字<000D>を付加します。そのため、組版データに段落改行文字は必要ありません。

文字スタイルで「データ接続」を使用する場合、必要に応じてデータ中に段落改行文字を入力します。

例えば、文字スタイルが適用されている文字範囲に、段落改行文字が含まれている場合、組版データに段落改行文字<000D>が必要になります。

また、スタイルの競合が気になる場合は、段落スタイルは使用せず、文字スタイルで、全ての組版属性を設定しない状態で使用すれば、スタイル競合しません。

文字を組版するには（段落スタイルを使用）

テンプレート

①流し込みたい段落を選択(段落内をクリックでも可)

②段落スタイルに[データ接続]グループを作成するか、既にある場合は選択

③[データ接続]グループ内に、組版用テキストデータの項目名と同じ名前のスタイルを作成

文字を組版するには（文字スタイルを使用）

テンプレート



16

文章中にインラインテキストフレームを発生させよう

アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション15「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグ（リンクキューブ拡張タグ）を使用し、インラインテキストフレームを発生する事ができます。

テンプレート上にインラインテキストフレームがあり、インラインテキストフレーム中の文字にデータを流し込む場合は、セクション15「文字を組版しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にインラインテキストフレームが存在

せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、インラインテキストフレームを発生させる場合です。

例えば、文章中に幅10mm、高さ3.5mmのインラインテキストフレームを発生させ、発生したフレーム中に「医薬品」を組版し、オブジェクトスタイル名「角丸緑」を適用する場合、

冗長タグ形式では

<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑>医薬品 <AnchoredObj>

インデザインタグの意味は、

AnchoredObj:= アンカー付オブジェクトの開始です。

oSize: オブジェクトのサイズです。省略時は、縦横3.25mmのサイズになります。

oContentType: Textでインラインテキストフレームです。省略時は、グラフィックのフレームです。

AnchoredObj: アンカー付オブジェクトの終了です。

略書きタグ形式では

<aobj:=<osz:10,3.5><oct:Text>><ostyle:角丸緑>医薬品 <aobj>

と入力します。

文章中にインラインテキストフレームを発生するには

組版用テキストデータ

①アンカー付オブジェクトタグ（インラインテキストフレームタグ）を入力

L	M
1 コメント	薬事法表示
23 突発性的下痢に<000D>水なしで効く！	<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj>
24 突発性的下痢に<000D>水なしで効く！	<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj>
25 市場最薄ヘッド＆最細ネック！	
26 みがくたび、強い歯へ！	
27 みがくたび、強い歯へ！	
28 鼻のまわりが赤くなる前に<000D>やさしくいたわる。	
29 鼻のまわりが赤くなる前に<000D>やさしくいたわる。	
30 心で消臭！	
31 脱選アロマオイルが<000D>部屋中に広がる	
32 がんばらなくても<000D>ちゃんと磨ける	
33 がんばらなくても<000D>ちゃんと磨ける	
34 ハグキの炎症を防ぐ	
35 ハグキの炎症を防ぐ	
36 歯槽膿漏が気になる方に	
37 歯槽膿漏が気になる方に	
38 更年期症状を治します	<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj>

オブジェクトスタイルタグ

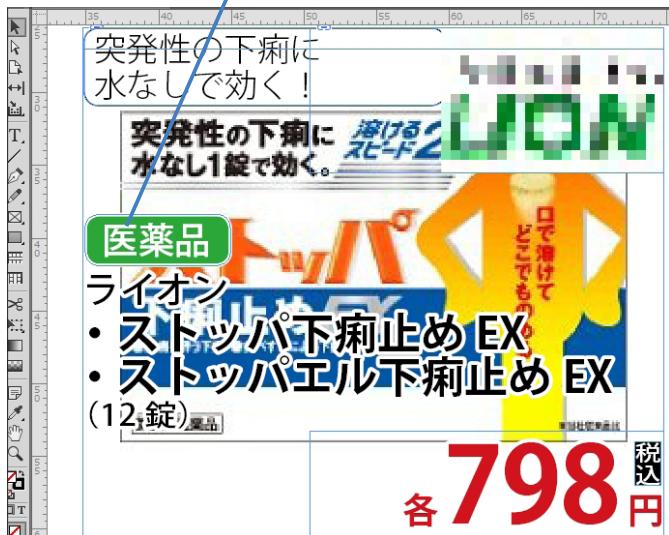
Tips

オブジェクトスタイルを作成しておき、アンカー付オブジェクトタグとオブジェクトスタイルタグを併用すると、少ないタグ記述で複雑な組版ができます。例えば、冗長タグでは

<ObjStyle:オブジェクトスタイル名> 文字とすれば、テキストフレームやインラインテキストフレームに、タグで指定したオブジェクトスタイルが適用されます。

組版結果

文章中にオンラインテキストフレームを発生し、
フレーム内に文字が組版されました



オブジェクトスタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

オブジェクトスタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトに、組版データの画像、動画、音声ファイルを配置します。（※以降、画像＝画像、動画、音声とします）

例えば、オブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品画像」スタイルが適用されているオブジェクトには、「商品画像」項目データのファイルを配置します。

適用されているオブジェクトの組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、組版データを配置します。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じファイルを配置します。

画像の配置基準点は、オブジェクト選択後、（Win：右クリック、Mac：control + クリック）オブジェクトサイズの調整→フレーム調整オプション→整列の開始位置で指定します。

画像のサイズ調整は、フレーム調整オプション→サイズ調整で指定します。

アンカー付オブジェクトや、グループ化されたオブジェクトなどにも配置可能です。

ファイルの種類

Tips

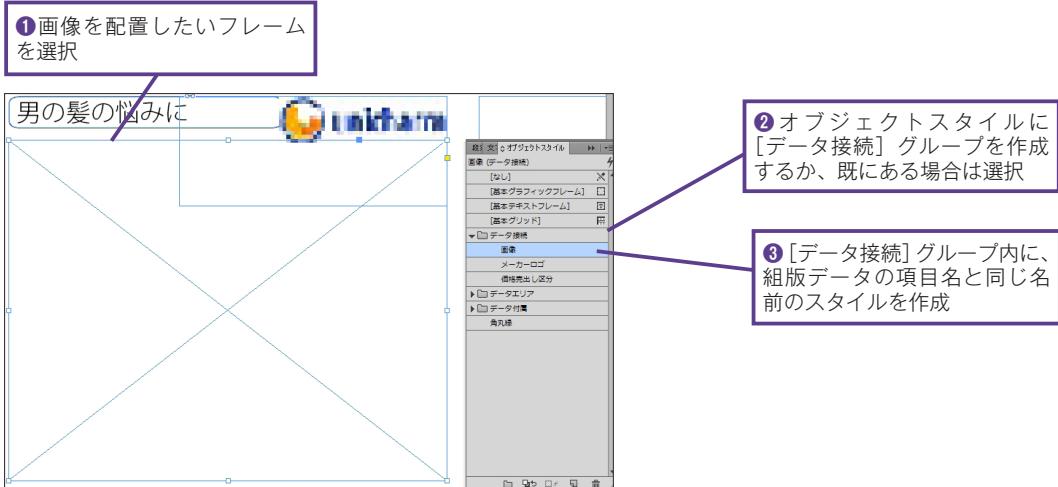
サンプルでは、画像データを軽くするため jpg を使用していますが、InDesign がサポートしているファイルは全て配置できます。（eps、pdf など）

画像ファイルを配置するには

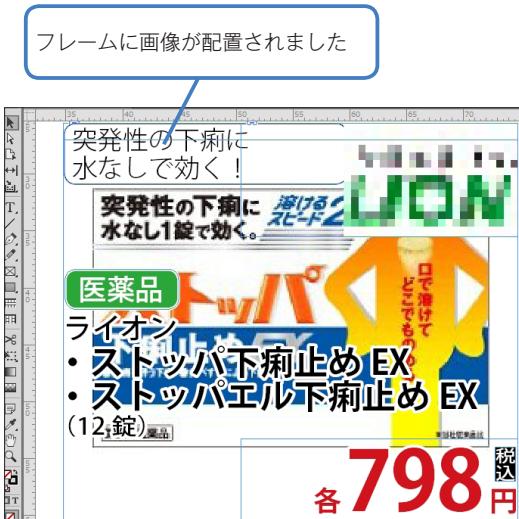
組版用テキストデータ

1 画像ファイルのフルパスを入力	ファイル名のみ入力し、フォルダや拡張子はテンプレート、または組版設定で設定する事もできます
D	画像
1 商品名	
23 ・ストッパ下痢止めEX	/LCサンプル画像/LCちらし/ストッパ下痢止めEX.jpg
24 ・ストッパエル下痢止めEX	/LCサンプル画像/LCちらし/ストッパ下痢止めEX.jpg
25 クリニカ<000D>アドバンテージ<000D>ハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニカアドバンテージハブラシ.jpg
26 クリニカ	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニカ.jpg
27 クリニカ	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニカ.jpg
28 ・エリエール贅沢保湿<000D>ローションティッシュ	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール + Water.jpg
29 ・エリエール + Water	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール + Water.jpg
30 エリエール<000D>消臭+トイレット<000D>ティッシュ	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール消臭+トイレットティッシュ.jpg
31 消臭元スティック<000D>本体各種	/LCサンプル画像/LCちらし/消臭元スティック本体各種.jpg
32 Doクリアマルチ<000D>フィットハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/Doクリアマルチフィットハブラシ.jpg
33 Doクリアマルチ<000D>フィットハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/Doクリアマルチフィットハブラシ.jpg
34 ・GUMアドバンスケア<000D>デンタルペースト	/LCサンプル画像/LCちらし/GUMアドバンスケアデンタルペースト.jpg
35 ・GUMアドバンスケア<000D>リンス	/LCサンプル画像/LCちらし/GUMアドバンスケアデンタルペースト.jpg
36 ・薬用生葉	/LCサンプル画像/LCちらし/薬用生葉ひきしめ.jpg
37 ・ひきしめ生葉	/LCサンプル画像/LCちらし/薬用生葉ひきしめ.jpg
38 命の母A	/LCサンプル画像/LCちらし/命の母A.jpg

テンプレート



組版結果



アンカー付オブジェクトに画像ファイルを配置するには

組版用テキストデータ

① 画像ファイルのフルパスを入力

ファイル名のみ入力し、フォルダや拡張子はテンプレートや組版設定で設定する事もできます

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1 カテゴリー	2 メーカー	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ポータブルナビゲーション	/LCサンプル画像/LC電機/Panasonic.png									
ウォームFシリーズ	/LCサンプル画像/LC電機/SONY.png									
プリント複合機	/LCサンプル画像/LC電機/Canon.png									
USBメモリ	/LCサンプル画像/LC電機/BUFFALO.png									
デジタルコードレス<000D>普通紙FAX	/LCサンプル画像/LC電機/SHARP.png									
オーブンレンジ	/LCサンプル画像/LC電機/SHARP.png									
沸騰IHジャー炊飯器	/LCサンプル画像/LC電機/MITSUBISHI.png									
メンズシェーバー	/LCサンプル画像/LC電機/IZUMI.png									
ドライブレコーダー	/LCサンプル画像/LC電機/KEYO.png									
USB3.0対応外付<000D>ハードディスク	/LCサンプル画像/LC電機/LACIE.png									

テンプレート

① 画像を配置したいアンカー付オブジェクトを選択

49 無線 LAN

あああ
ああああ

〈CN-SP7〉
コメント部

49,800円
59円分 ポイント進呈
0% ポイント進呈

② オブジェクトスタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

段落 文字 オブジェクトスタイル

メーカー (データ接続)

なし

基本グラフィックフレーム

基本テキストフレーム

基本グリッド

データ接続

商品画像

台数マーク

メーカー

データ付箋

円分ポイント進呈

%ポイント進呈

③ [データ接続] グループ内に組版データの項目名と、同じ名前のスタイルを作成

組版結果

アンカー付オブジェクトに画像が配置されました

展示品
限り

39 ポータブルナビ
ゲーション
Panasonic

AV型ワイドVGA液晶
ワンセグチューナー内蔵
FM-VICS 標準対応
バッテリー内蔵

〈CN-SP720VL〉

49,800円

段落 文字 オブジェクトスタイル

メーカー (データ接続)

なし

基本グラフィックフレーム

基本テキストフレーム

基本グリッド

データ接続

商品画像

台数マーク

メーカー

データ付箋

円分ポイント進呈

%ポイント進呈

18

文章中に画像を発生させよう

アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション15「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグ（リンクキューブ拡張タグ）を使用し、アンカー付オブジェクトを発生することができます。

テンプレート上にアンカー付オブジェクトがあり、アンカー付オブジェクトに画像を配置する場合は、セクション17「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にアンカー付オブジェクトが存在せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、アンカー付オブジェクトを発生させる場合です。

例えば、文章中に幅2.75mm、高さ2.75mmのアンカー付オブジェクトを発生させ、発生したフレームに/LCサンプル画像/LCユーザーガイド/移動カーソル.pngを配置する場合、

冗長タグ形式では

マウスカーソルが<AnchoredObj:=<oSize:2.75,2.75><ObjStyle: インラインアイコン><oLinkPath:/LCサンプル画像/LCユーザーガイド/移動カーソル.png>>の状態

インデザインタグの意味は、

oLinkPath: ファイルのフルパスです。

略書きタグ形式では

マウスカーソルが<aobj:=<osz:2.75,2.75><ostyle: インラインアイコン><olp:/LCサンプル画像/LCユーザーガイド/移動カーソル.png>>の状態

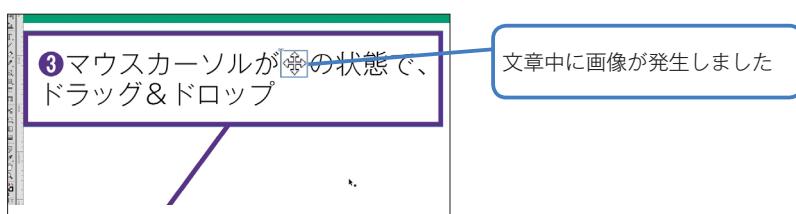
と入力します。

文章中に画像を発生するには

組版用テキストデータ

①アンカー付オブジェクトタグを入力	ファイルはフルパスで入力します				
<table border="1"> <tr> <td>常見出し</td><td>操作手順</td></tr> <tr> <td>①組版設定を選択 ②並び替える加工項目を单一、または複数選択 加工項目を並び替えるには 状態で、ドラッグ & ドロップ ■加工項目を並び替えるには1.jpg ★加工項目が並び替えられました ■加工項目を並び替えるには2.jpg</td><td>①[置換]をクリック</td></tr> </table>		常見出し	操作手順	①組版設定を選択 ②並び替える加工項目を单一、または複数選択 加工項目を並び替えるには 状態で、ドラッグ & ドロップ ■加工項目を並び替えるには1.jpg ★加工項目が並び替えられました ■加工項目を並び替えるには2.jpg	①[置換]をクリック
常見出し	操作手順				
①組版設定を選択 ②並び替える加工項目を单一、または複数選択 加工項目を並び替えるには 状態で、ドラッグ & ドロップ ■加工項目を並び替えるには1.jpg ★加工項目が並び替えられました ■加工項目を並び替えるには2.jpg	①[置換]をクリック				

組版結果



19

スニペットを配置しよう

オブジェクトスタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

オブジェクトスタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトに、組版データのスニペットを配置します。

例えば、オブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品マーク類」スタイルが適用されているオブジェクトには、商品マーク類項目データのスニペットを配置します。

適用されているオブジェクトの組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、スニペットを配置します。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じスニペットを配置します。

スニペットの配置基準点は、オブジェクト選択後、(Win:右クリック、Mac:control +クリック) オブジェクトサイズの調整→フレーム調整オプション→整列の開始位置で指定します。

アンカー付オブジェクトや、グループ化されたオブジェクトなどにも配置可能です。アンカー付オブジェクトに配置する場合、スニペットは自動でグループ化され、配置先のアンカー付オブジェクトと置き換わります。置き換えるのでサイズ変更され、同じテキストフレーム内の文字レイアウトに影響します。

配置するスニペットファイルは、プロジェクトのテンプレートフォルダに必ずアップロードしてください。

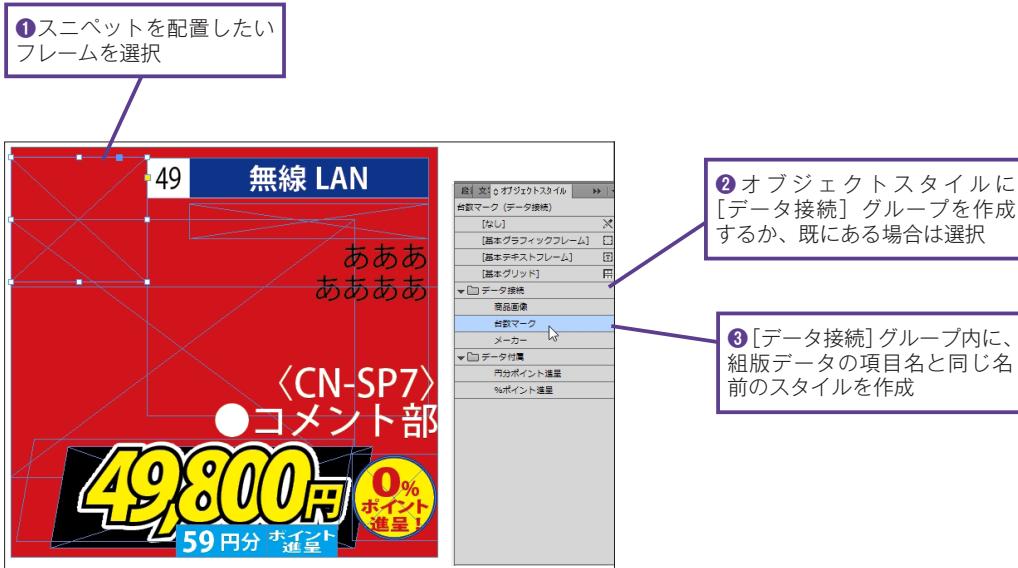
スニペットを配置するには

組版用テキストデータ

①スニペットファイルのファイル名のみ
入力 (.idms は省略可)

	A	B	C	D
1	No	台数マーク	台数	カテゴリー
12	49	無制限.idms		無線LAN
13	50	限り.idms	在庫限り	マイクロSDHCカード
14	51	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	電子辞書 高校生モデル
15	52	無制限.idms		ホームベーカリー
16	53	無制限.idms		LEDシーリングライト
17	54	無制限.idms		マイナスイオンドライヤー

テンプレート



組版結果



アンカー付オブジェクトにスニペットを配置するには

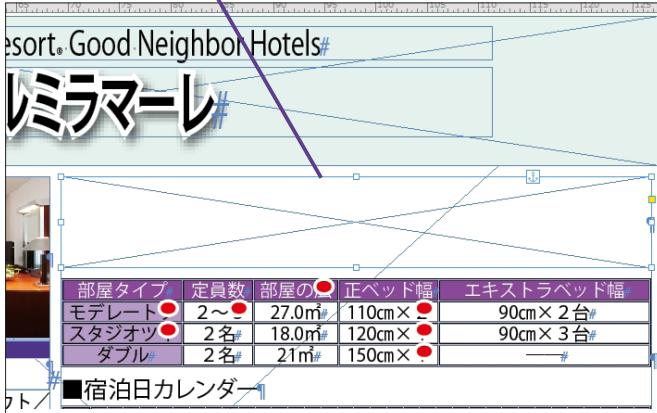
組版用テキストデータ

①スニペットファイルのファイル名
のみ入力 (.idms は省略可)

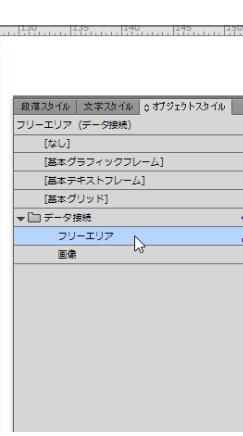
1	フリーエリア	なかよし1	部屋タイプ表
2	なかよし4.idms	24時間滞在OK!<cSize:7Q><cHorizontalScale:0.7>(レイド:ホテルイースト21東京.xlsx)部屋タイプ	東京.xlsx部屋タイプ
3	なかよし46.idms		京成ホテルミラマーレ.xlsx部屋タイプ
4	なかよし4.idms	焼き菓子付!<cSize:7Q><cHorizontalScale:0.7>(滞在中1室東武ホテルレバント東京.xlsx)部屋タイプ	東武ホテルレバント東京.xlsx部屋タイプ
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

テンプレート

①スニペットを配置したいアンカ付オブジェクトを選択



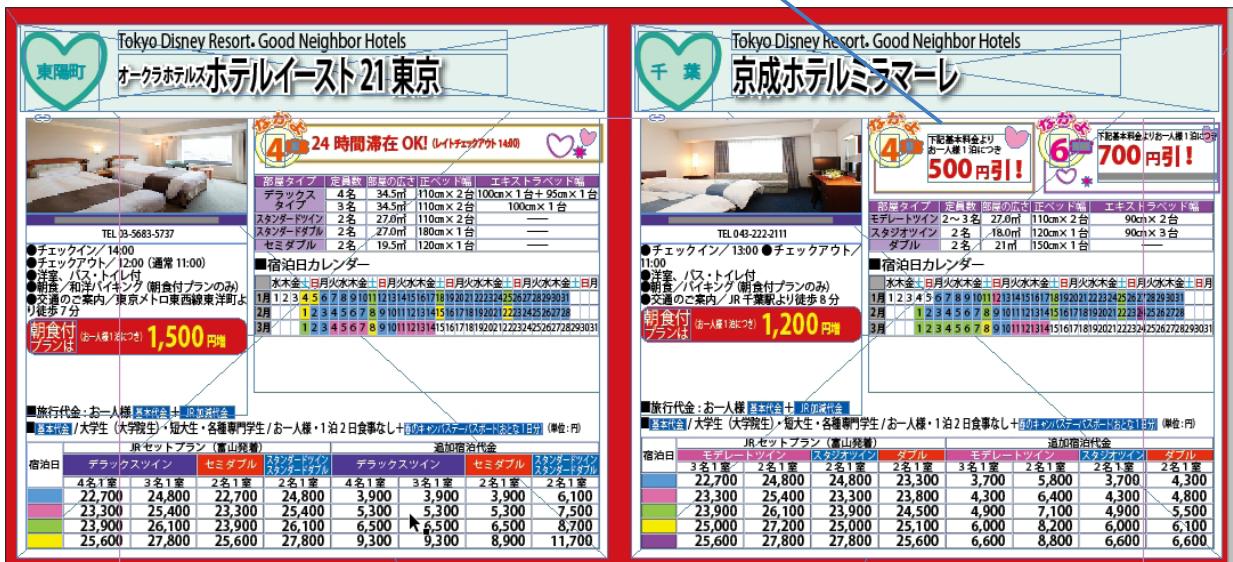
②オブジェクトスタイルに[データ接続]グループを作成するか、既にある場合は選択



③[データ接続]グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

アンカ付オブジェクトがスニペットに置き換わりました



文章中にスニペットを発生させよう

アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション15「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグを使用し、スニペットを発生する事ができます。

テンプレート上にアンカー付オブジェクトがあり、アンカー付オブジェクトにスニペットを配置する場合は、セクション19「スニペットを配置しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にアンカー付オブジェクトが存在せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、スニペットを発生させる場合です。

例えば、文章中に よりどり 2 個 .idms を配置する場合、

冗長タグ形式では

<AnchoredObj:=<oLinkPath: よりどり 2 個 .idms>>

略書きタグ形式では

<aobj:=<olp: 商品よりどり 2 個 .idms>>

と入力します。

配置するスニペットファイルは、プロジェクトのテンプレートフォルダに必ずアップロードしてください。

文章中にスニペットを発生するには

組版用テキストデータ

①アンカー付オブジェクトタグを入力		ファイルはファイル名のみ入力します
1	容量	各
12	つめかえ用(480ml)	各
13	つめかえ用(480ml)	<AnchoredObj:=<oLinkPath: よりどり2個 .idms>>
14	本体(370ml)	
15		各
16		
17	つめかえ用(360g)	各
18	つめかえ用(480ml)	

組版結果

文章中にスニペットが発生しました



21

配置や発生するスニペットも自動組版しよう

配置や発生するスニペットもテンプレート

「スニペットを配置しよう」や「文章中にスニペットを発生させよう」

で扱ったスニペットを自動組版する事ができます。

自動組版の中で、配置するパートを自動組版するイメージです。

テンプレートの共通部分と可変部分を組み合わせて自動組版する事で、

テンプレート数を減らしたり、マーク類をパートにし、マーク内の文字

を自動組版する事で、パートを減らすことができます。

「スニペットを配置しよう」や「文章中にスニペットを発生させよう」との違いは、配置するスニペットの文字や、オブジェクトに「データ接続」スタイルグループ内のスタイルを適用しておください。

また、文章中に自動組版スニペットを発生させる場合、組版データにない項目を流し込む事ができます。

例えば、価格 2.idms の文字に文字スタイル、データ接続／税込価格が適用されているとします。組版データには税込価格項目がありませんが、

<AnchoredObj:=<oLinkPath: 価格 2.idms><@ 税込価格 :248>>

と入力すれば、「248」を流し込みます。<@ 項目名 : 項目データ>を意味します。セクション 16 「文章中にインラインテキストフレームを発生させよう」のインラインテキストフレームで表現できない複雑な図形で使用します。

▶配置するスニペットを自動組版するには

組版用テキストデータ

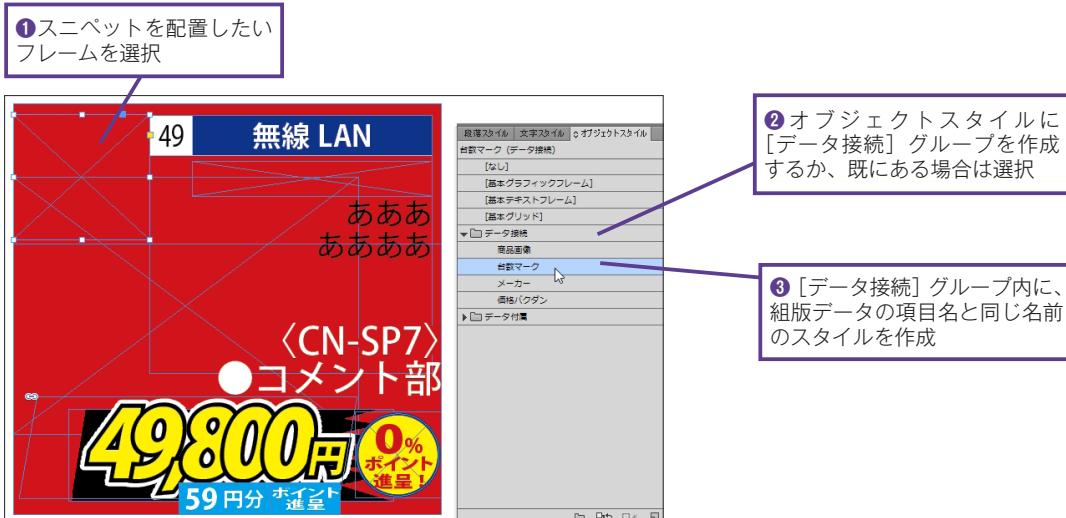
組版用テキストデータ			
①スニペットファイルのファイル名のみ入力 (.idms は省略可)	②スニペット自動組版用の項目を用意		
		A	B
		No	台数マーク
1	39 限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション
2	40 限り.idms	在庫限り	ウォークマン Fシリーズ
3	41 限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	プリンタ複合機
4	42 限り.idms	在庫限り	USBメモリ
5	43 先着.idms		5 デジタルコードレス<000D>普通紙FAX
6	44 限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	オーブンレンジ
7	45 限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	沸騰IHジャー炊飯器
8	46 無制限.idms		メンズシェーバー
9			



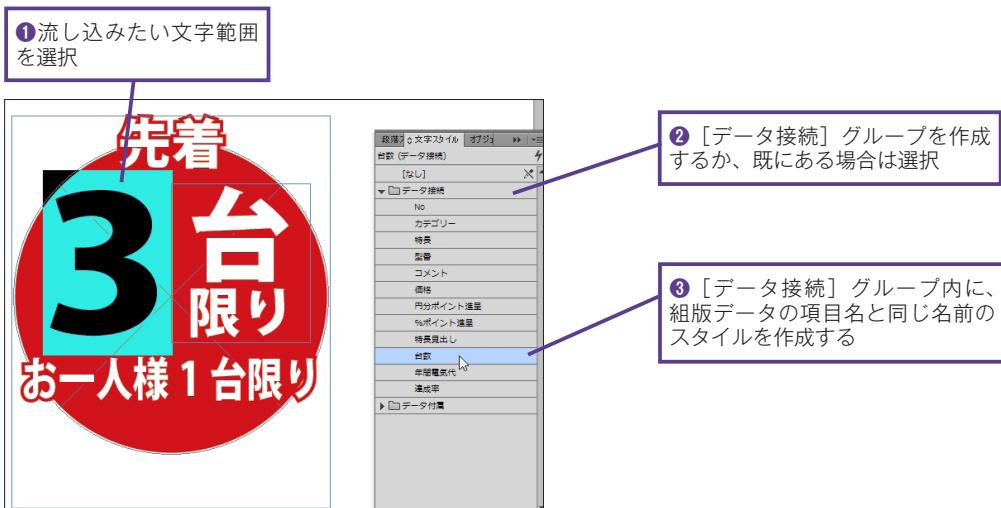
自動組版中の自動組版は 1 行分

Tips 配置や発生するスニペットの自動組版は、1行分のデータです。自動組版中の自動組版で、複数行の同一コマコード組版はできません。

テンプレート



配置するスニペット



組版結果



発生するスニペットを自動組版するには

組版用テキストデータ

①アンカー付オブジェクトタグを入力

<@ 価格売出し区分 > は、隣の価格売出し区分の値 (0、1、2のいずれか) になり、その結果、価格 0.idms、価格 1.idms、価格 2.idms となります

価格	J	K
12 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:298>>		0
13 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:500>>		0
14 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:378>>		0
15 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:298>>		0
16 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:298>>		1
17 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:278>>		0
18 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:248>>		0
19 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:498>>		0
20 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:1,280>>		0
21 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:1,380>>		0
22 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:348>>		0
23 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:798>>		0
24 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:798>>		0
25 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:198>>		0
26 <AnchoredObj:=<oLinkPath:価格@価格売出し区分>.idms><@税込価格:278>>		1

テンプレート

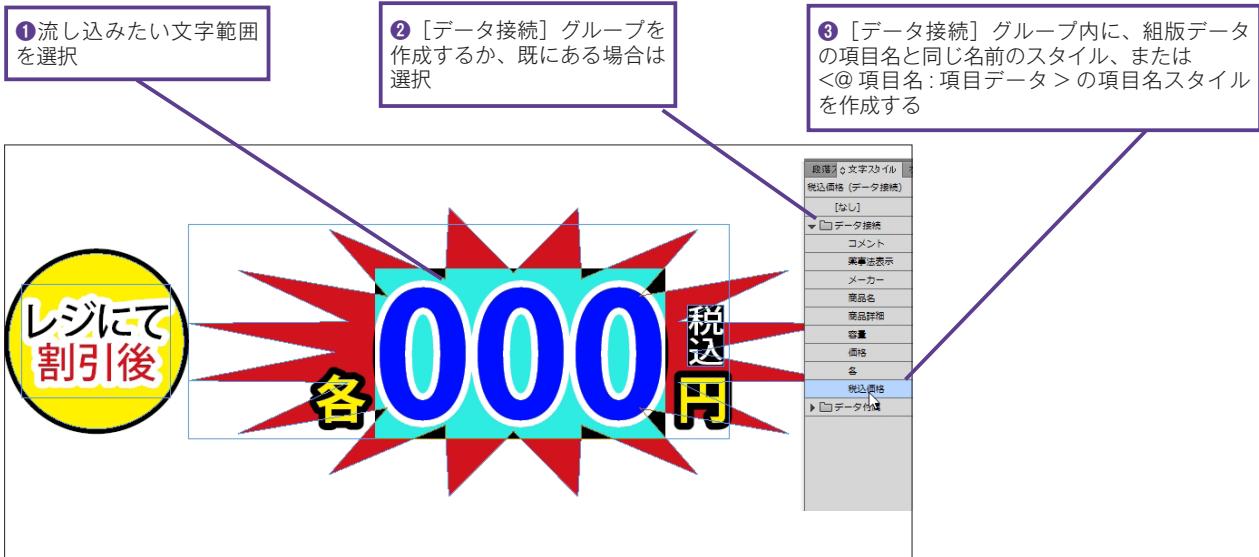
①スニペットを発生したい文字範囲を選択

②段落、または文字スタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

③ [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成



発生するスニペット



組版結果



項目データが空の時、関連する文字やオブジェクトを削除しよう

「データ付属」スタイルグループを作る

組版データ項目の値が空の場合に、データ付属／組版データ項目名（「データ付属」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトを削除します。

文字を削除したい場合は、段落スタイルまたは文字スタイル、データ付属／組版データ項目名を文字範囲に適用します。

オブジェクトを削除したい場合は、オブジェクトスタイル、データ付属／組版データ項目名をオブジェクトに適用します。

例えば、価格データが空の時、テンプレートの文字「円」を削除したい

場合、「円」に文字スタイル、データ付属／価格を適用します。オブジェクトでは、商品説明データが空の時に、商品説明のテキストフレームを削除したい場合、商品説明テキストフレームに、オブジェクトスタイル、データ付属／商品説明を適用します。

また、データ付属／組版データ項目名 1|組版データ項目名 2 と指定することもできます。この場合、組版データ項目名 1 または組版データ項目名 2 に付属となります。

例えば、【メーカー商品名】と組版されていて、【】に文字スタイル「データ付属／メーカー|商品名」が適用されていた場合、メーカーと商品名、両方のデータが空だと 【】が削除されます。



段落改行文字にデータ付属

Tips

段落改行文字に、文字スタイル「データ付属／組版データ項目名」を適用し、データが空の場合、段落を詰めて組版する事ができます。（※段落スタイルのデータ接続を使用した場合、段落スタイルは改行文字も含むため、自動で詰まります）メニューの【書式】【制御文字の表示】で段落改行文字を表示するとよいでしょう。

データが空の時、関連する文字を削除するには

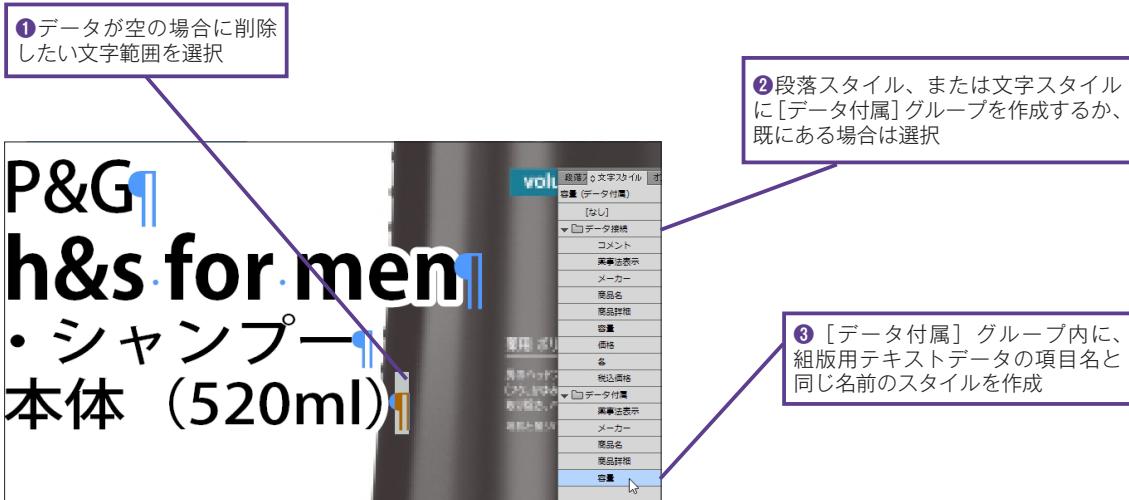
組版用テキストデータ

[容量] が空の場合があります



商品詳細	容量	各
・超コンパクト		各
・コンパクト		各
	(90g)	各
	(420ml)	各
	(100g)	各
	(100g)	各
	(100ml)	

テンプレート



組版結果



データが空の時、関連するオブジェクトを削除するには

組版用テキストデータ

[コメント] が空の場合があります

K	L
1 価格売出し区分	コメント
21 0	
22 0	すっごく吸い込む感をお試しください。
23 0	突発性の下痢に<000D>水なしで効く！
24 0	突発性の下痢に<000D>水なしで効く！
25 0	市場最薄ヘッド & 最細ネック！
26 1	みがくたび、強い歯へ！
27 1	みがくたび、強い歯へ！

テンプレート



組版結果



表組を組版しよう（エクセルファイル）

表スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

表スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている表組オブジェクトに、組版データのエクセルファイルのシートを配置します。例えば、表スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「価格表」スタイルが適用されている表組には、「価格表」項目データの表組ファイルを配置します。

複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ表組ファイルを配置します。

スタイルが適用されている表組の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、表組ファイルを配置します。

アンカー付オブジェクトの表組や、グループ化された表組などにも配置可能です。



サポートしているエクセルファイル

Excel ブック [.xlsx]
Excel マクロ有効ブック [.xlsm]
Excel97-2003 [.xls]

スタイルやスウォッチが、エクセルからインデザインの属性変換テーブル

エクセルファイルを配置する場合、表組にセルスタイル、文字スタイル、段落スタイル、スウォッチが適用されます。

各スタイル名やスウォッチ名が、テンプレートにない場合は、自動作成し適用しますが、既にテンプレートにある場合は、既存スタイルやスウォッチを適用します。例えば、文字スタイル「価格表／MS Pゴシック_8」の基本文字形式が、フォント：小塚ゴシック Pro、サイズ：12Qと設定してあるテンプレートを使用すれば、エクセル上で、フォントがMS Pゴシック、フォントサイズが8の文字は全て、フォントが小塚ゴシック Pro、サイズが12Qになります。

同様にスウォッチも「XLS/R=255 G=0 B=0」のCMYK値をC=0,M=100,Y=0,K=0と設定してあるテンプレートを使用すれば、エクセル上で、R=255 G=0 B=0の色は全て、マゼンタ(M=100)になります。つまり、テンプレートの段落・文字・セルスタイル、スウォッチは、エクセルからインデザインへの属性変換テーブルともいえます。

表幅は、テンプレートの表幅に合わせます。

列幅は、エクセルの列幅を使用します。（表幅に対しての割合）

行の高さは、テンプレートの行の高さを使用します。

また、表幅、列幅、行の高さは、設定で変更することができます。詳しくはセクション35「表組の設定をしよう」.36「表組の列設定をしよう」.37「表組の行設定をしよう」をご覧ください。

エクセルRGB色をCMYKに変換する

エクセルで使用されている色は全て、CMYKのスウォッチに変換します。

スウォッチ名は、エクセルのRGB値を示した XLS/R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。CMYK値は、RGB色の近似値です。

エクセルの罫線を変換する

エクセルの罫線は、InDesignの線種と線幅に変換します。変換値は以下の図です。

エクセル罫線	インデザイン線種	インデザイン線幅(mm)
なし	ベタ	0
-----	点線 (3 & 2)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (3 & 2)	0.25
=====	ベタ	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
=====	ベタ	0.5
=====	ベタ	0.75
=====	二重線	0.1

この変換値は変更する事ができます。詳しくはセクション 38 「エクセル罫線の変換設定をしよう」をご覧ください。

エクセルのセル属性を変換する

適用されるセルスタイルの名前は、

組版データ項目名／文字方向_ 縦位置_ セル背景色

となります。

文字方向は、縦書きの場合のみ「縦組」が入ります。

縦位置は、「上揃え」「中央揃え」「下揃え」「均等配置」です。

セル背景色は、R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。

エクセルの文字属性を変換する

セル内の文字には、段落スタイルと文字スタイルが適用されます。

適用される文字スタイルの名前は、

組版データ項目名／フォント名_ 太字_ 斜体_ 文字サイズ_ 文字色_ 下線種別_ 取り消し線_ 文字位置

となります。

文字色は、R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。

下線種別は、「下線」または「二重下線」です。

文字位置は、「上付き」または「下付き」です。

適用される段落スタイルの名前は、

セル書式設定の横位置が標準以外の場合、

組版データ項目名／横位置インデント値

となります。

例えば、エクセル上で、MS Pゴシック、フォントサイズが 8、文字色が R=255 G=0 B=0、横位置が中央揃えの場合、

文字スタイル名、価格表／MS Pゴシック _8_R=255 G=0 B=0

段落スタイル名、価格表／中央揃え

となります。（「価格表」項目のエクセルファイルを配置する場合）

文字スタイルは、フォント名のスタイルを基準スタイルとします。

上記の例では、

価格表／MS Pゴシック _8_R=255 G=0 B=0スタイルの基準スタイルは、

価格表／MS Pゴシックです。

エクセルファイルのシートを表組にするには

組版用テキストデータ

①エクセルファイル名とシートを入力
(※シート名は省略可)

	J	K	L	M	
1	部屋タイプ表	詳細	朝食付	宿泊日カレンダー表	旅行代
2	ホテルイースト21東京.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／14:00<0	1,500	ホテルイースト21東京.xlsx カレンダー	■旅行
3	京成ホテルミラマーレ.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／13:00●	1,200	京成ホテルミラマーレ.xlsx カレンダー	■旅行
4	東武ホテルレバント東京.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／14:00<0	1,500	東武ホテルレバント東京.xlsx カレンダー	■旅行
5					
6					

表組用エクセルデータ

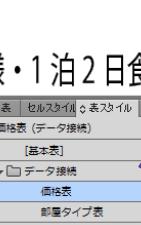
A	B	C	D	E	F	G	H	I
JRセットプラン(富山発着)								
宿泊日	デラックスツイン	セミダブル	スタンダードツイン スタンダードダブル	デラックスツイン	セミダブル	スタンダードツイン スタンダードダブル		
4名1室	24,800	22,700	24,800	4名1室	3,900	3,900	6,100	
5	23,300	25,400	23,300	5,300	5,300	5,300	7,500	
6	23,900	26,100	23,900	6,500	6,500	6,500	8,700	
7	25,600	27,800	25,600	9,300	9,300	8,900	11,700	
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

テンプレート

①文字ツールで配置した
い表組のセルをクリック

②表スタイルに「データ接続」グループ
を作成するか、既にある場合は選択

■旅行代金：お一人様 基本代金 + JR 加減代金	
■基本代金 / 大学生（大学院生）・短大生・各種専門学生 / お一人様・1泊2日食事	
JR セットプラン (富山発着)	
宿泊日	モデレートツイン
3名1室	2名1室
22,700	24,800
23,300	25,400
23,900	26,100
25,000	27,200
25,600	27,800



③「データ接続」グループ内に、
組版データの項目名と同じ名前の
スタイルを作成

組版結果

エクセルシートが表組になりました

- 無料ツールの文字あふれ処理を使用し、設定値を、「あふれ文字全て処理する」にチェックをいれて実行しました。
- 文字あふれ処理の設定値を、文字スタイル「価格表／M S Pゴシック_10_R=255 G=255 B=255」、1行以下にする、変形、60% 限度で実行しました。

Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels

東陽町 オークラホテルズ ホテルレイースト21東京

4D 24時間滞在OK! (レイチケット付1400円)

部屋タイプ 定員数 間取り 正ベッド エクストラベッド

ダブル	4名	34.5m ²	110cm×2台	100cm×1台+95cm×1台
ダブル	3名	34.5m ²	110cm×2台	100cm×1台
タングルーム	2名	27.0m ²	110cm×2台	—
タングルーム	2名	27.0m ²	180cm×1台	—
セミダブル	2名	19.5m ²	120cm×1台	—

■宿泊日カレンダー

1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

■朝食付 (1泊一人につき) **1,500円増**

■旅行代金: お一人様 **基本代金 + 旅行代金**

■基本代金 / 大学生 (大学院生) / 短大生 / 各種専門学生 / お一人様・1泊2日食事なし + **朝食付** (1泊一人につき) (単位:円)

宿泊日	JR セットプラン (富山駅着)				追加宿泊代金			
	ダブルツイン	セミダブル	スタンダードツイン	セミダブル	ダブル	セミダブル	スタンダードツイン	ダブル
4名1室	3名1室	2名1室	2名1室	4名1室	3名1室	2名1室	2名1室	
22,700	24,800	22,700	24,800	3,900	3,900	3,900	6,100	
23,300	25,400	23,300	25,400	5,300	5,300	5,300	7,500	
23,900	26,100	23,900	26,100	6,500	6,500	6,500	8,700	
25,600	27,800	25,600	27,800	9,300	9,300	8,900	11,700	

Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels

千葉 京成ホテルミラマーレ

4D 500円引! (下記料金よりお一人様1泊)

部屋タイプ 定員数 間取り 正ベッド エクストラベッド

モデルーム	2~3名	27.0m ²	110cm×2台	90cm×2台
スタンダード	2名	18.0m ²	120cm×1台	90cm×3台
ダブル	2名	21m ²	150cm×1台	—

■宿泊日カレンダー

1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

6 700円引! (下記料金よりお一人様1泊)

■朝食付 (1泊一人につき) **1,200円増**

■旅行代金: お一人様 **基本代金 + 旅行代金**

■基本代金 / 大学生 (大学院生) / 短大生 / 各種専門学生 / お一人様・1泊2日食事なし + **朝食付** (1泊一人につき) (単位:円)

宿泊日	JR セットプラン (富山駅着)				追加宿泊代金			
	モデルーム	スタンダード	ダブル	セミダブル	モデルーム	スタンダード	ダブル	セミダブル
3名1室	2名1室	2名1室	2名1室	3,700	5,800	3,700	4,300	
22,700	24,800	24,800	24,800	23,300	3,700	3,700	4,300	
23,300	25,400	23,300	23,300	23,800	4,300	6,400	4,300	
23,900	26,100	23,900	25,000	24,500	4,900	7,100	4,900	
25,600	27,800	25,600	27,800	25,100	6,000	8,200	6,000	
				25,600	6,600	8,800	6,600	

- 58 -

表組を組版しよう (csv、txt、tsvファイル)

表スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

表スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている表組オブジェクトに、組版データの csv、txt、tsv ファイルを配置します。

例えば、表スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「価格表」スタイルが適用されている表組には、価格表項目データの表組ファイルを配置します。

複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ表組ファイルを配置します。

スタイルが適用されている表組の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、表組ファイルを配置します。

アンカー付オブジェクトの表組や、グループ化された表組などにも配置可能です。

csv、txt、tsvファイルを配置する

csv、txt、tsv ファイルを配置する場合、テンプレート表組の文字属性、罫線、色を使用します。

データ中にセルの InDesign タグを使用し、セル背景色、列幅、行の高さ、セル組方向、罫線などを変更できます。

詳しくは、セクション 13 「インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう」をご覧ください。

表幅は、テンプレートの表幅に合わせます。

列幅は、テンプレートの列幅を使用します。テンプレート列数とデータ列数が異なる場合、最後の列を使用します。

行の高さは、テンプレートの行の高さを使用します。テンプレート行数とデータ行数が異なる場合、最後の行を使用します。

表幅、列幅、行の高さは、設定で変更する事ができます。表幅を「成り行き」にしたり、テンプレート列数とデータ列数が異なる場合、最後の列ではなく、指定した列を増減する事ができます。詳しくはセクション 35 「表組の設定をしよう」.36 「表組の列設定をしよう」.37 「表組の行設定をしよう」をご覧ください。

また、セル結合はデータ値で判定します。

行方向に（次の行と）セル結合したい場合は、同じ値を入力します。

列方向に（次の列と）セル結合したい場合は、なにも入力しません。

例えば、以下の csv ファイルの場合、セル 1 は列方向にセル結合し、セル 2 は行方向にセル結合します。

セル 1, セル 2

セル 3, セル 4, セル 2

csv、txt、tsvファイルを表組にするには

組版用テキストデータ

- ① csv、txt、tsv ファイルのファイル名のみ入力

	D	E	F
1	素材グループ	画像	予約電話番号
2		ホテルイースト21東京	TEL 03-5683-5737
3		京成ホテルミラマーレ	TEL 043-222-2111
4	東武ホテルレバント東京-素材.csv	東武ホテルレバント東京	TEL 03-5611-5617
5			

表組用テキストデータ

	A	B	C	D	E
1	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>素材グループ004<0008><cc:Black>B券<cc:C=0 M=100 Y=100 K=0>★3652-301				
2	販売素材	食事なし		朝食付	
3	販売素材	基本	なかよ4	基本	なかよ4
4	スタンダードツイン／<000D>カジュアルツイン	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>032	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>033	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>034	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>035

テンプレート

① 文字ツールで配置したい表組のセルをクリック

② 表スタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

③ [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

組版結果

csv、txt、tsv ファイルが表組になりました

無料ツールの文字あふれ処理を使用し、設定値を、文字スタイル「素材グループ文字」、1行以下にする、変形、50% 限度で実行しました。

データ行毎にテンプレートを変えよう

組版データにテンプレート項目を用意する

組版データに項目名「テンプレート」があり、テンプレート名が入力してあれば、テンプレートを切り替えて自動組版します。

テンプレート名の入力がなければ、組版実行で指定したテンプレートを使用します。

テンプレート名が見つからない場合は、ログで警告終了となり、詳細説明に見つからなかったファイル名を記載します。

データ行毎にテンプレートを変えるには

組版用テキストデータ

① [テンプレート] 項目を用意	②テンプレートを変更したい行に、テンプレートファイル名を入力
1 テンプレート	
テンプレート大.idms	32 無制限大.idms
テンプレート大.idms	33 限り大.idms
	39 限り.idms
40 限り.idms	在庫限り
41 限り.idms	展示品限り
42 限り.idms	在庫限り
	在庫・<000D>展示品限り
	在庫限り

組版結果

入力したテンプレートに変更されました



複数データ行が1つの表組になる

頁をまたがる大きい表組、例えば、カラオケ本、チケット情報、表組型の名簿、表組型の索引や、1つの小組で、複数の商品コードが表組になっているカタログ、旅行行程表などに利用します。

自動組版は通常、1データ行で1小組を作成しますが、ここでの説明は、複数データ行を1つの表組として自動組版する方法です。複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」のデータ値が、連続して同じものを1つとして扱います。例えば「コマコード」の値が AJ-001 が3行続き、次に BJ-005 が2行続ければ、全体のデータ行数は5行ですが、作成する小組は2つです。

テンプレートの作成方法は、セル内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション15「文字を組版しよう」17「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」19「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次に表スタイル、データエリア／増減行（「データエリア」スタイルグループ内の「増減行」スタイル）を表組に適用します。

テンプレート表組の1行分を使用し「データ接続／組版データ項目名」を適用すれば、データ行に合わせて1行単位で増減します。

テンプレート表組の3行分を使用し「データ接続／組版データ項目名」を適用すれば、データ行に合わせて3行単位で増減します。（データ行が2行なら6行の表組を作成）

また、組版データに項目名「増減行テンプレート」があり、テンプレート名（スニペットファイル名、.idms は省略可）が入力されていると、行の途中でレイアウトを変更することができます。「増減行テンプレート」に入力されているレイアウト変更用表組に、ヘッダー行が含まれていても、本文行のみ組版します。

増減行の表組と、レイアウト変更用表組の列数を同じにする必要があります。列数を変化（列方向のセル結合）させたい場合、レイアウト変更用表組にヘッダー行（組版されない）を作成し、増減行の表組と列数を同じにします。列数が違う場合、ログに警告終了として記載されます。

増減行には、フィルター機能があります。増減行スタイル名に＜重複なし＞を含めると、増減行に含まれている組版データ項目値が全て重複している行を組版しません。例えば、データエリア／増減行＜重複なし＞とし、セル内の文字に「データ接続／サイズ」、「データ接続／価格」スタイル名があるとします。その場合、サイズ、価格の値が重複するデータ行は組版しません。

他のフィルター機能として、＜項目名＝値＞、＜項目名!= 値＞があります。例えば、データエリア／増減行＜種別=1>とすれば、データ項目名「種別」の値が1のデータ行のみ組版します。!=は反対の意味になります。<種別!=1>とすれば、「種別」の値が1ではないデータ行のみ組版します。

1つの小組で2つ以上の増減行を組版したい場合は、表組に異なる増減行スタイル名を適用します。例えば、「増減行 - 価格」、「増減行 - 注文番号」など「増減行」から始まるスタイル名は全て、増減行の表組として扱います。

「増減行 - 価格」のレイアウトを途中で変更する場合は、組版データに項目名「増減行 - 価格テンプレート」を用意します。つまり、増減行スタイル名+「テンプレート」となります。

セル結合

Tips

増減行の表組と、レイアウト変更用表組のヘッダー列数を同じにしておくことで、列方向のセル結合を表現できます。行方向のセル結合は、セクション41「複数行データのまとめ設定をしよう」をご覧ください。

複数データ行を表組にするには

組版用テキストデータ

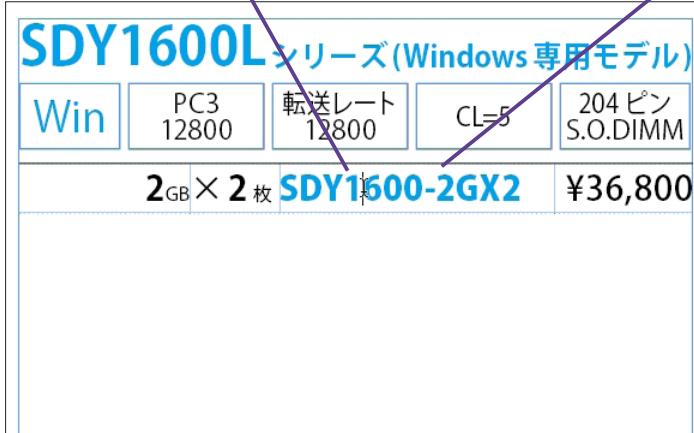
- ① [コマコード] 項目を用意
- ②コマコードに1つにしたい行分、同じ値を入力

A	B	C	D	E	F	G	H	I
コマコード	シリーズ	データ転送速度	データ転送能力	遅延時間	GB	枚数	品番	価格
1 SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	2		SDY1600L-2G	5,600
2 SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	4		SDY1600L-4G	9,000
4 SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	8		SDY1600L-8G	19,200
5 SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	4		SDY1600L-H4G	8,000
6 SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	2		SDY1600-2G	5,600
7 SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	4		SDY1600-4G	9,000
8 SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	8		SDY1600-8G	19,200
9 SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	2	2	SDY1600-2GX2	11,000
10 SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	4	2	SDY1600-4GX2	17,200
11 SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	8	2	SDY1600-8GX2	36,800
12 SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2		SDY1333-2G	5,600
13 SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	4		SDY1333-4G	8,000
14 SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	8		SDY1333-8G	17,200
15 SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2	2	SDY1333-2GX2	11,000
16 SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	4	2	SDY1333-4GX2	15,000
17 SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	1		SDY1333-H1G	3,000
18 SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2		SDY1333-H2G	5,000
19 SDY1066	SDY1066	PC3<000D>8500	1066	7	2		SDY1066-2G	5,600

テンプレート

- ①セル内の文字範囲やオブジェクトに[データ接続／組版データ項目名]を適用

- ②文字ツールで配置したい表組のセルをクリック



- ③表スタイルに[データエリア]グループを作成するか、既にある場合は選択

- ④[データエリア]グループ内に、[増減行+]スタイルを作成

組版結果

同一コマコード行分の表組が組版されました

SDY1600 シリーズ (Windows 専用モデル)			
Win	PC3 12800	転送レート 1600	CL=11
2GB	SDY1600-2G	¥5,600	
4GB	SDY1600-4G	¥9,000	
8GB	SDY1600-8G	¥19,200	
2GB × 2枚	SDY1600-2GX2	¥11,000	
4GB × 2枚	SDY1600-4GX2	¥17,200	
8GB × 2枚	SDY1600-8GX2	¥36,800	

複数データ行の途中で、行レイアウトを変えるには

組版用テキストデータ

① [増減行テンプレート]
項目を用意

②表組行のテンプレートを変更したい行に、
テンプレートファイル名 (idms) を入力

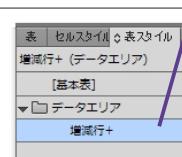
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	コマコード	増減行テンプレート	シリーズ	データ転送速度	データ転送能力	遅延時間	モデル	GB	枚数	品番
2	SDY1600L	モデル付き	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	2		SDY1600L-2G
3	SDY1600L		SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	4		SDY1600L-4G
4	SDY1600L		SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	8		SDY1600L-8G
5	SDY1600L	モデル付き	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応低消費電力モデル	4		SDY1600L-H4G
6	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		2		SDY1600-2G
7	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		4		SDY1600-4G
8	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		8		SDY1600-8G
9	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		2	2	SDY1600-2GX2
10	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		4	2	SDY1600-4GX2
11	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		8	2	SDY1600-8GX2
12	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2		SDY1333-2G
13	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		4		SDY1333-4G
14	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		8		SDY1333-8G
15	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2	2	SDY1333-2GX2
16	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		4	2	SDY1333-4GX2
17	SDY1333	モデル付き	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	低消費電力モデル	1		SDY1333-H1G
18	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2		SDY1333-H2G
19	SDY1066		SDY1066	PC3<000D>8500	1066	7		2		SDY1066-2G

テンプレート

①セル内の文字範囲やオブジェクトに
[データ接続／組版データ項目名] を適用

②表組に表スタイル [データエリア／増減行]
を適用

SDY1600L シリーズ (Windows 専用モデル)				
Win	PC3 12800	転送レート 12800	CL=5	204 ピン S.O.DIMM
2GB × 2枚	SDY1600-2GX2	¥36,800		



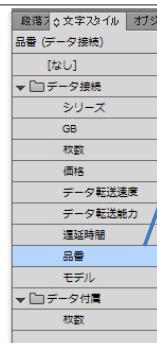
レイアウト変更用増減行テンプレート

①セル内の文字範囲やオブジェクトに
[データ接続／組版データ項目名] を適用

②列数は同じにしておく

レイアウト変更用の表は、[データ
エリア／増減行] スタイルを適用す
る必要はありません

低電圧対応モデル		
2GB	× 2枚	SDY1600L-H4G



組版結果

増減行の途中で行レイアウト
が変更されました

SDY1600L シリーズ(Windows 専用モデル)				
Win	PC3L 12800	転送レート 1600	CL=11	204 ピン S.O.DIMM
低電圧対応モデル				
2GB		SDY1600L-2G		¥5,600
4GB		SDY1600L-4G		¥9,000
8GB		SDY1600L-8G		¥19,200
低電圧対応低消費電力モデル				
4GB		SDY1600L-H4G		¥8,000

27

複数データ行を組版しよう
(増減テキスト)

複数データ行から1つの文章を作る

ページをまたがる文章、例えば、辞典、参考書、名簿、索引、ユーザーガイドなどに利用します。

複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」については、セクション26「複数データ行を表組にしよう(増減行)」をご覧ください。

テンプレートの作成方法は、1つのテキストフレーム内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション15「文字を組版しよう」.17「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」.19「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次にオブジェクトスタイル、データエリア／増減テキスト(「データエリア」スタイルグループ内の「増減テキスト」スタイル)をテキストフレームに適用します。

あらかじめページ数がわからない場合は、InDesignの「スマートテキストのリフロー処理」機能を使用してください。

組版データに項目名「増減テキストテンプレート」があり、テンプレート名(スニペットファイル名、.idmsは省略可)が入力されると、文章の途中でレイアウトを変更することができます。

増減テキストには、フィルター機能があります。増減テキストスタイル名に<項目名=値>または<項目名!=値>を含めると、項目値に一致または一致しないデータ行のみ組版します。例えば、データエリア／増減テキスト<種別=1>とすれば、データ項目名「種別」の値が1のデータ行のみ組版します。!=は反対の意味になります。<種別!=1>とすれば、「種別」の値が1ではないデータ行のみ組版します。

1つの小組で2つ以上の増減テキストを組版したい場合は、テキストフレームに異なる増減テキストスタイル名を適用します。例えば、「増減テキスト-価格」、「増減テキスト-注文番号」など「増減テキスト」から始まるスタイル名は全て、増減テキストのテキストフレームとして扱います。

「増減テキスト-価格」のレイアウトを途中で変更する場合は、組版データに項目名「増減テキスト-価格テンプレート」を用意します。つまり、増減テキストスタイル名+「テンプレート」となります。

 ユーザーガイド

Tips

このユーザーガイドは、増減テキストを使用し作成しました。セクションが同一コマコードで、帶見出し(～するには)が1行分のデータです。

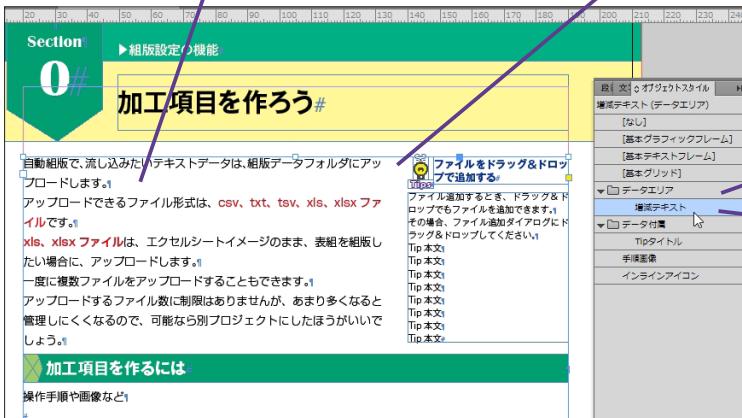
1. 自動組版
2. 画面イメージの操作手順位置や、指示線などを手作業で調整
3. ブックファイルにし、PDF出力という作業手順です。

複数データ行を、増減テキストで組版するには

組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意	②コマコードに1つにしたい行分、同じ値を入力	【見出し】複数データ行か【本文】ページをまたがる複数データ行を1つとして下さい。 テンプレートの作成方法は「文字を組版しよう」「画面にオブジェクトスタイル、あらかじめページ数がわざまた、組版データに項目名ができます。」		
1 コマコード	A Section番号 章タイトル タイトル 本文			
複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	26 テンプレートの機能	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)

テンプレート

①テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに[データ接続／組版データ項目名]を適用	②選択ツールで、流し込みたいテキストフレームを選択	③オブジェクトスタイルに[データエリア]グループを作成するか、既にある場合は選択	④[データエリア]グループ内に、[増減テキスト]スタイルを作成
			

組版結果

Section ▶ LinkCube の基本

10 InDesign で開こう、または配置しよう

InDesign でダウンロードしたファイルを使用する

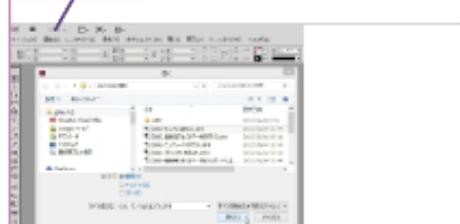
ダウンロードしたスニペットファイル（拡張子 .idms）は、InDesign メニューのファイル→配置、または InDesign ドキュメントにドラッグ＆ドロップ、または InDesign メニューのウィンドウ→Mini Bridge で配置できます。

IDML ファイル（拡張子 .idml）は、InDesign メニューのファイル→開く、で開く事ができます。

開く、配置とともに権限ファイル選択する事ができます。

InDesign で開くには

スニペットファイルを開く
開くボタンをクリック



IDML ファイルが表示されました



InDesign で配置するには

スニペットファイルを開く
開くボタンをクリック



同一コマコード行分の文章
が組版されました

複数データ行の途中で、増減テキストレイアウトを変えるには

組版用テキストデータ

① [増減テキストテンプレート] 項目を用意

②増減テキストで、テンプレート変更したい行に、テンプレートファイル名 (idms) を入力

A	B	C	D	E	F	G	H	I	解説
コマコード	増減テキストテンプレート	章番号	章見出し	大見出し	中見出し	重要度	用語文字数+2	用語	
世界のすがた	大見出しテンプレート	1	世界のすがた	1 地球のすがた	①六大陸と三大洋	1	4	大陸	地球上 オースト <000
世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	①六大陸と三大洋	1	9	ユーラシア大陸	六大陸 州と東
世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	①六大陸と三大洋	1	6	南極大陸	六大陸 によって 本は、
世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	①六大陸と三大洋	2	4	陸地	地球表 <000
世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	①六大陸と三大洋	4	12	プレートテクトニクス	地球上 たり地層 じめに、 クスの考
世界のすがた	中見出しテンプレート	1	世界のすがた	1 地球のすがた	②地図と地球儀	1	5	地球儀	地球の 緯線、 い距離
世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	②地図と地球儀	4	11	図法（地図投影法）	球体で ての面

テンプレート

①テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに [データ接続／組版データ項目名] を適用

②テキストフレームにオブジェクトスタイル [データエリア／増減テキスト] を適用



レイアウト変更用増減テキストテンプレート

①テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに[データ接続/組版データ項目名]を適用

1 地球のすがた

①六大陸と三大洋

■項目 ああああああああああああ
ああああああああああああああああ
あああ

大見出しテンプレート.idms

中見出しテンプレート.idms

レイアウト変更用のテキストフレームは、[データアリア/増減テキスト]スタイルを適用する必要はありません

①六大陸と三大洋

■項目 あああああああああああ
ああああああああああああああ
あああ

組版結果

増減テキストの途中でレイアウトが変更されました

第1章 世界のすがた

1 地球のすがた

①六大陸と三大洋

大陸 地球上の大きな陸地。ヨーロッパ大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の六つの大陸(六大陸)がある。

六大陸

②ラシア大陸

大陸のうち、最も大きな大陸。ウラル山脈や黒海・カスピ海を境に、西側のヨーロッパ州と東側のアジア州

の約29%を占めている。

プレートテクトニクス 地球上の大陸や海底が、いくつものブロックに分かれていることで、さまざまな地形ができる。地殻が起こったときに大陸が沈没したりすると説明される考え方。プレートは、板状になった岩石の層。20世紀はじめに大陸はもとほ一緒にいたとする大陸運動説がなされ、近年はプレートテクトニクス考え方と関連して考えられている。

大陸移動説

②地図と地球儀

地球儀 地球の模型。車上式で、座標を23.5度傾けたものが多い。陸地と海洋に分け、経線・緯線・国境・国名、海洋名などがあらわされている。

第2章 世界の諸地域

1 アジア州

①東アジア

ティエンシャン(天山)山脈、中国の内陸部から、日本半島にかけて東西に伸びる山脈。7000m以上あり、乾燥地帯であるが、1000m雪をおぼれています。

②華人(中国系)

海外に移住し、移住先の国籍を取った中国人とその子孫。移住先の国籍を保有していない中国人を総称とよぶ。特に東南アジアに多く、東南アジアの華人は、移住先の経済に大きな影響力を持っている。

③東南アジア

南シナ海 中国の南側に広がる太平洋西部の海域。シンドシア半島

マレーシア

プランテーション
から工業化へ
首都: クアラルンプール
面積: 33万km²
人口: 2840万人

【自然】マレー半島南部とカリマント島南部からなる。高温多湿の熱帯で、国土の60%が熱帯雨林。

【歴史】1957年イギリスから独立。

【文化】国民の多くはマレー系民族で、そのほか中国系、インド系などで構成される多民族国家。イスラム教が国教と定められている。

【産業】アラヤや天然ゴムのプランテーションがさかいで、木材、天然ガス、石油などの天然資源も豊富。日本や韓国にならうリックイースト政策で工業化に成

複数データ行をまとめ組版しよう（統合テキスト）

複数データ行から、重複部分を除いて1つのテキストを作る

複数商品を、1つの小組にまとめるチラシなどに利用します。1つの小組にまとめるためには、複数行データの重複部分、内容の前後関係などを考慮する必要がありますが、全て自動で判断し、組版します。

複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」については、セクション26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

テンプレートの作成方法は、1つのテキストフレーム内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクトスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション15「文字を組版しよう」.17「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」.19「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次にオブジェクトスタイル、データエリア／統合テキスト（「データエリア」スタイルグループ内の「統合テキスト」スタイル）をテキストフレームに適用します。

データエリア／統合テキストを適用したテキストフレーム内の文字は、項目データ重複や前後関係を考慮したテキスト内容になります。

複数データ行を、統合テキストでまとめ組版するには

組版用テキストデータ

	A	B	C	D
1	コマコード	メーカー	メーカー名	商品名
2	A	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	h&s for men<000D>ボリ
3	A	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	h&s for men<000D>ボリ
4	B	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	h&s for men<000D>ボリ
5	B	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	h&s for men<000D>ボリ
6	C	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	プログランドシルバー
7	D	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	ソフィボディフィット
8	D	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	ソフィボディフィット
9	E	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	ソフィはだおもい
10	F	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	アリエールスピード
11	F	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	アリエールスピード
12	G	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	レノアハピネス
13	G	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	レノアハピネス
14	H	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	ファブリーズ
15	I	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	チャームナップ<000D>叻
16	J	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	ソフィ超熟睡ガード
17	K	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	トップ<000D>HYGIA(ハイ
18	L	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	香りと<000D>デオドラン
19	M	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	ルック<000D>おふろの
20	M	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/@メーカー.jpg	ルック<000D>おふろの

複数の統合テキストフレーム

Tips

1つの小組で統合テキストフレームを2つ以上使いたい場合は、それぞれ別の名前になります。例えば、商品説明・統合テキスト、価格・統合テキストなどです。オブジェクトスタイル名は、統合テキストで終わる必要があります。

テンプレート



組版結果



小組(コマ)を複数配置した状態で自動組版しよう

小組テンプレートを複数配置したテンプレートや

小組配置後的一部分を自動組版できる

リンクキューブでは、テンプレートと組版結果の区別はありません。組版結果をそのままテンプレートとして自動組版できます。このセクションの説明で、小組と記述されている箇所を、小組テンプレートに置き換えてよいです。逆に小組テンプレートを、小組に置き換えてよいです。

小組テンプレートを複数配置したドキュメント(idml)をテンプレートにして、組版データ入稿時にいっしに自動組版したり、チラシなどで複数小組が配置されている商品カテゴリー単位でテンプレートにしたり、完成したドキュメントの価格のみを自動組版したりすることができます。

配置済みの全組版データを用意する必要はありません。小組が6つ配置されていて、小組2つ分の組版データで自動組版すれば、4つ分の小組はそのままです。

テンプレート上に、複数の小組が配置されているため、複数のオブジェクトを1つの小組として扱う指定と、組版データを、配置済みのどの小組に流し込むかを指定する必要があります。

複数のオブジェクトを1つの小組として扱うには、小組単位でグループ化します。1つの小組に、1つのテキストフレームしかない場合は、グループ化できないので、オブジェクトスタイル、データエリア／コマフレームをテキストフレームに適用します。

組版データを、どの小組に流し込むかを指定するには、組版データ項目名「コマコード」を使用します。「コマコード」については、セクション26「複数データ行を表組にしよう(増減行)」をご覧ください。

小組の段落または文字スタイル、データ接続／コマコードが適用された文字と、組版データ項目名「コマコード」の値が一致した場合、小組を自動組版します。例えば、組版データに「コマコード」の値がAJ-001、BJ-005の2つがあるとします。

テンプレートには、グループ化された小組が3つあり、それぞれの小組内に、文字スタイル、データ接続／コマコードが適用された文字、AJ-001、BJ-005、CJ-007があれば、AJ-001、BJ-005を含む小組2つを自動組版します。CJ-007を含む小組は、そのままです。

コマコードの値を組版したくない場合は、コマコードのみのテキストフレームを作成し、InDesignのプリント属性パネルで「印刷しない」にチェックをいれてください。

複数の配置済みテンプレートを、一度に自動組版できる

複数の配置済みテンプレートを、一度に自動組版したい場合は、組版データ項目名「テンプレート」を用意します。「テンプレート」については、セクション25「データ行毎にテンプレートを変えよう」をご覧ください。

ただし、テンプレート名の入力がない場合の動作が異なります。テンプレート名の入力がなければ、直前で指定したテンプレートを使用します。



制限事項

Tips

セクション28「複数データ行をまとめ組版しよう(統合テキスト)」の組版結果をテンプレートにすることはできません。統合テキストを使用する場合は、1商品分のテンプレートにしておく必要があります。

小組を複数配置したテンプレートを自動組版するには

組版用テキストデータ

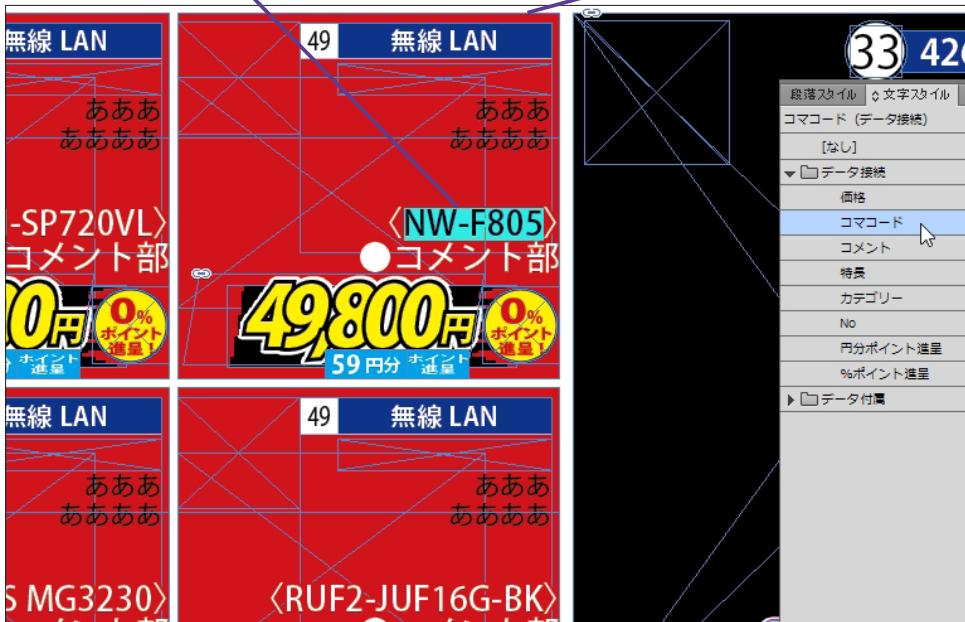
① [コマコード] 項目を用意

メーカー	特長	コマコード	価格	価格バク
Panasonic	(7V型ワイドVGA液晶) (ワンセグチューナー内蔵) (FM-VICS標準対応) (バッテリー内蔵)	CN-SP720VL	XXX	/LCサン
SONY	(3.5インチ液晶)<000D>(Bluetooth対応)<000D>NW-F805		XXX	/LCサン
Canon	[自動両面印刷(ハガキ非対応)]	PIXUS MG3230	XXX	/LCサン
BUFFALO	(USB2.0)<000D>[<cSize:13Q>16GB]	RUF2-JUF16G-BK	XXX	/LCサン
SHARP	(親機表示:カナ)(子機表示:カナ)<000D>[ワンUX-310CL-W]		XXX	/LCサン
SHARP	[庫内容量26ℓ]<000D><AnchoredObj:=<oLinkPath>RE-S26F-B		XXX	/LCサン
MITSUBISHI	[5.5合炊]<000D><AnchoredObj:=<oLinkPath>NJ-E10J1-W		XXX	/LCサン
ZUMI	(2枚刃)<000D>(充電)<000D>(水洗いOK)	ZFV20-S	XXX	/LCサン
KEYO	(12V/24V対応) (音声録音可能) (静止画撮影可能) (動態検知機能付) (2GB SDカード付属) (バッテリー内蔵)	AN-R007	XXX	/LCサン
LACIE	[<cSize:13Q>2TB]	LCH-MND020U3	XXX	/LCサン

テンプレート

①段落スタイルまたは文字スタイル、データ接続/コマコードを適用

②小組単位でグループ化するか、小組が1つのテキストフレームの場合、オブジェクトスタイル [データエリア/コマフレーム] を適用



組版結果

配置済みの小組が自動組版されました



一部分だけ自動組版するには

組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意	②組版したい項目のみ用意																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマコード</th><th>価格</th><th>価格パクダン</th><th>%ポイント進呈</th><th>円分ポイント進呈</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AQR-361B-S</td><td>60,800</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>CN-SP720VL</td><td>49,800</td><td>/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>NW-F805</td><td>16,800</td><td>/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>PIXUS MG3230</td><td>5,880</td><td>/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン</td><td>59</td><td></td></tr> <tr> <td>RUF2-JUF16G-BK</td><td>850</td><td>/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン</td><td>5</td><td>43</td></tr> </tbody> </table>		コマコード	価格	価格パクダン	%ポイント進呈	円分ポイント進呈	AQR-361B-S	60,800				CN-SP720VL	49,800	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン			NW-F805	16,800	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン			PIXUS MG3230	5,880	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン	59		RUF2-JUF16G-BK	850	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン	5	43
コマコード	価格	価格パクダン	%ポイント進呈	円分ポイント進呈																											
AQR-361B-S	60,800																														
CN-SP720VL	49,800	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン																													
NW-F805	16,800	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン																													
PIXUS MG3230	5,880	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン	59																												
RUF2-JUF16G-BK	850	/LCサンプル画像/LC電機チラシ/パクダン	5	43																											

テンプレート

「小組を複数配置したテンプレートを自動組版するには」の組版結果



組版結果

一部分（価格と価格に関連する部分）だけ
自動組版されました

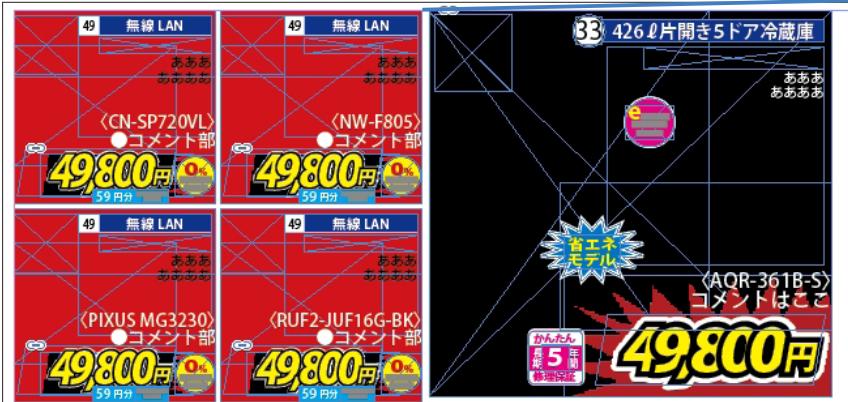


複数の配置済みテンプレートを一度に自動組版するには

組版用テキストデータ

① [テンプレート] 項目を用意	② [コマコード] 項目を用意																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>テンプレート</th> <th>コマコード</th> <th>No</th> <th>台数マーク</th> <th>台数</th> <th>カテゴリー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カテゴリー1.idms</td> <td>AQR-361B-S</td> <td>32</td> <td>無制限</td> <td>大.idms</td> <td>355L片開き4ドア冷蔵庫</td> </tr> <tr> <td></td> <td>CN-SP720VL</td> <td>39</td> <td>限り.idms</td> <td>展示品限り</td> <td>ポータブルナビゲーション</td> </tr> <tr> <td></td> <td>NW-F805</td> <td>40</td> <td>限り.idms</td> <td>在庫限り</td> <td>ウォークマンFシリーズ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PIXUS MG3230</td> <td>41</td> <td>限り.idms</td> <td>在庫・ 展示品限り</td> <td>プリンタ複合機</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RUF2-JUF16G-BK</td> <td>42</td> <td>限り.idms</td> <td>在庫限り</td> <td>USBメモリ</td> </tr> <tr> <td>カテゴリー2.idms</td> <td>UX-310CL-W</td> <td>43</td> <td>先着.idms</td> <td></td> <td>5 デジタルコードレス<00</td> </tr> <tr> <td>カテゴリー2.idms</td> <td>RE-S26F-B</td> <td>44</td> <td>限り.idms</td> <td>在庫・ 展示品限り</td> <td>オープンレンジ</td> </tr> <tr> <td>カテゴリー2.idms</td> <td>NJ-E10J1-W</td> <td>45</td> <td>限り.idms</td> <td>在庫・ 展示品限り</td> <td>沸騰IHジャー炊飯器</td> </tr> <tr> <td>カテゴリー2.idms</td> <td>ZFV20-S</td> <td>46</td> <td>無制限.idms</td> <td></td> <td>メンズシェーバー</td> </tr> </tbody> </table>	テンプレート	コマコード	No	台数マーク	台数	カテゴリー	カテゴリー1.idms	AQR-361B-S	32	無制限	大.idms	355L片開き4ドア冷蔵庫		CN-SP720VL	39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション		NW-F805	40	限り.idms	在庫限り	ウォークマンFシリーズ		PIXUS MG3230	41	限り.idms	在庫・ 展示品限り	プリンタ複合機		RUF2-JUF16G-BK	42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ	カテゴリー2.idms	UX-310CL-W	43	先着.idms		5 デジタルコードレス<00	カテゴリー2.idms	RE-S26F-B	44	限り.idms	在庫・ 展示品限り	オープンレンジ	カテゴリー2.idms	NJ-E10J1-W	45	限り.idms	在庫・ 展示品限り	沸騰IHジャー炊飯器	カテゴリー2.idms	ZFV20-S	46	無制限.idms		メンズシェーバー	
テンプレート	コマコード	No	台数マーク	台数	カテゴリー																																																								
カテゴリー1.idms	AQR-361B-S	32	無制限	大.idms	355L片開き4ドア冷蔵庫																																																								
	CN-SP720VL	39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション																																																								
	NW-F805	40	限り.idms	在庫限り	ウォークマンFシリーズ																																																								
	PIXUS MG3230	41	限り.idms	在庫・ 展示品限り	プリンタ複合機																																																								
	RUF2-JUF16G-BK	42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ																																																								
カテゴリー2.idms	UX-310CL-W	43	先着.idms		5 デジタルコードレス<00																																																								
カテゴリー2.idms	RE-S26F-B	44	限り.idms	在庫・ 展示品限り	オープンレンジ																																																								
カテゴリー2.idms	NJ-E10J1-W	45	限り.idms	在庫・ 展示品限り	沸騰IHジャー炊飯器																																																								
カテゴリー2.idms	ZFV20-S	46	無制限.idms		メンズシェーバー																																																								

テンプレート



カテゴリ 1.idms



カテゴリ 2.idms

組版結果



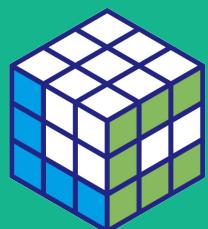
複数の配置済みテンプレートが一度に自動組版されました
(2ファイル作成)



第3章

組版設定の機能

組版設定がなくても自動組版は可能ですが、組版設定を作ると簡単な文字入力で、複雑な組版が可能になります。設定の種類、方法をマスターしましょう。



LinkCube

30

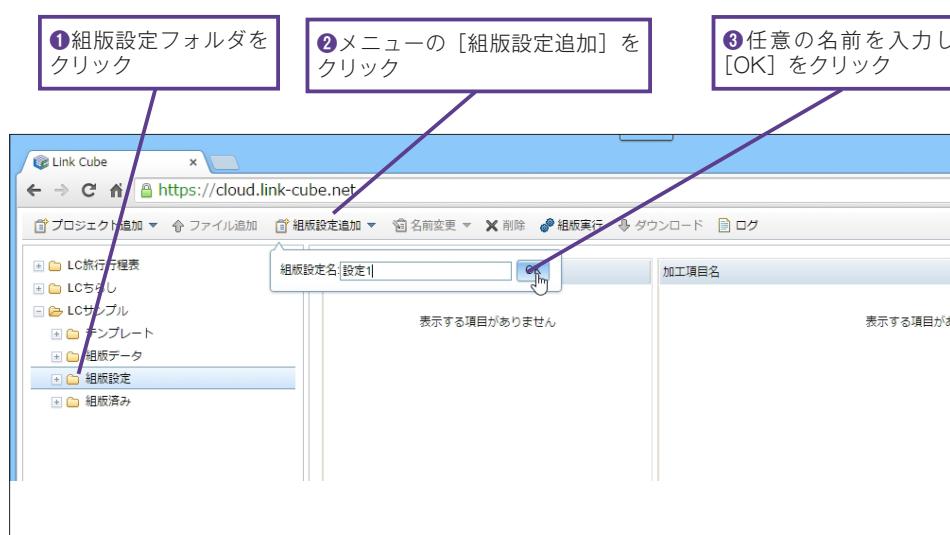
組版設定を作ろう

より高度な自動組版ができる

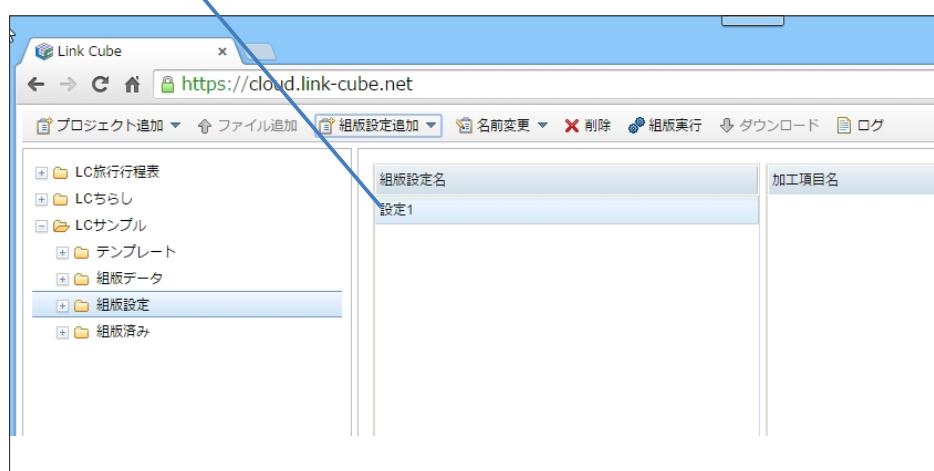
組版設定がなくても自動組版は可能ですが、組版設定を作ると、文字の置換、条件による文字の付加、エクセル表組の罫線設定、索引登録など色々な事ができます。

組版設定は複数追加する事ができるので、自動組版時に組版設定を切り替え、印刷用に画像だった部分を、電子書籍用に動画へ変更したり、Mac/Windows 版 InDesign 混在環境で、画像ファイルサーバーのパス切替に使用したり、置換や付加で設定してあるインデザインタグを切り替え、異なるデザインにする事ができます。

組版設定を作るには



組版設定が追加され、設定名が表示されました



加工項目を作ろう

加工が必要なデータ項目分だけ作る

1つの組版設定に対して、複数の加工項目を追加できます。組版設定をクリック選択すると、加工項目の追加、複製、編集、削除が行えます。加工したい組版データ項目名を、そのまま加工項目名にします。例えば、組版データ項目名「価格」の値に三桁カンマを挿入したい、とします。その場合、加工項目名は「価格」となります。

組版データ項目名「通常価格」と「特別価格」に三桁カンマを挿入した

い、とします。その場合、加工項目名を「通常価格」「特別価格」の2つを追加してもよいのですが、今回は加工内容（三桁カンマを挿入したい）が同じなので、「通常価格|特別価格」という加工項目名にすれば、1つの追加で済みます。「|」は、「または」という意味になります。

他の加工項目名のルールとして、「* 価格」とすれば、最後が「価格」で終わる項目名に一致します。「*」はワイルドカードです。「* 価格|説明 *」のように「|」と同時に使う事もできます。

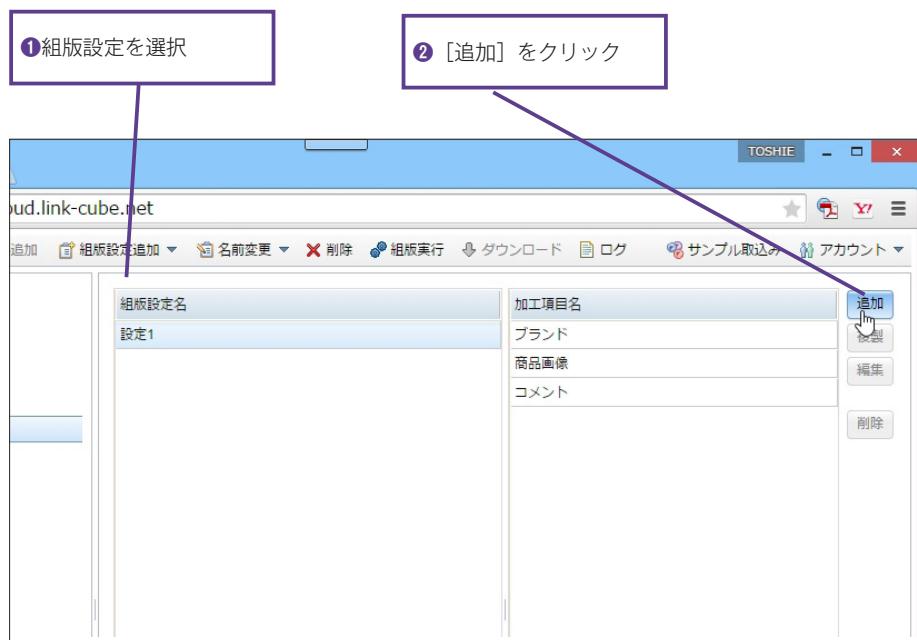
正規表現で一致させたい場合は、「<>」を使用します。例えば、「特別」で始まる4文字の項目名にマッチさせたい時は、「<^ 特別 ..>」とします。

ワイルドカードや正規表現を使用した加工項目を複数追加する場合、加工項目の順番に注意してください。使用する加工項目は、上から順に検索します。一致する加工項目名が見つかれば、それ以降、検索しません。例えば、1番目に加工項目名「*」があり、2番目に「* 価格」がある場合、「* 価格」の加工内容は処理されません。全ての項目名は、1番目の「*」で一致するためです。

また、エクセルシートや csv、txt、tsv ファイルを表組配置する項目名で設定すると、表組の全セルに対して処理を行います。

例えば、加工項目名「価格表」として、処理内容を「三桁カンマを挿入する」にした場合、全セル文字の数字に、三桁カンマが挿入されます。（三桁カンマを挿入できると判定した場合）

加工項目を追加するには



編集と複数選択

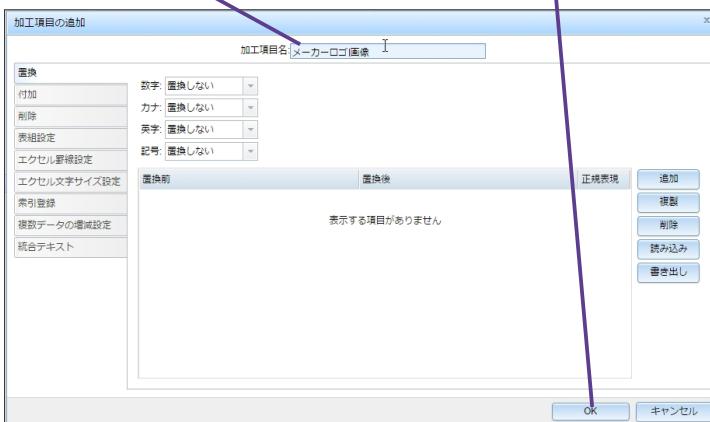
Tips
加工項目をダブルクリックしても編集画面が表示されます。また、加工項目は、(Win) Ctrl キー／(Mac) command キー+クリック、Shift キー+クリックなどで複数選択できます。

[加工項目の追加] 画面が表示されました

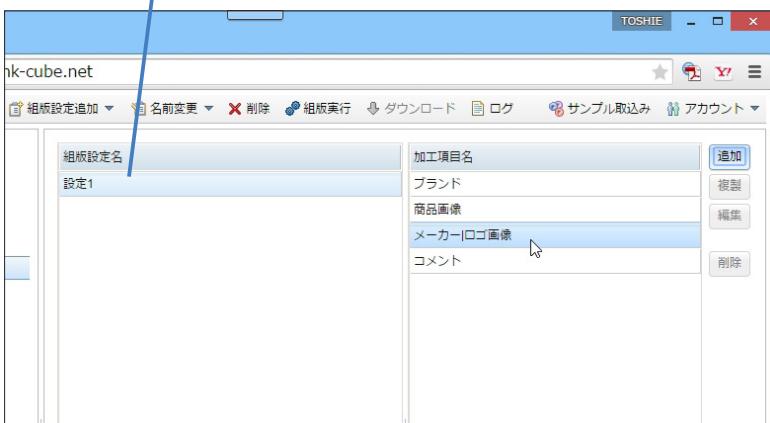


①加工する項目名を入力

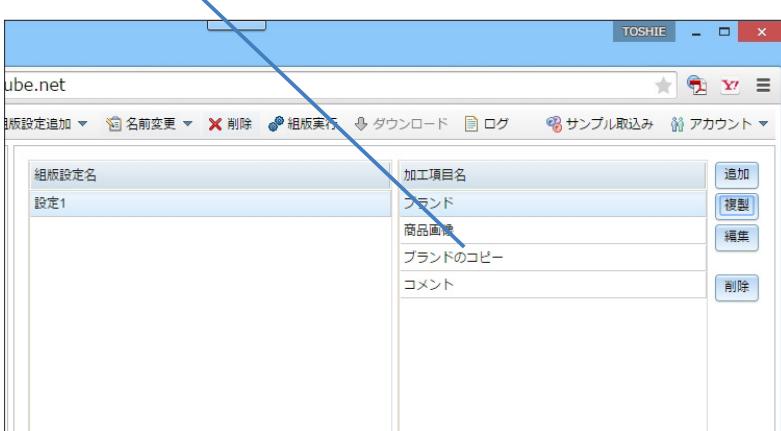
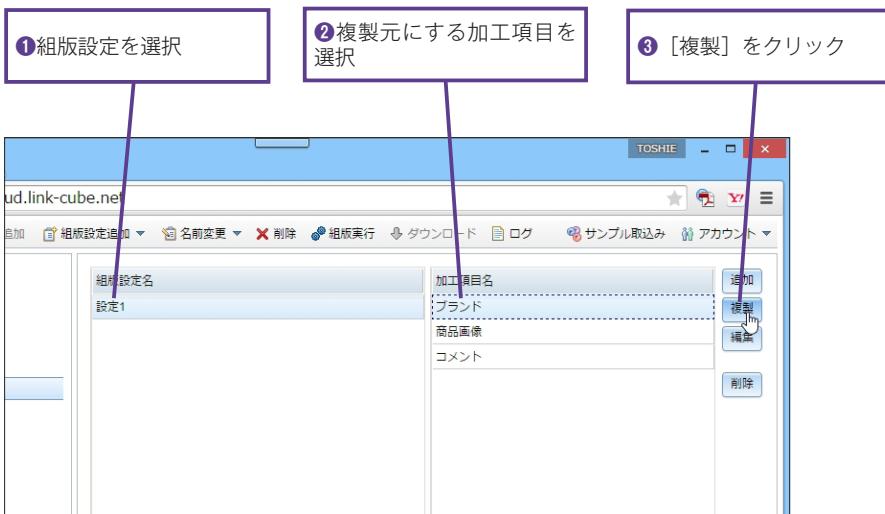
② [OK] をクリック



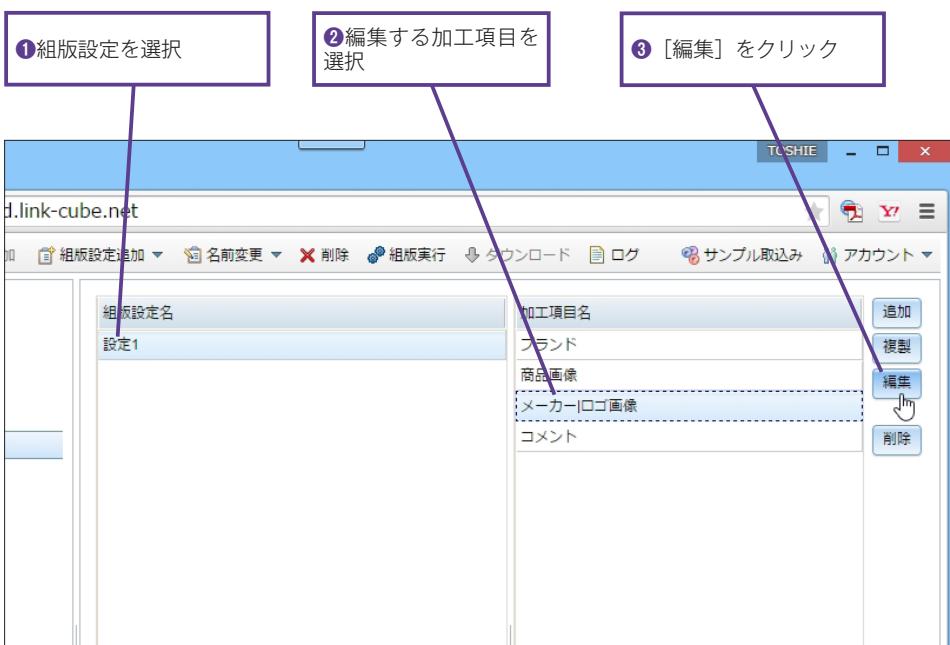
加工項目が追加されました



加工項目を複製するには



加工項目を編集するには

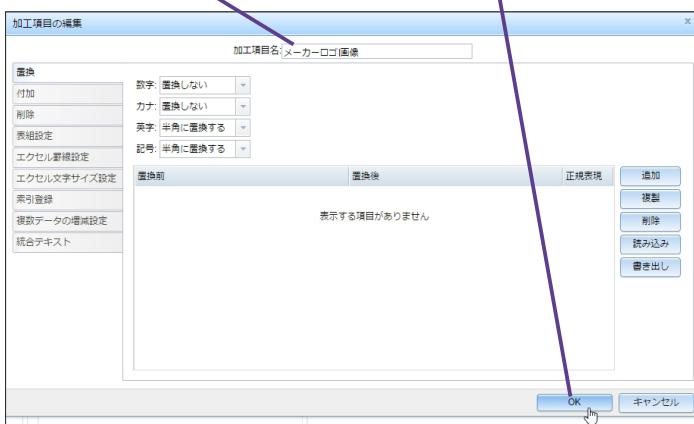


[加工項目の編集] 画面が表示されました



①名前や設定を編集

② [OK] をクリック

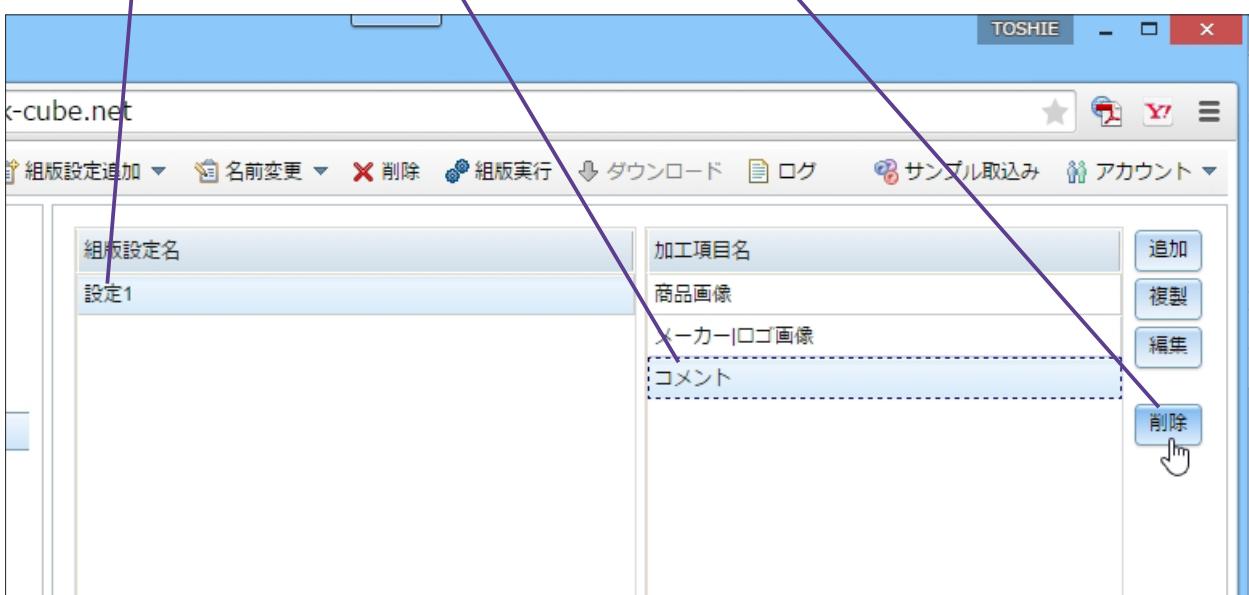


加工項目を削除するには

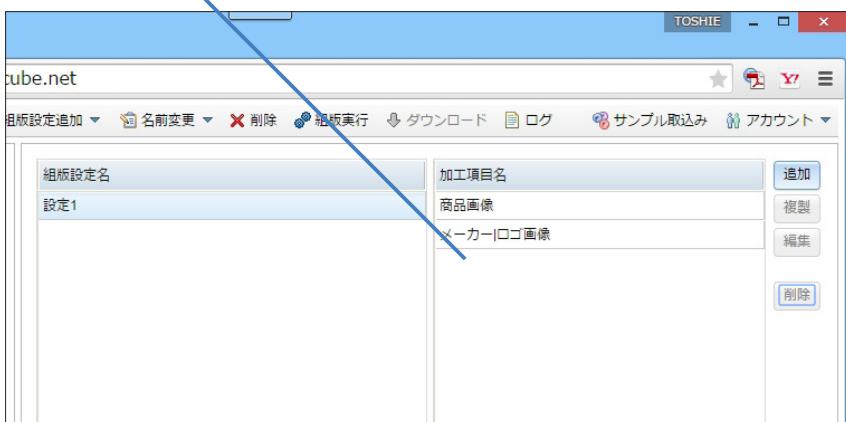
①組版設定を選択

②削除する加工項目を
单一、または複数選択

③ [削除] をクリック



加工項目が削除されました

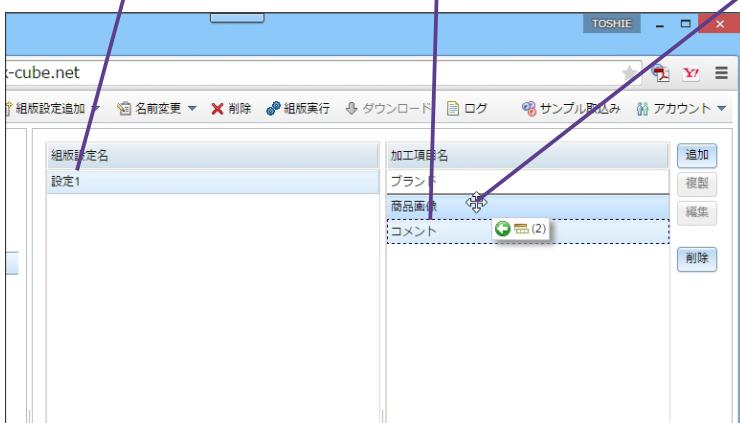


加工項目を並び替えるには

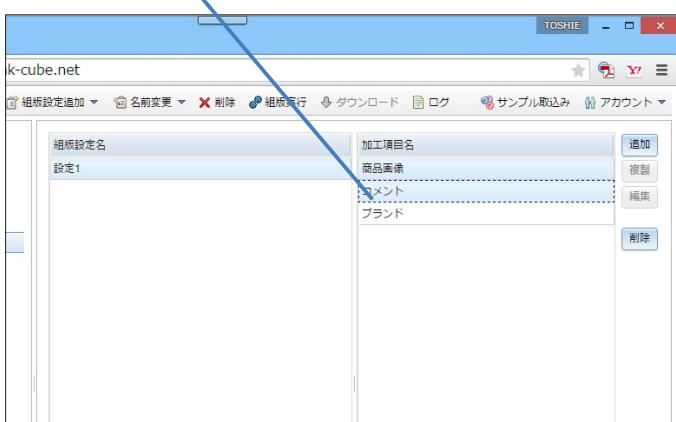
①組版設定を選択

②並び替えたい加工項目を單一、または複数選択

③マウスカーソルが図の状態で、
ドラッグ&ドロップ



加工項目が並び替えられました



文字を置換しよう

単純置換や正規表現置換で文字を整形する

加工項目の置換設定で、組版データを置換して流し込む事ができます。

数字、カナ、英字、記号を半角や全角に統一したり、この文字をこの文字に、といった置換リストを登録できます。

指定文字の置換リストは、上から順番に置換処理します。1番目の置換処理結果を2番目の置換処理に、2番目の置換結果を3番目の…、と続きます。置換処理順で結果が変わるので、注意してください。また、指定文字の置換リストで、正規表現列にチェックを入れれば、正規表現の置換機能を使用する事ができます。正規表現の置換機能は、ルビや索引登録に利用できます。

例えば、モノルビの場合、組版データを

「リンクキューブはクラウド型 **{自動組版：じ どう くみ はん}** サービスです」
(※赤太字の文字は全角で入力)

と入力し、

置換前：**{(.+?) : (.+?)}**

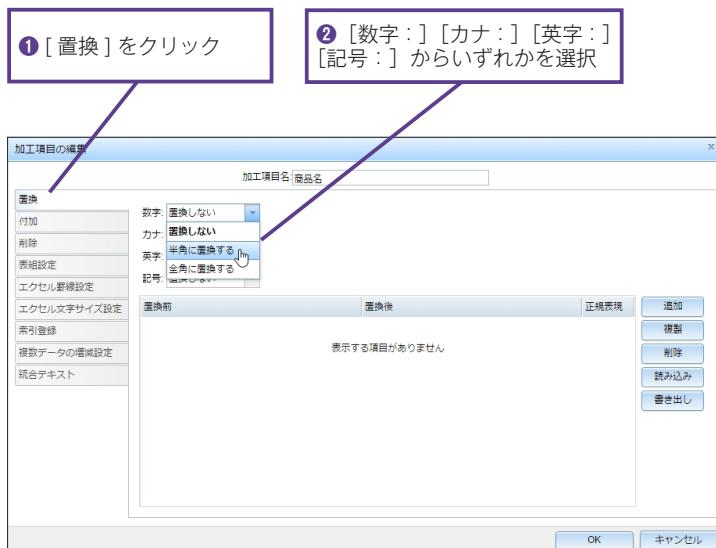
置換後：**<cRuby:1><cRubyString:\$2>\$1<cRuby:>**

正規表現：チェックを入れる

を置換リストに追加します。組版データに直接インデザインタグを入力する場合、置換リストは不要です。

索引登録の例は、セクション40「索引登録をしよう」をご覧ください。

数字、カタカナ、英字、記号を置換するには



置換リストの読み込みと書き出し

Tips

置換リストの読み込みは、csv、txt、tsvファイルに対応しています。文字コードや区切り文字は、セクション2「組版用テキストデータを作ろう」と同様です。ただしテキストデータ1行目の項目名行は、必要ありません。

フォーマットは置換前、置換後、正規表現の順で、正規表現にチェックを入れる場合は、「true」と入力します。

置換リストにファイルをドラッグ＆ドロップしても読み込む事ができます。

置換リストの書き出しは、txtファイルで書き出します。ファイル名は、加工項目名 - 置換リスト.txtとなります。

置換リストを追加するには

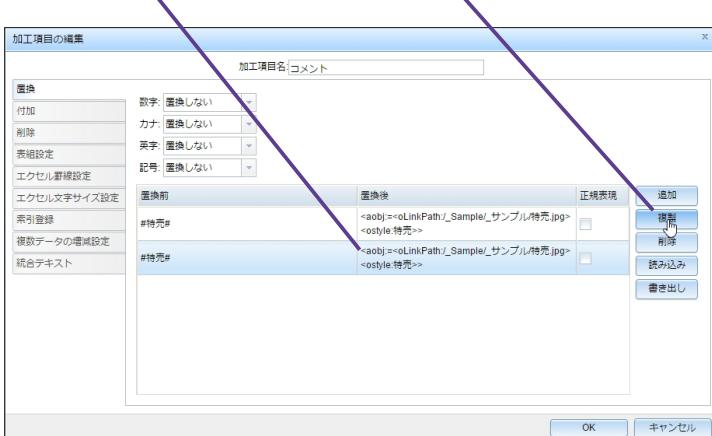


① [追加] をクリック

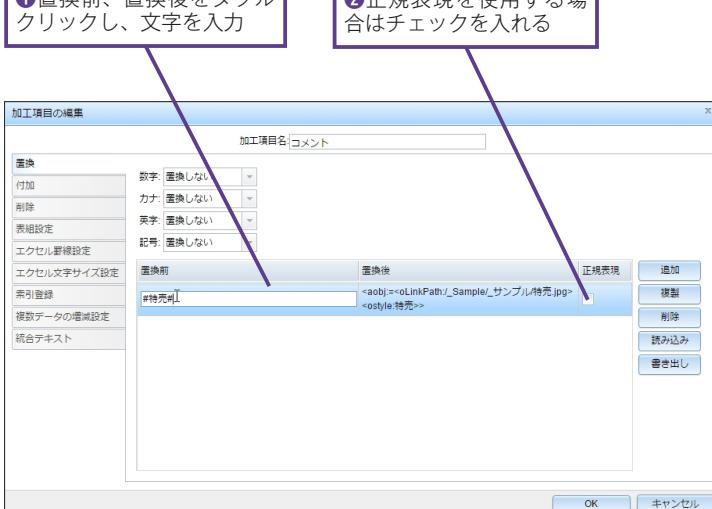
② 置換前、置換後をダブルクリックし、文字を入力

③ 正規表現を使用する場合はチェックを入れる

置換リストを複製するには



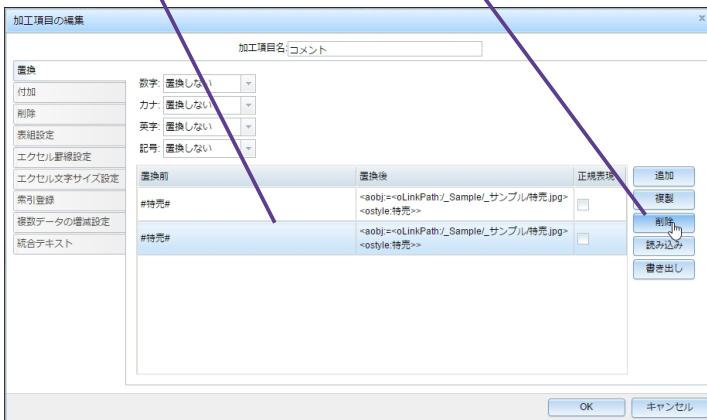
置換リストを編集するには



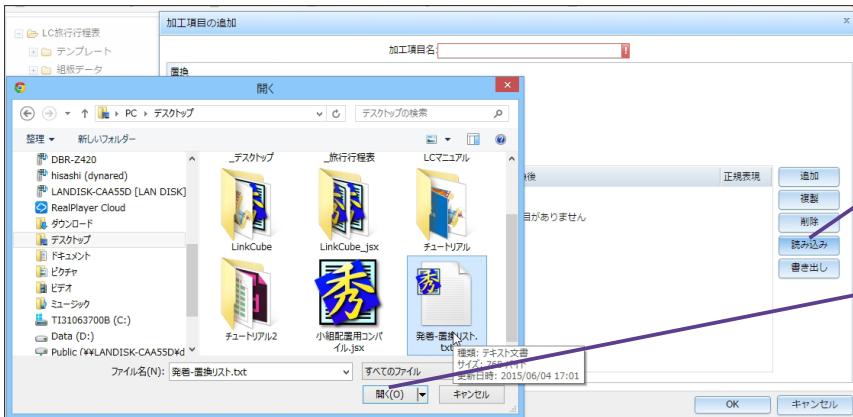
置換リストを削除するには

① 削除する置換リストを
單一または複数選択

② [削除] をクリック



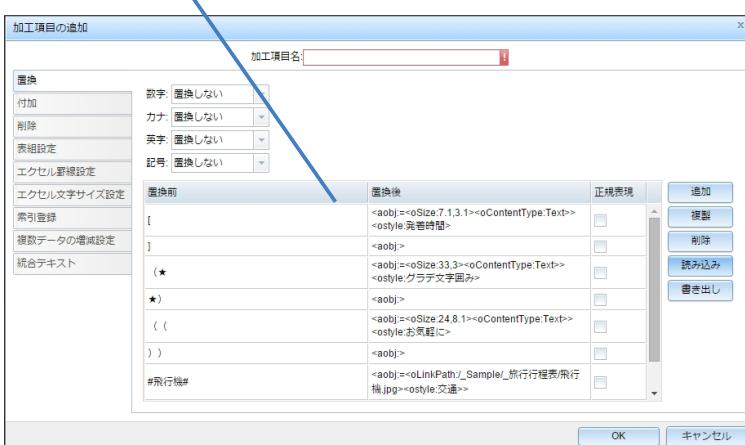
置換リストを読み込むには



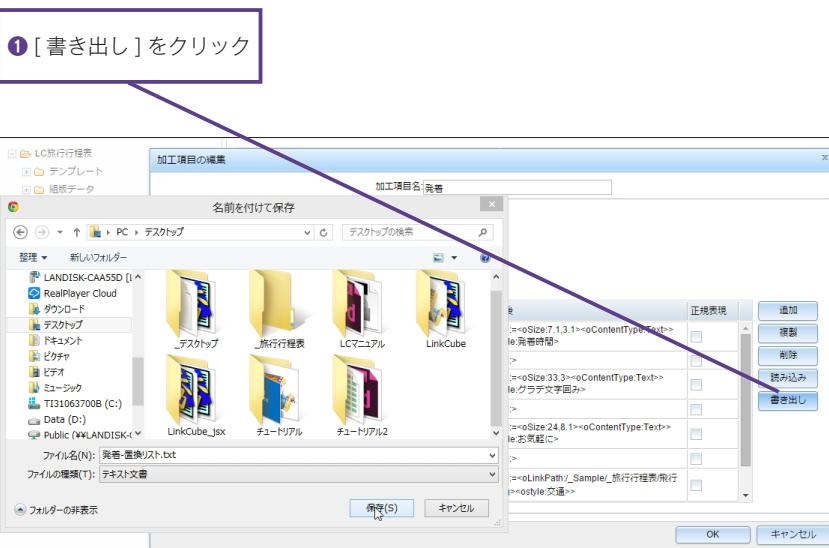
置換リストが読み込まれました

① [読み込み] をクリック

② 読み込みたいファイルを
選択し、[開く] をクリック



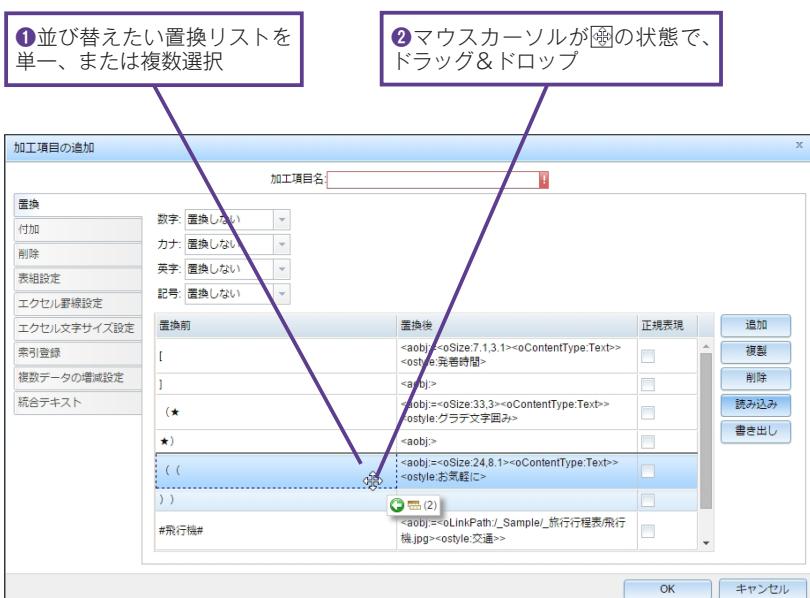
置換リストを書き出すには



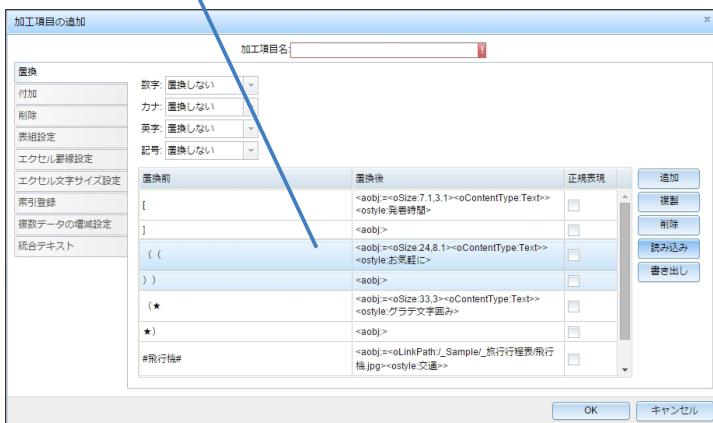
置換リストが書き出されました



置換リストを並び変えるには



置換リストが並び替えされました



文字を付加しよう

単純付加やデータ条件で文字を付加する

加工項目の付加設定で、組版データにない文字を付加して流し込む事ができます。三桁カンマを挿入したり、ファイル名にフォルダパスや拡張子を付加したり、条件が一致した場合、組版データの前後に、指定した文字やインデザインタグを付加できます。

三桁カンマにチェックを入れると、組版データに、三桁カンマを挿入できる数字がある場合、カンマを挿入します。

付加文字リストには、項目名、値、条件、前付加文字、後付加文字を設定できます。

項目名は、組版データの項目名です。入力しない場合、現在設定中の加工項目名となります。

値は、左列の項目名の値です。

条件は、左列の値に対しての条件です。条件として、「で始まる」「で終わる」「と等しい」「と等しくない」「を含む」「条件なし」「正規表現マッチ」があります。

「条件なし」は、組版データに必ず前付加文字、後付加文字を付加します。項目名、値は無視します。

「条件なし」以外は、項目名、値、条件が一致した時、組版データに前付加文字、後付加文字を付加します。

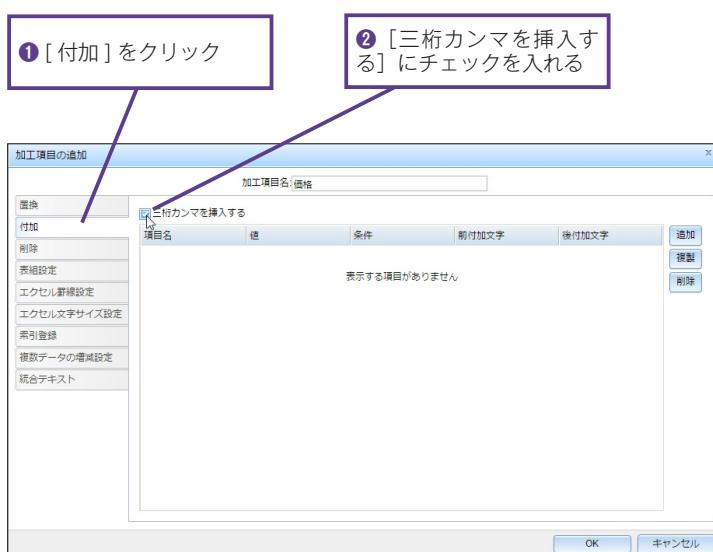
例えば、組版データの項目名「価格区分」データが特別価格だった場合に、「価格」データの文字サイズを24級にしたい、とします。

その場合、加工項目名は「価格」、項目名は「価格区分」、値は「特別価格」、条件は「と等しい」、前付加文字は「<cSize:24Q>」となります。

付加文字リストを複数登録する場合、順番に注意してください。付加文字リストは上から順に検索します。条件が一致すると、それ以降、検索しません。「条件なし」は、必ず一致と扱うので、付加文字リストの一番下に登録してください。

例えば、1番目に「条件なし」があり、2番目に「と等しい」がある場合、組版データが2番目の条件に一致しても、2番目の付加文字は処理されません。全て1番目の「条件なし」で一致するためです。

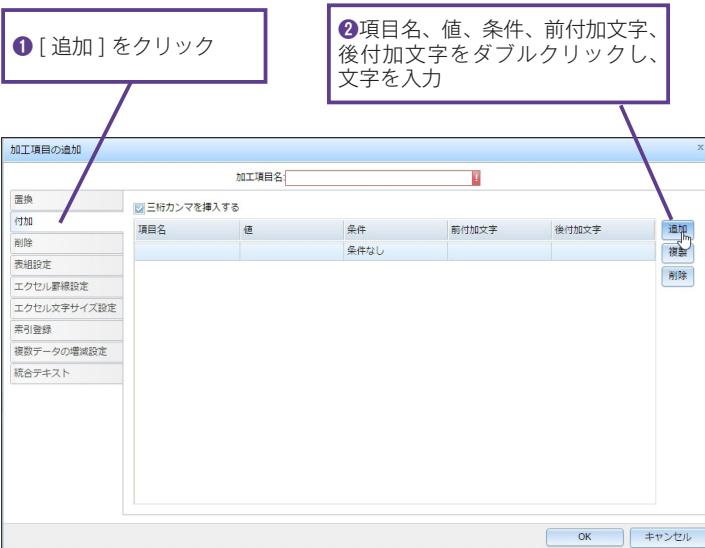
三桁カンマを挿入するには



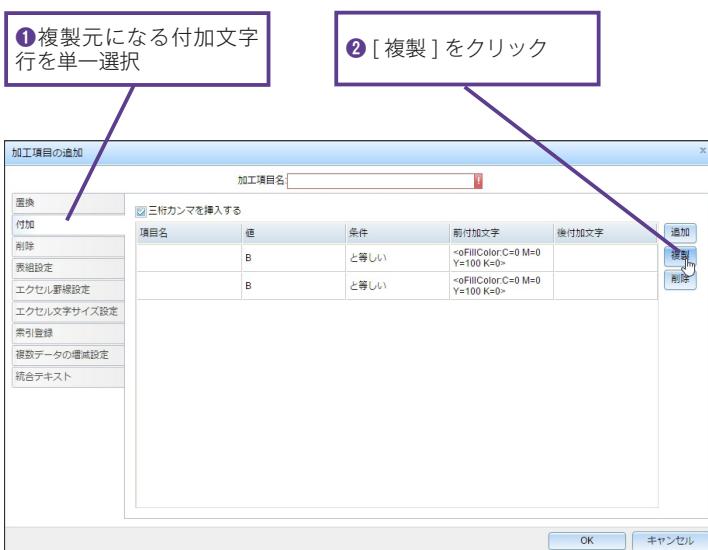
単純な付加文字はデータ付属

Tips
単純な文字を付加したい場合、例えば価格に「円」を付けるなどは、データ付属機能を使用し、テンプレートに「円」組版したほうがいいでしょう。(表組データの全セルに「円」を付ける場合は除く) この機能で付加する文字は、インデザインタグ、フォルダパスや拡張子、表組データのセル文字に対してなどが多くなるでしょう。

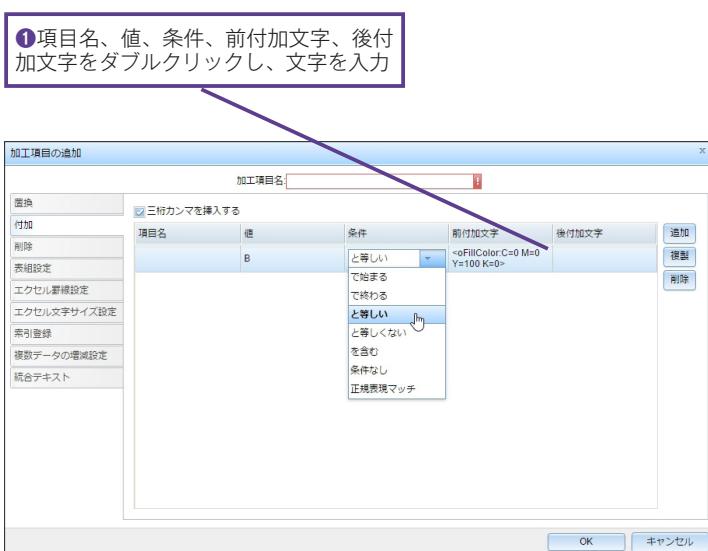
付加文字リストを追加するには



付加文字リストを複製するには



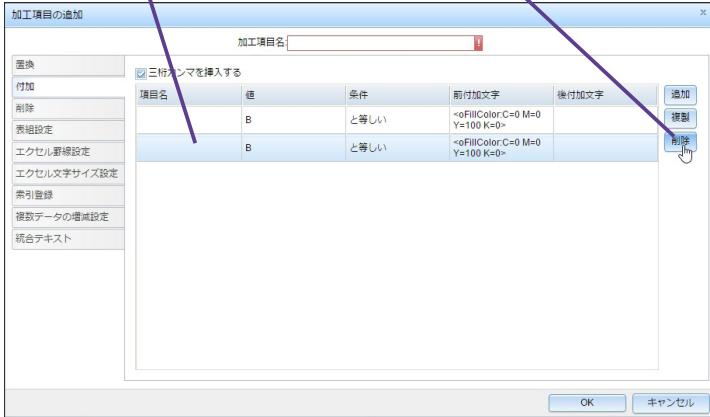
付加文字リストを編集するには



付加文字リストを削除するには

① 削除する付加文字リストを单一または複数選択

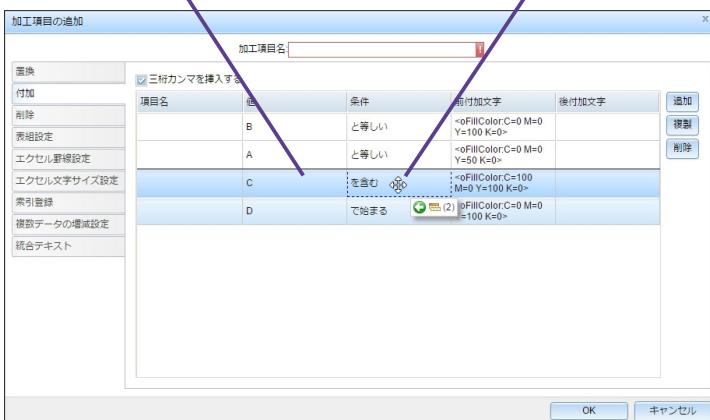
② [削除] をクリック



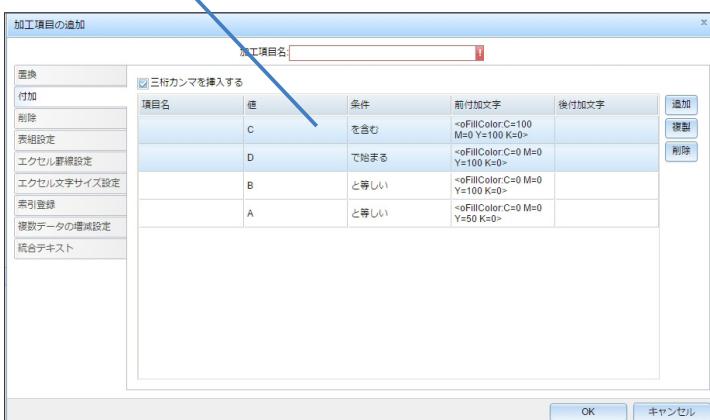
付加文字リストを並び変えるには

① 並び替える付加文字リストを单一、または複数選択

② マウスカーソルが の状態で、ドラッグ&ドロップ



付加文字リストが並び替えられました



34

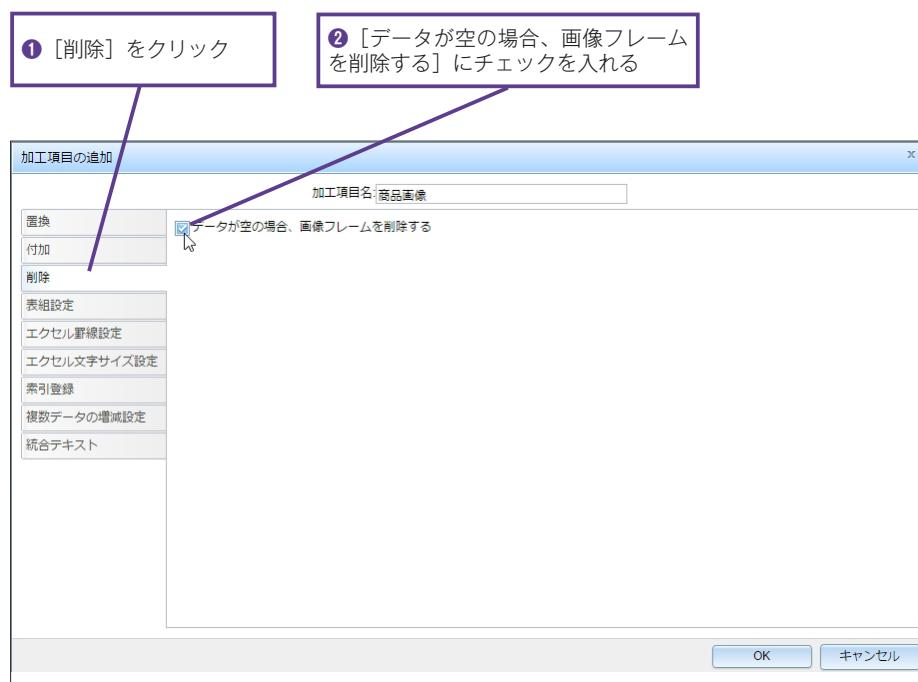
項目データが空の時、画像フレームを削除しよう

設定で画像フレームを削除する

加工項目の削除設定で、データが空の場合、画像フレームを削除する事ができます。

「データが空の場合、画像フレームを削除する」にチェックを入れると、画像フレームを削除します。同様の事は、セクション22「項目データが空の時、関連する文字やオブジェクトを削除しよう」でも可能ですが、画像フレーム項目が多い場合、オブジェクトスタイル「データ付属／項目名」で行うより、加工設定名にワイルドカードを使用すると、簡単な場合があります。

データが空の時、画像フレームを削除するには



表組の設定をしよう

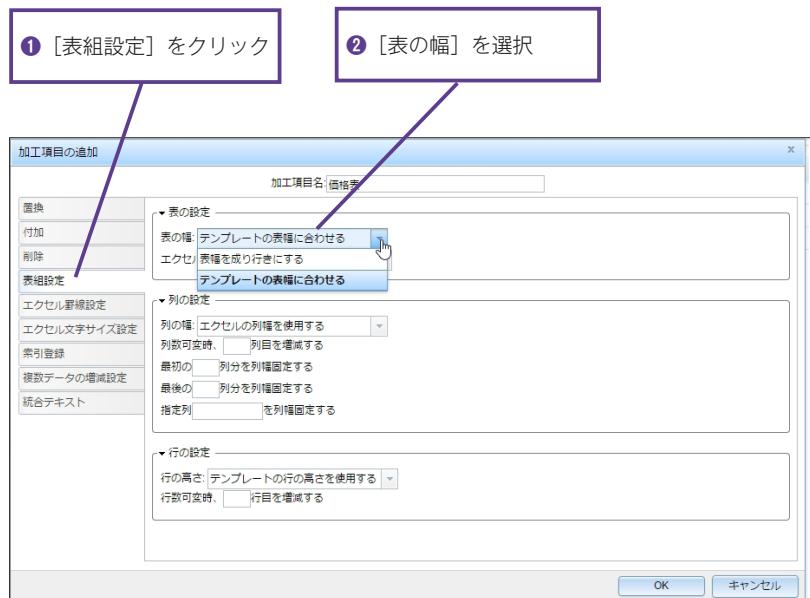
表の幅や組版領域を変更する

加工項目の表組設定で、表の幅やエクセルシート配置時の領域を設定することができます。

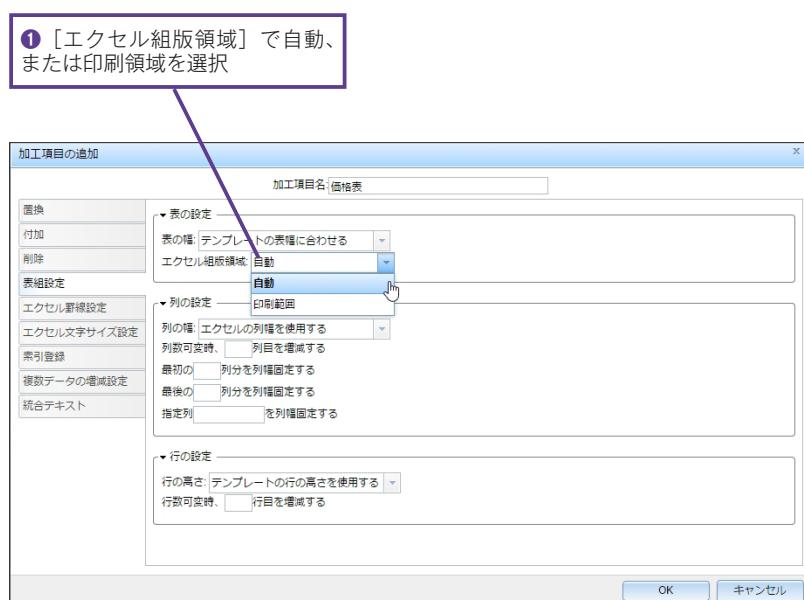
表の幅は、「表幅を成り行きにする」「テンプレートの表幅に合わせる」を選択できます。表幅を「テンプレートの表幅に合わせる」とした場合、テンプレートの列数と表組データの列数が異なっていても、常にテンプレートの表幅で合わせて組版します。「表幅を成り行きにする」とした場合、表組データの列数に応じて、表の幅が変化します。

エクセル組版領域は、「自動」「印刷領域」を選択できます。「自動」は、セルに値が入力されているか、罫線があるセル範囲を組版します。「印刷領域」は、エクセルシートに設定してある印刷領域を組版します。

表の幅を設定するには



エクセルシートの組版領域を設定するには



36

表組の列設定をしよう

列幅の詳細設定をする

加工項目の表組設定で、列幅を設定することができます。列幅は、「エクセルの列幅を使用する」「テンプレートの列幅を使用する」を選択できます。

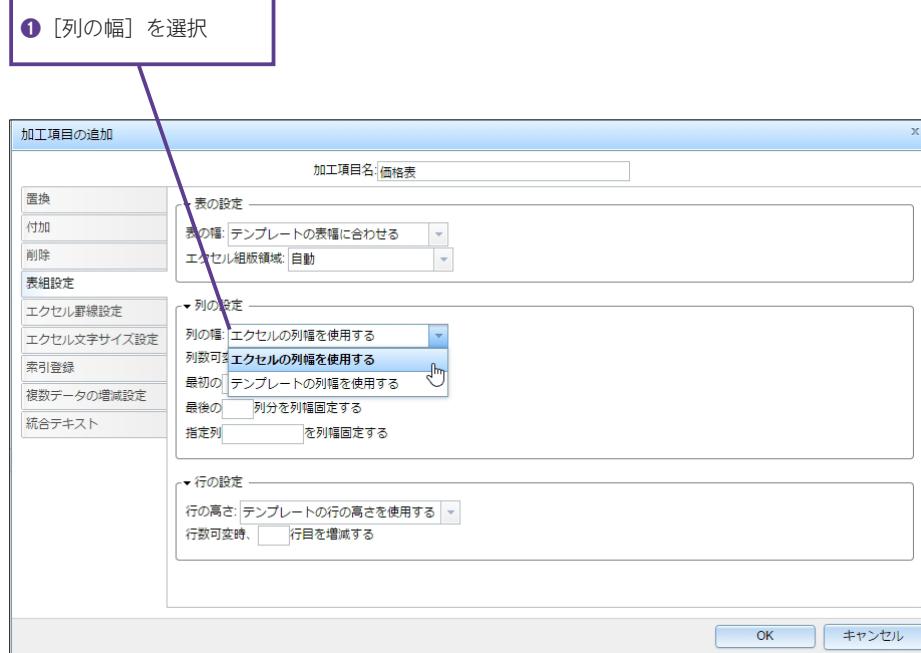
「エクセルの列幅を使用する」とした場合、エクセル列幅の近似値です。前セクション、表の幅が「テンプレートの表幅に合わせる」となっていれば、近似値計算後の表幅に対する割合になります。表組データがcsv、txt、tsvファイルの場合は、テンプレートの列幅を使用します。

「テンプレートの列幅を使用する」とした場合、InDesign テンプレートの列幅を使用します。テンプレート列数と表組データ列数が異なる場合は、「列数可変時、□列目を増減する」で指定した列を増減します。未入力の場合は、最終列を増減します。

前セクション、表の幅が「テンプレートの表幅に合わせる」の場合、テンプレート列数と表組データ列数が異なると、各列幅は割合となります。列番号を指定して元の列幅を維持する事ができます。「最初の□列分を列幅固定する」「最後の□列分を列幅固定する」「指定列□を列幅固定する」で設定します。

指定列は、カンマ区切りで入力します。1,3と入力すると、1列目と3列目が、元の列幅を維持します。

列幅を設定するには



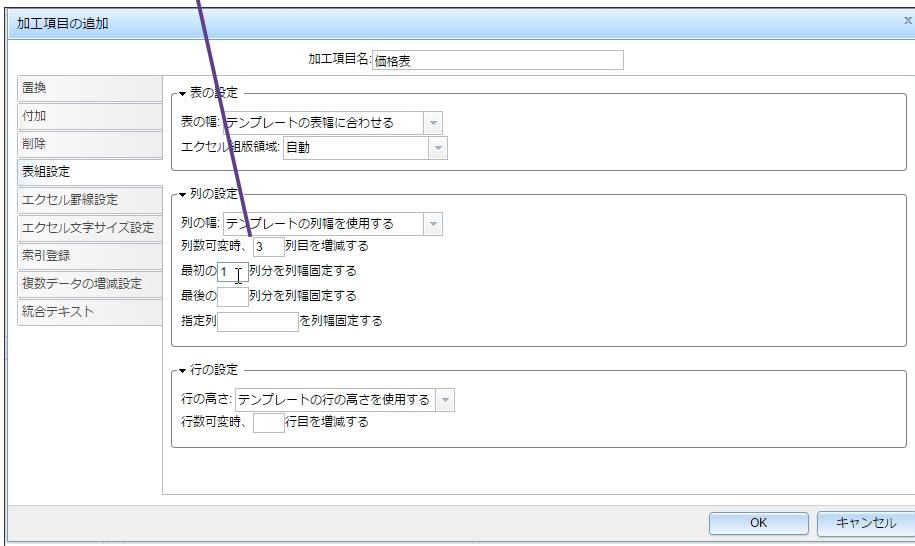
表組データで列幅を指定

Tips

セル文字内に、インデザインタグで列幅を指定する事もできます。例えば、冗長タグで列幅 80mm にする場合、<tColAttrWidth:80mm> セル文字と入力します。

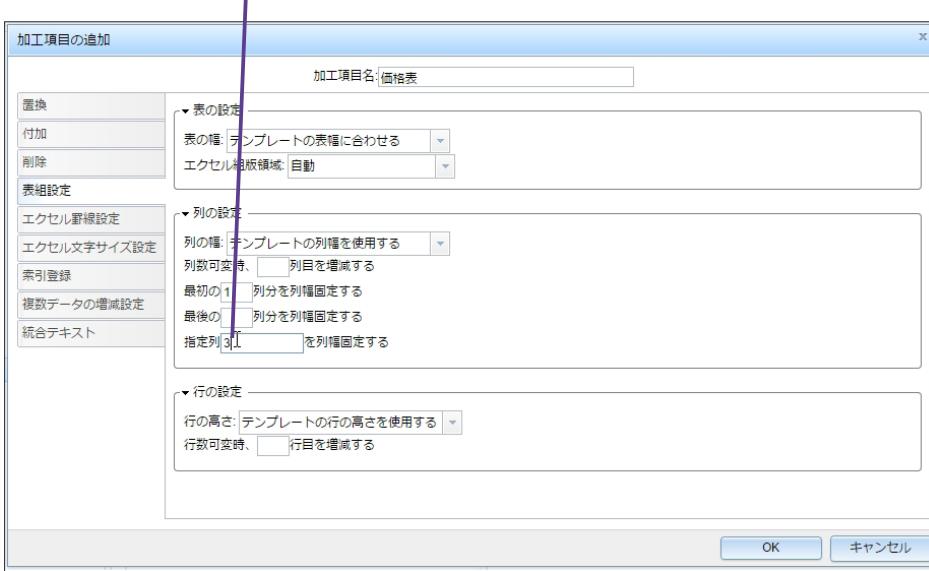
テンプレートで増減する列を指定するには

- ① [列数可変時、□列目を増減する]
で増減する列番号を入力



列幅を固定するには

- ① [最初の□列分を列幅固定する]
[最後の□列分を列幅固定する]
[指定列□を列幅固定する]などを入力



37

表組の行設定をしよう

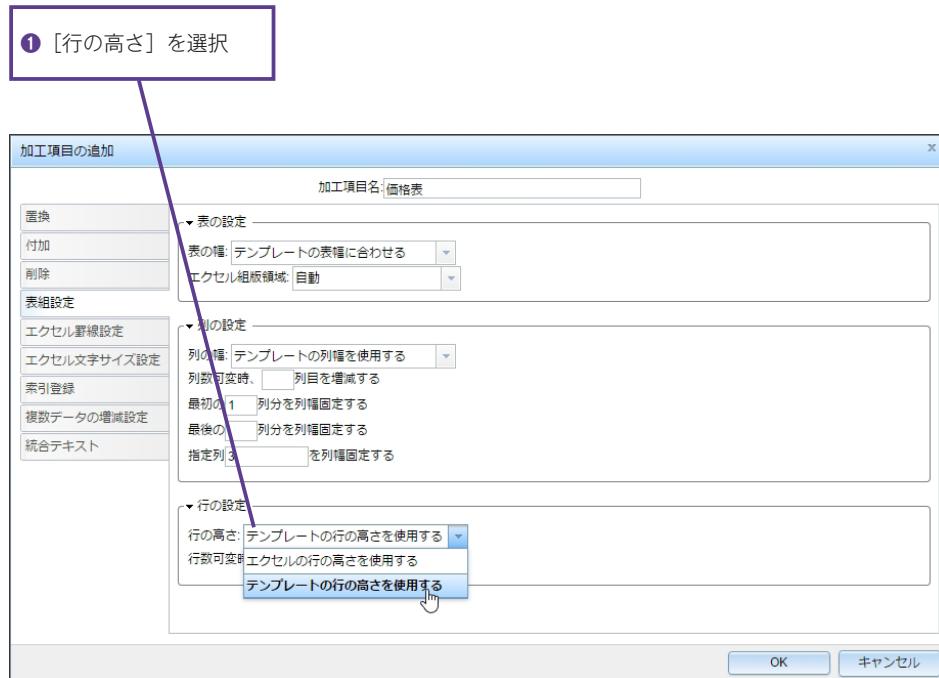
行の高さの詳細設定をする

加工項目の表組設定で、行の高さを設定することができます。行の高さは、「エクセルの行の高さを使用する」「テンプレートの行の高さを使用する」を選択できます。

「エクセルの行の高さを使用する」とした場合、エクセルの「セルの書式設定、配置タブ、折り返して全体を表示する」にチェックが入っていると、InDesign で行の高さは「最小限度」になります。「折り返して全体を表示する」チェックがない場合は、InDesign で行の高さは「指定値を使用」になり、値はエクセル行の高さの近似値です。表組データが csv、txt、tsv ファイルの場合は、テンプレートの行の高さを使用します。

「テンプレートの行の高さを使用する」とした場合、InDesign テンプレートの行の高さを使用します。テンプレート行数と表組データ行数が異なる場合は、「行数可変時、□行目を増減する」で指定した行を増減します。未入力の場合は、最終行を増減します。

行の高さを設定するには



表組データで行の高さを指定

Tips

セル文字内に、インデザインタグで行の高さを指定する事もできます。

例えば、冗長タグで最小限度値 2mm、最大限度 20mm にする場合、

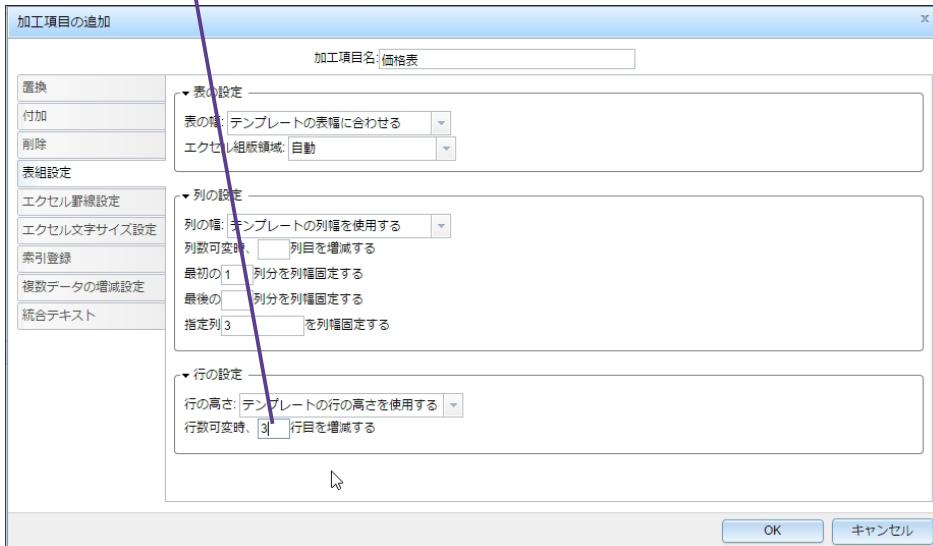
<tRowAutoGrow:1><tRowAttrMinRowSize:2mm><tRowAttrMaxRowSize:20mm> セル文字と入力します。

指定値を使用し、行の高さを 10mm にする場合、

<tRowAutoGrow:0><tRowAttrHeight:10mm> セル文字と入力します。

テンプレートで増減する行を指定するには

① [行数可変時、□行目を増減する]
で増減する行番号を入力



エクセル罫線の変換設定をしよう

エクセル罫線を、指定した InDesign 罫線に変換できる

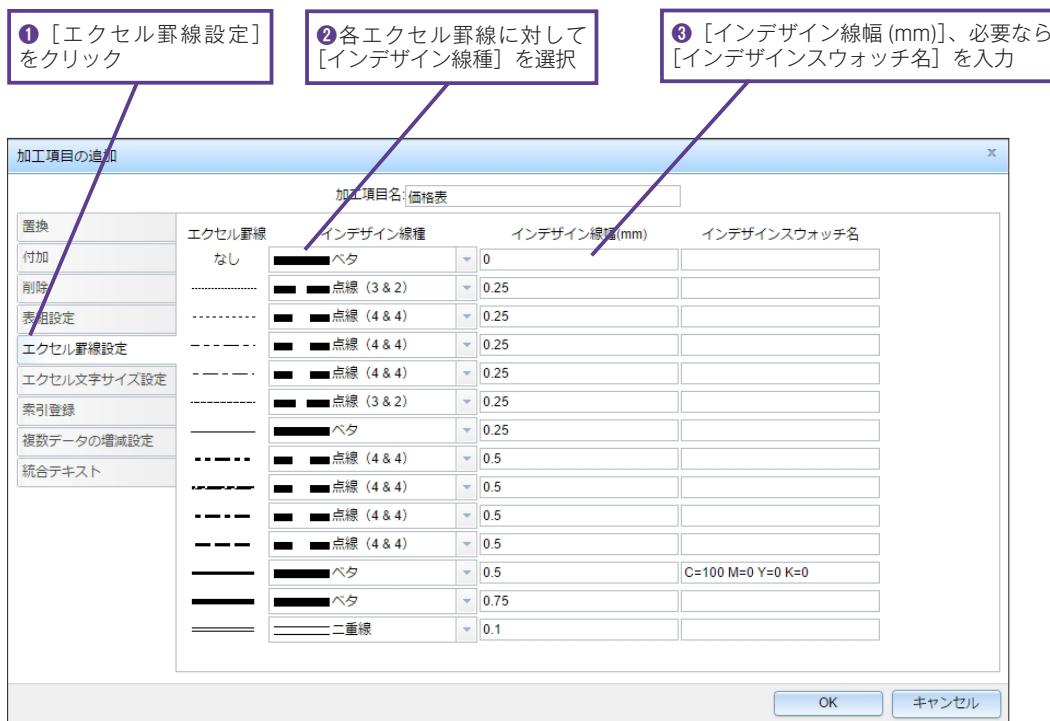
加工項目のエクセル罫線設定で、エクセルの各罫線を、InDesign の線種、線幅、スウォッチ名を指定して変換する事ができます。インデザイン線種は、18種類から選択します。インデザイン線幅はmm単位で入力します。スウォッチ名は、必須ではありません。入力しなければ、RGB色からCMYKに変換したスウォッチを適用します。スウォッチ名を入力した罫線は、入力したスウォッチを適用します。



インデザインタグでセル罫線

Tips
セル文字内に、インデザインタグで罫線を指定する事もできます。
例えば、冗長タグで上の罫線色を指定する場合、
<tCellTopStrokeColor:C=100 M=0 Y=0 K=0>セル文字と入力します。

エクセル罫線を変換するには



39

エクセル文字サイズの変換設定をしよう

エクセル文字サイズを、指定文字サイズに変換できる

加工項目のエクセル文字サイズ設定で、エクセルの文字サイズをインデザインの文字サイズに変換することができます。エクセルの文字サイズは、範囲で指定する事もできます。インデザイン文字サイズは単位を付けて指定できます。単位がない場合は、ポイントになります。

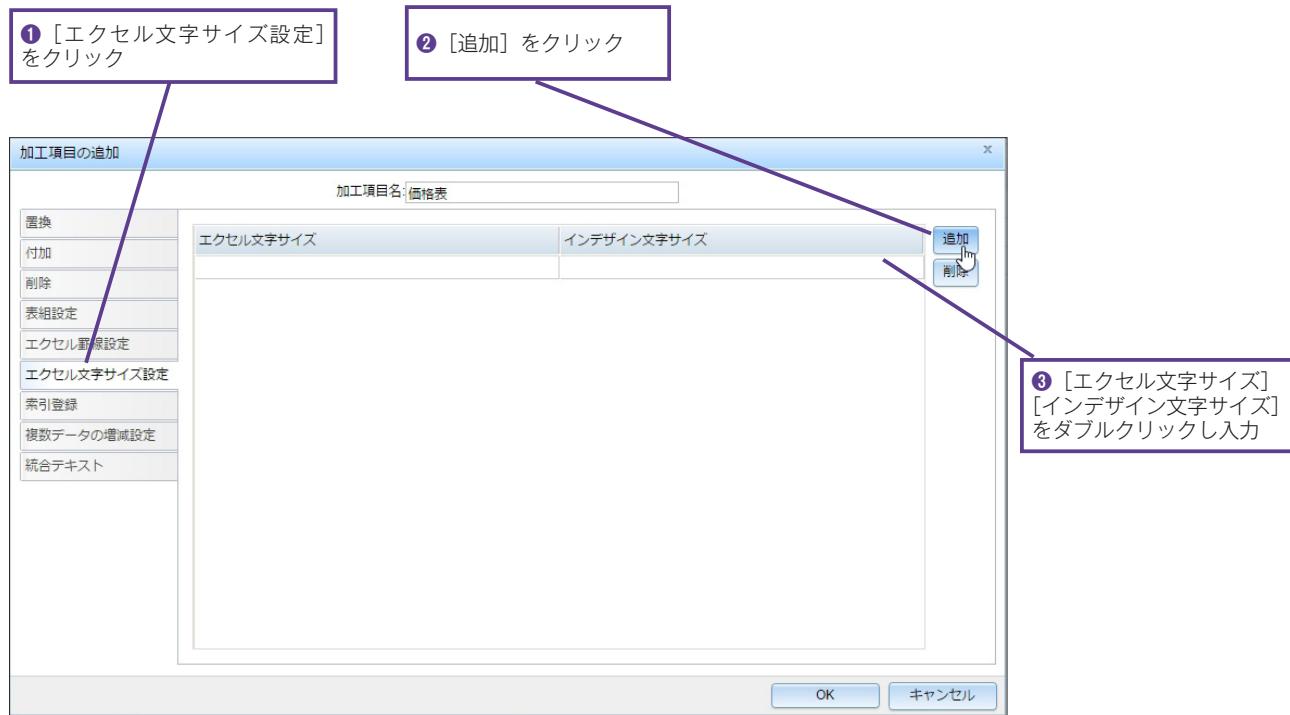
例えば、エクセルの文字サイズ 8～12 を、インデザインの文字サイズ 10 級にする場合は、エクセル文字サイズの入力は「8-12」、インデザイン文字サイズの入力は「10Q」とします。

この変換設定を使用せず、セクション 23 「表組を組版しよう（エクセルファイル）」のテンプレート文字スタイルで変換する事も可能ですが、多くの文字サイズがあると、文字スタイルも多くなります。この変換設定で統一できる文字サイズがある場合には、テンプレート作成の作業効率が上がります。

 エクセル文字サイズ変換方法
は3つ

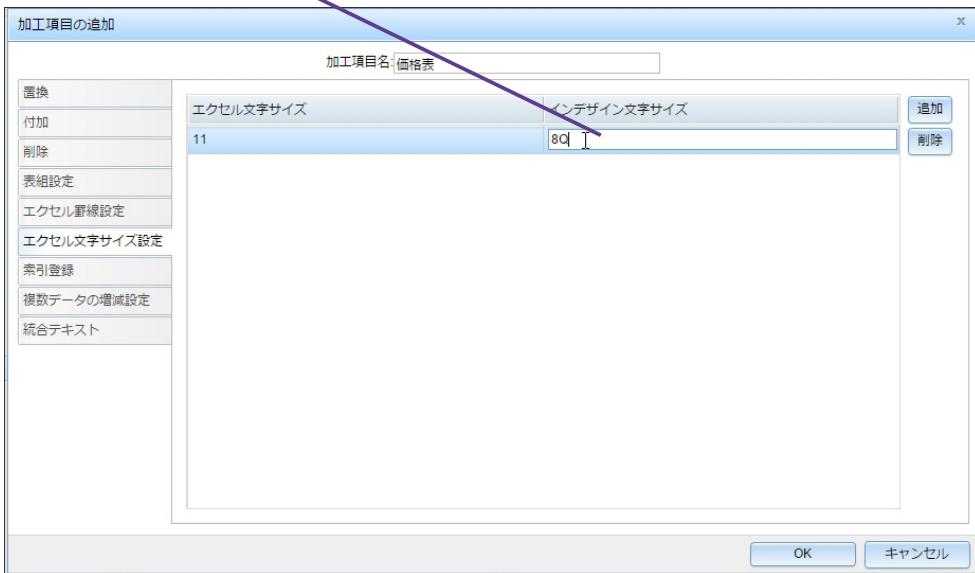
Tips
1つめは、文字スタイルで設定する方法です。
2つめは、この設定です。
3つめは、インデザインタグです。
例 : <cSize:8Q>

エクセル文字サイズ変換を追加するには



エクセル文字サイズ変換を編集するには

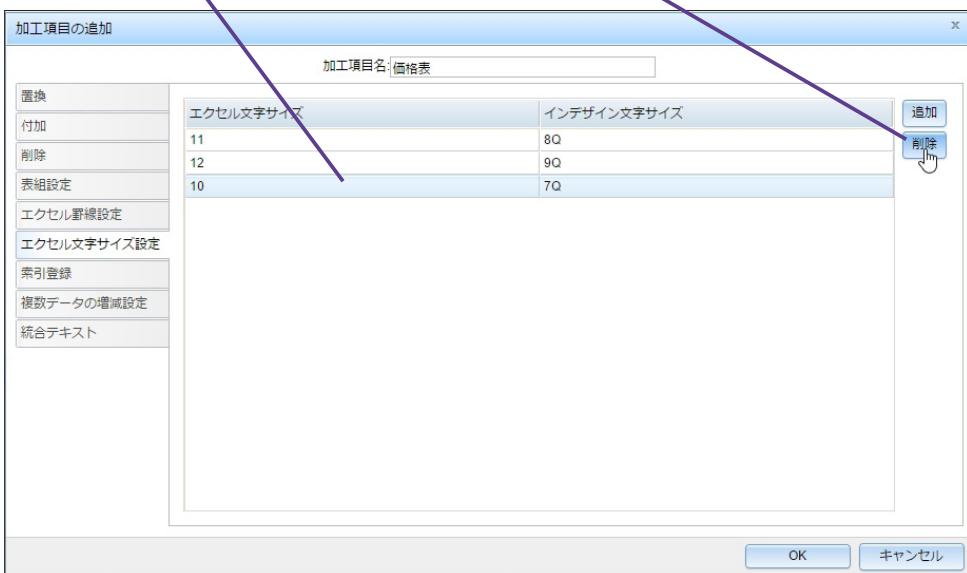
- ① [エクセル文字サイズ] [インデザイン文字サイズ] をダブルクリックし入力



エクセル文字サイズ変換を削除するには

- ① エクセル文字サイズ変換リストを单一または複数選択

- ② [削除] をクリック



索引登録をしよう

索引の項目名や読みを登録できる

加工項目の索引登録設定で、索引を登録できます。索引項目を作成するにチェックを入れれば、現在設定中の加工項目名データ値が、索引として登録されます。索引の登録位置は、流し込む文字の先頭です。

索引項目名は、現在設定中の加工項目名以外に、索引として登録したい組版データ項目名がある場合に、入力します。

読み項目名は、索引読みとして登録したい組版データ項目名がある場合に、入力します。(読みがない場合、InDesign は索引項目でソートします)

索引登録は、この設定を使用せず、インデザインタグで登録する事もできます。

例えば、マニュアルなど文章の途中で、索引登録部分がある場合は、

「リンクキューブはクラウド型 **{自動組版 # じどうくみはん}** サービスです」

と入力し、
(※赤太字の文字は全角で入力)

セクション 32 「文字を置換しよう」 置換リストで、

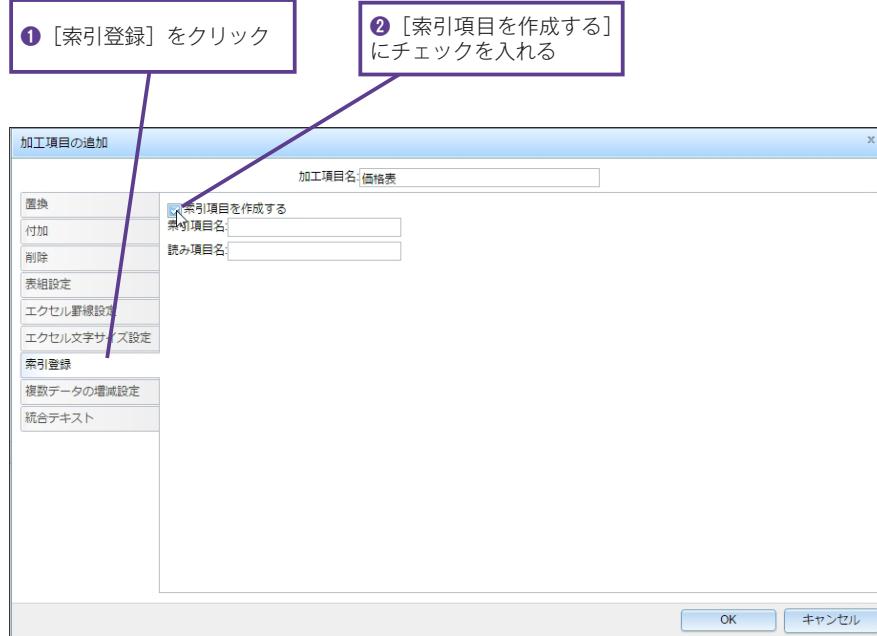
置換前 : **{(.+?) # (*?)}**

置換後 : <IndexEntry:=<IndexEntryType:IndexPageEntry><IndexEntryRangeType:kCurrentPage><IndexEntryDisplayString:\$1><IndexEntrySortString:\$2>>\$1

正規表現 : チェックを入れる

とすれば、「索引項目：自動組版、読み：じどうくみはん」として InDesign の索引パネルに登録されます。組版データに直接インデザインタグを入力する場合、置換リストは不要です。

索引を作成するには



インデザインタグで索引登録

Tips

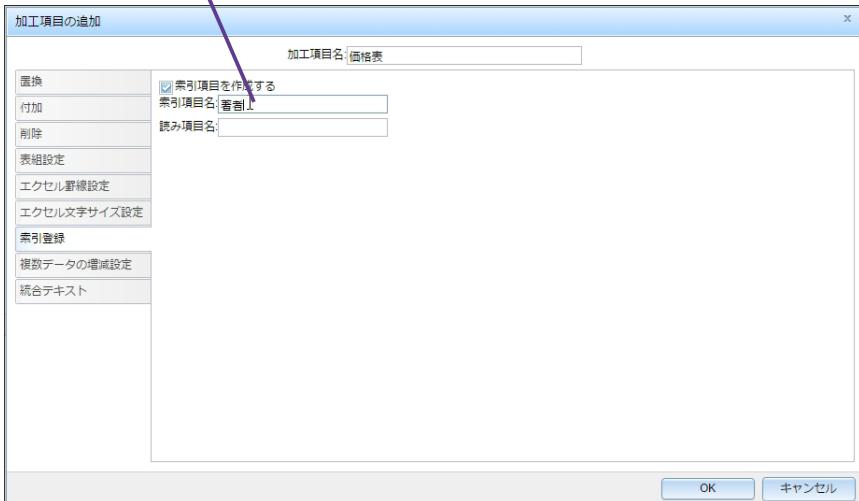
冗長タグ形式では

```
<IndexEntry:=<IndexEntryType:IndexPageEntry><IndexEntryRangeType:kCurrentPage><IndexEntryDisplayString: 索引項目><IndexEntrySortString: 索引読み>>
```

と入力します。

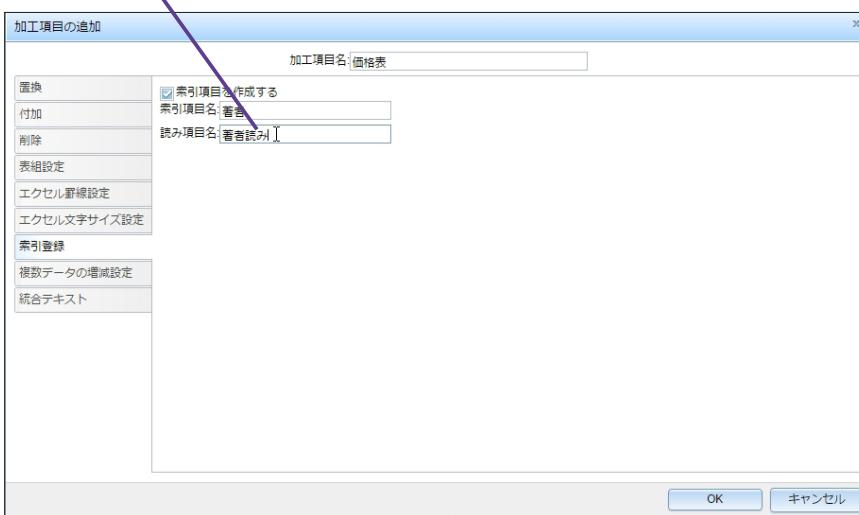
索引項目名を設定するには

- ① [索引項目名] に組版データ項目名を入力



索引読み項目名を設定するには

- ① [読み項目名] に組版データ項目名を入力



41

複数行データのまとめ設定をしよう

複数行データのレイアウトを変える

加工項目の複数データの増減設定で、画像フレームを増減させたり、セクション26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」の表組セルを、次の行と結合する事ができます。この設定は「コマコード」を使用した組版に影響します。「コマコード」については、セクション26「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

「画像フレームを増減する」にチェックを入れると、画像フレームの数が、同一コマコード行数と同じになります。例えば、テンプレートに、オブジェクトスタイル「データ接続／商品画像」が適用されているフレームが1つあるとします。

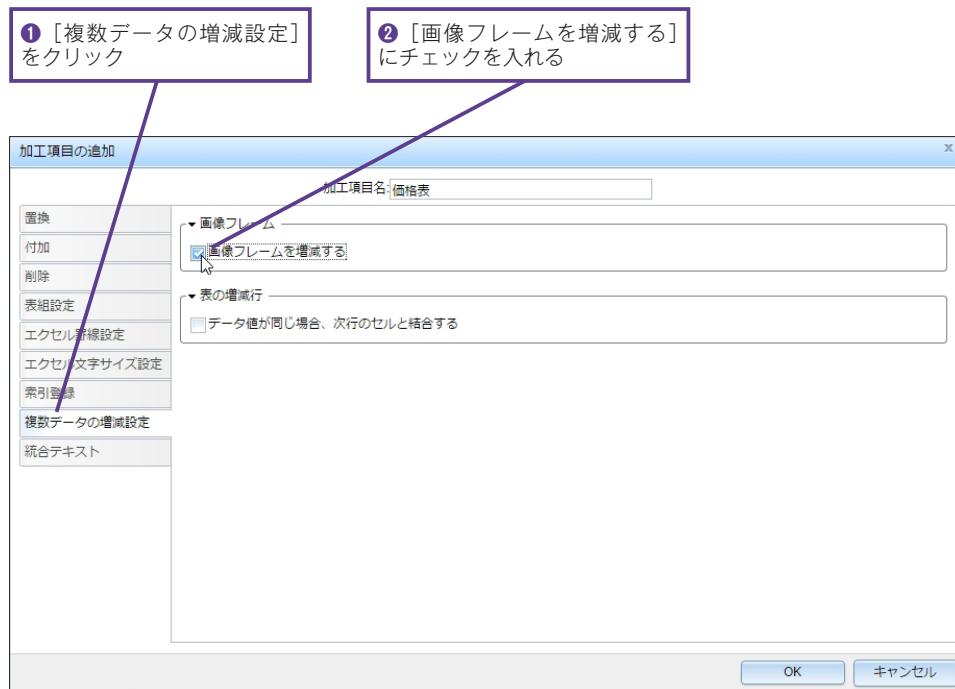
加工項目名：商品画像の設定で、「画像フレームを増減する」にチェックを入れます。

同じコマコードのデータ3行を組版すると、商品画像フレームを増やして3つにします。テンプレートに商品画像フレームが3つあり、同じコマコードのデータが1行だと、商品画像フレームを減らして1つにします。「データ値が同じ場合、次行のセルと結合する」にチェックを入れると、「複数データ行を表組にしよう（増減行）」で作成した表組のセル結合を行います。セル結合の条件は、同じ値が入力されている場合です。例えば、1つのセルに、「発送数」「発送単位」の2項目データを流し込んでいる場合、次行セルと、2項目データ値が同じで、「発送数」「発送単位」加工項目に「データ値が同じ場合、次行のセルと結合する」にチェックが入っていれば、結合します。

 **最後の画像フレームが増減する**
Tips

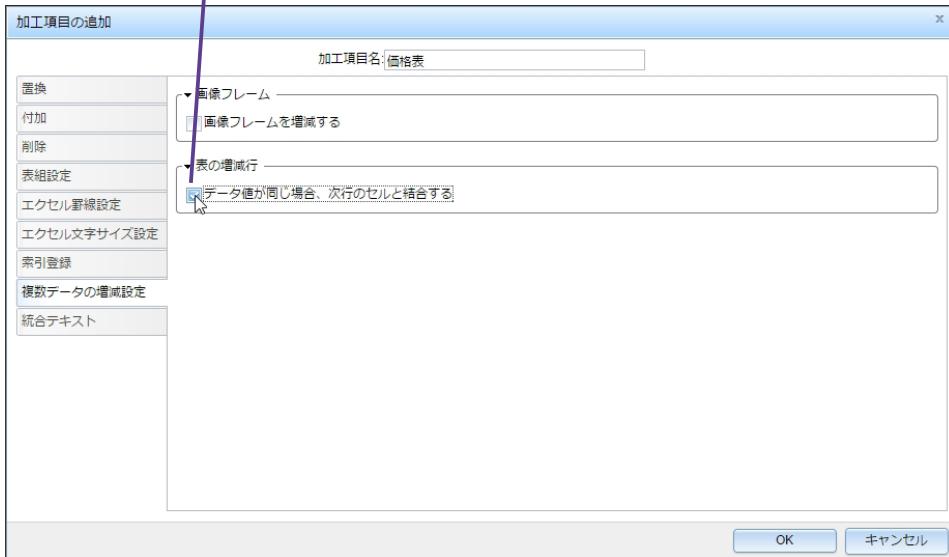
増減する画像フレームは、左上の位置が、左→右→下の順でソートした最後のフレームになります。増える場合、右下方向に重ねます。

画像フレームを増減させるには



表の増減行機能で、同じ値をセル結合するには

- ① [データ値が同じ場合、次行のセルと結合する] にチェックを入れる



統合テキストの設定をしよう

統合テキストのレイアウトを変える

加工項目の統合テキスト設定で、統合テキストのレイアウトを変更する事ができます。統合テキストについては、セクション28「複数データ行をまとめ組版しよう（統合テキスト）」をご覧ください。

「連結可能な場合、連結する」にチェックを入れると統合テキスト内で連結します。

「連結文字」を入力すると、連結時、入力した文字を間にれます。

例えば、統合テキストの結果が、

●伊藤園

お~いお茶

健康ミネラルむぎ茶

●サントリー

烏龍茶

とします。加工項目名:商品名（※お~いお茶、烏龍茶など）の設定で「連結可能な場合、連結する」にチェックを入れ、「連結文字」に・（中黒）を入力すると、結果は

●伊藤園

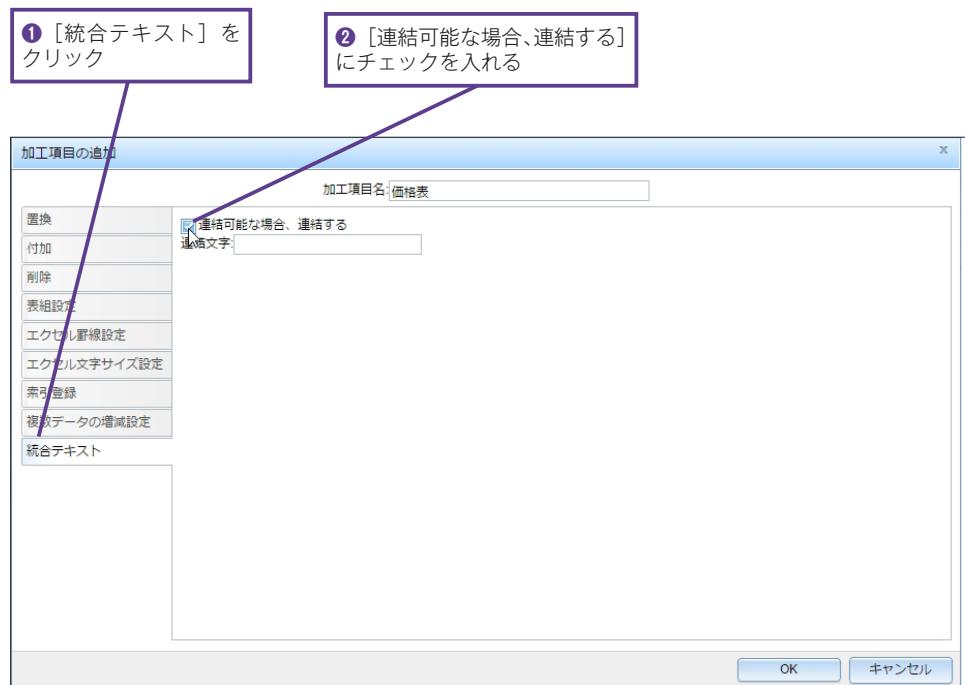
お~いお茶・健康ミネラルむぎ茶

●サントリー

烏龍茶

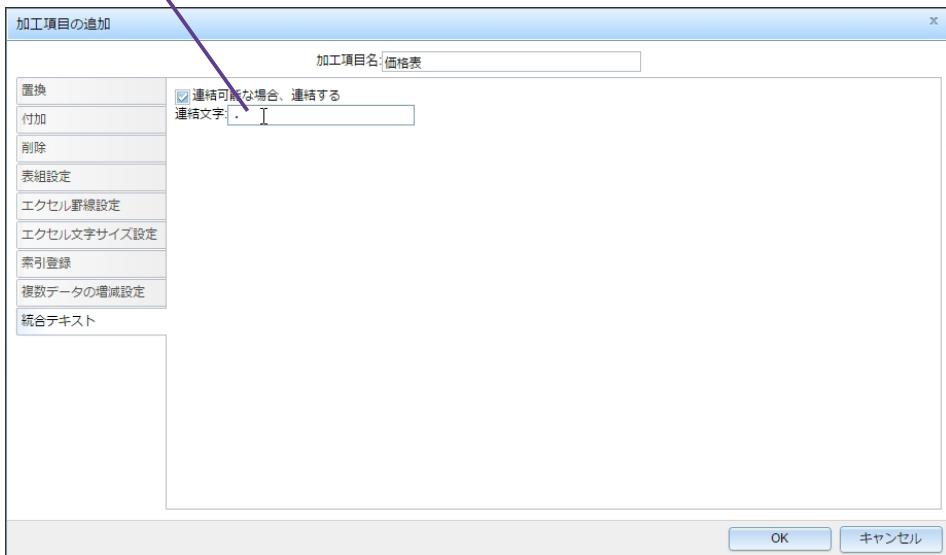
となります。連結するのは、隣接した商品名だけです。烏龍茶も商品名ですが、サントリーが間にがあるので連結しません。

統合テキストを連結するには



連結文字を設定するには

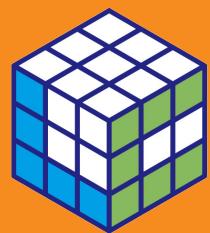
① [連結文字] を入力



第 4 章

メンテナンス

不要なファイルを削除したり、プロジェクトやファイルの名前を変更するなどして、管理しやすくしましょう。



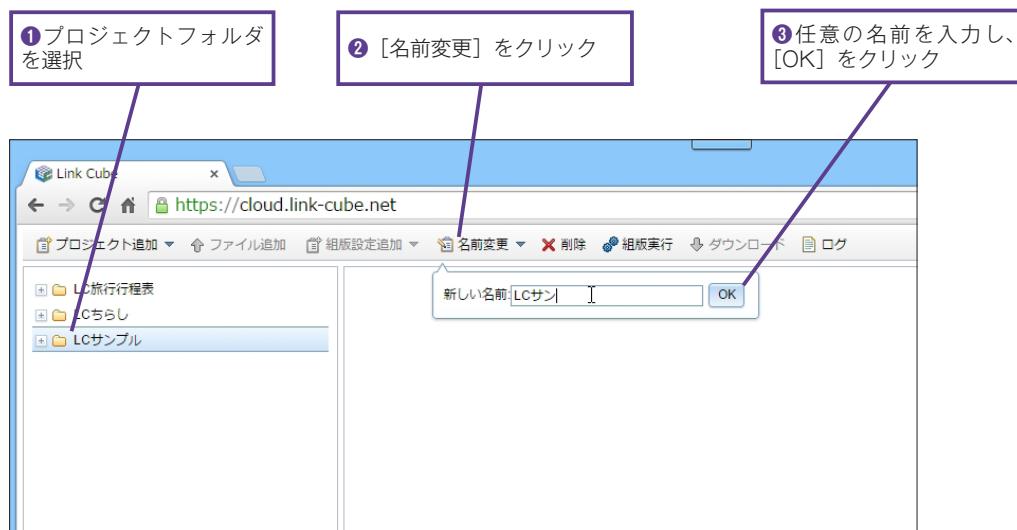
LinkCube

名前を変えよう

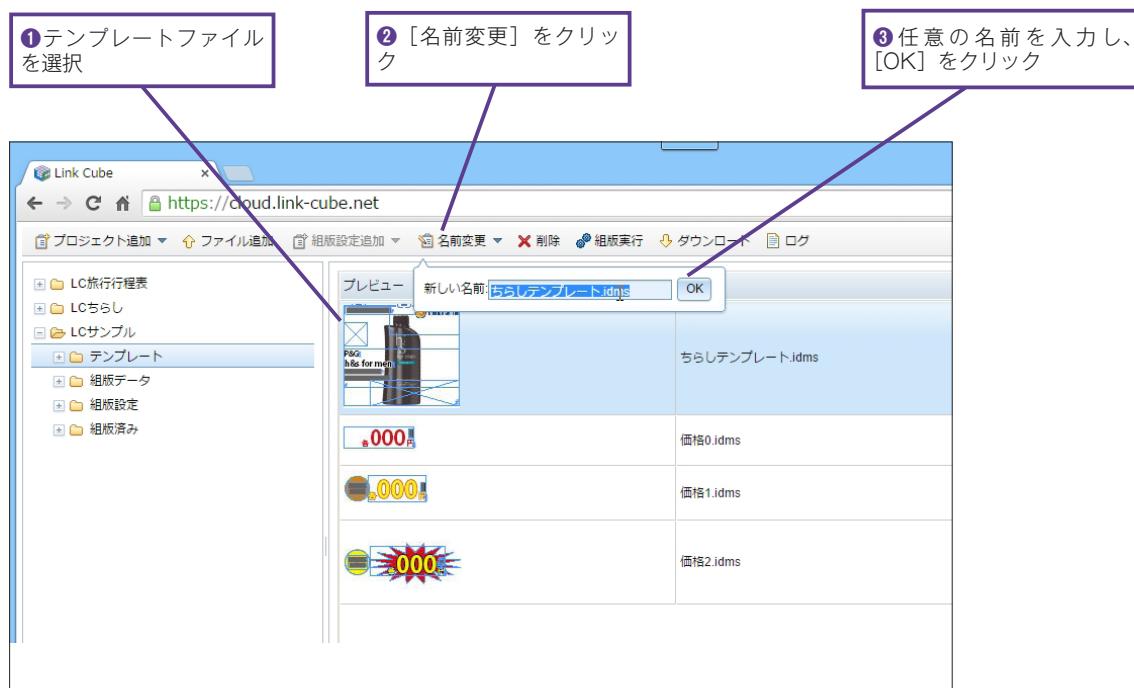
名前変更ボタンを使う

画面上部の名前変更ボタンで、プロジェクト名、テンプレート名、組版データ名、組版設定名、組版済みファイル名を変更することができます。フォルダ名（テンプレートフォルダ、組版データフォルダなど）は変更できません。変更したいプロジェクトや組版設定、ファイルを選択後、名前変更ボタンをクリックします。名前を入力し、OKボタンをクリックすると名前を変更します。

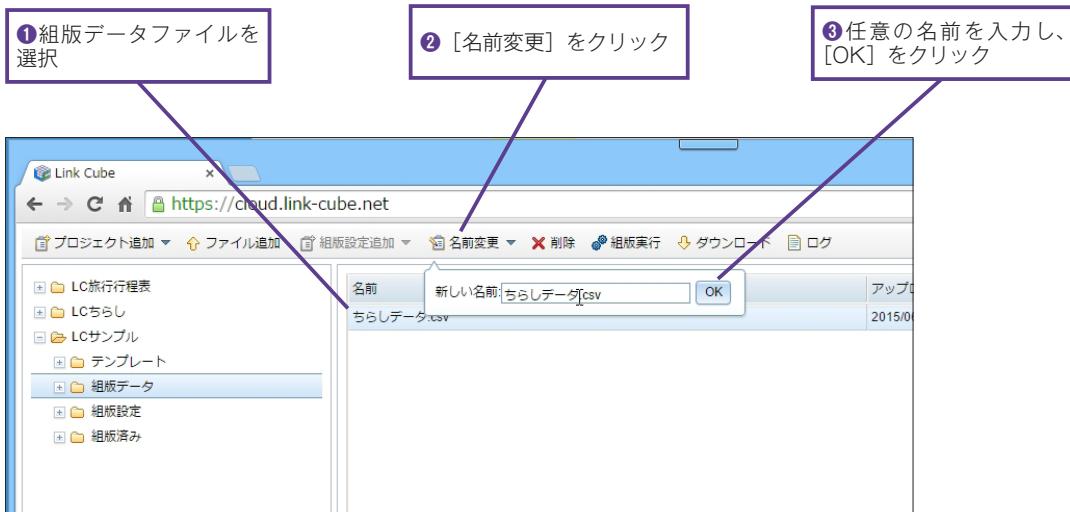
プロジェクトの名前を変えるには



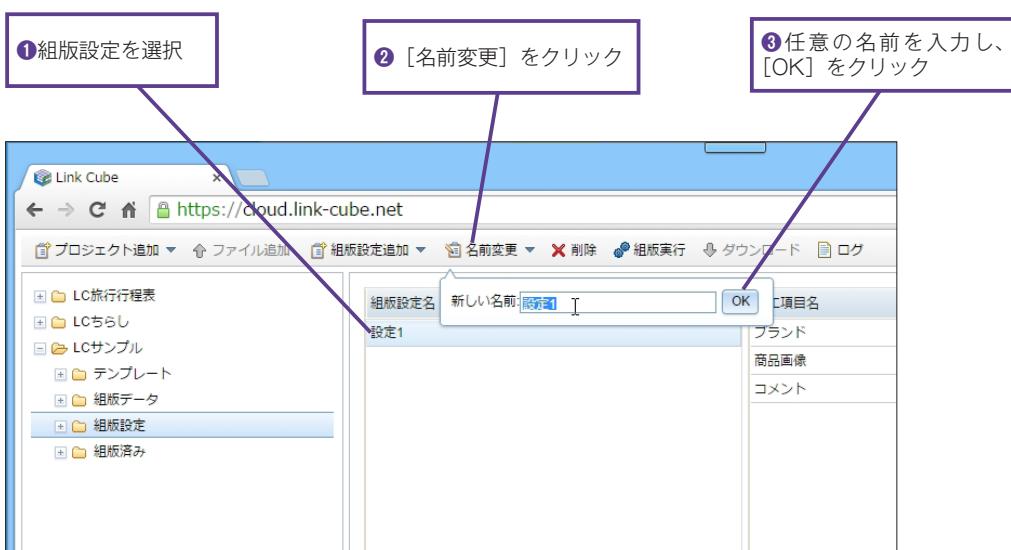
テンプレートファイルの名前を変えるには



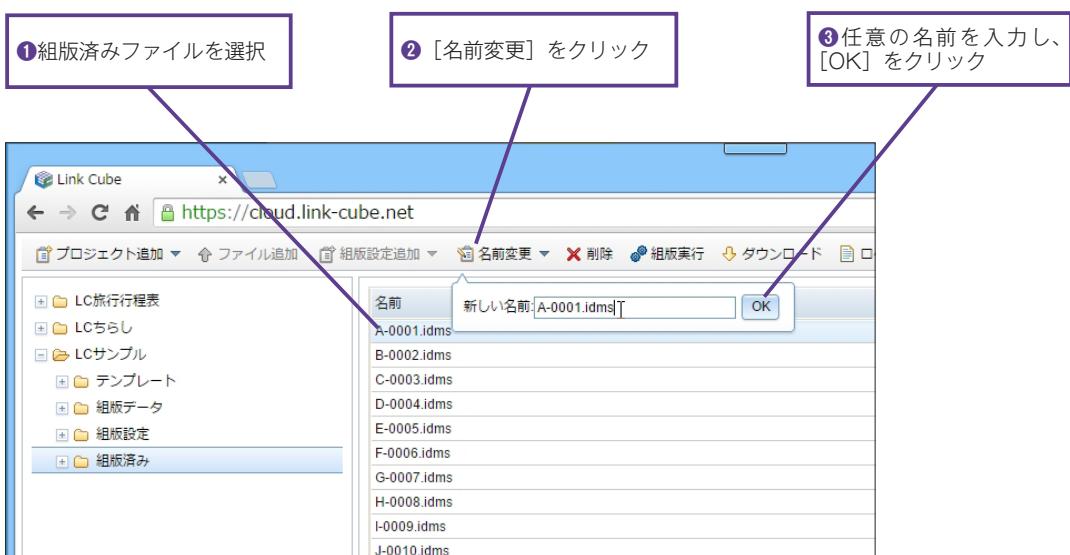
組版データファイルの名前を変えるには



組版設定の名前を変えるには



組版済みファイルの名前を変えるには



削除しよう

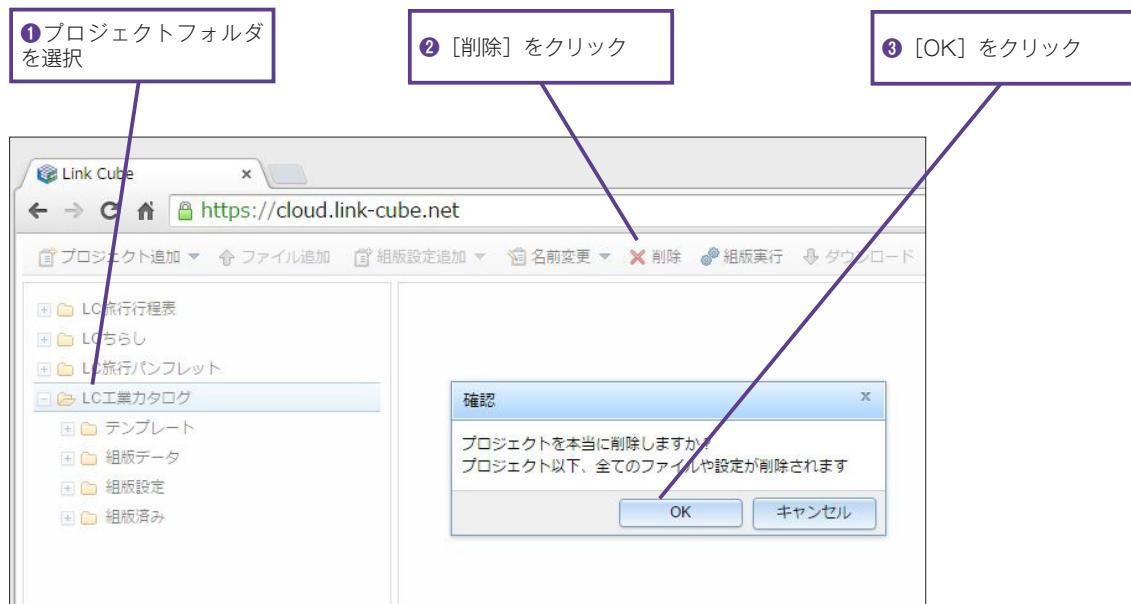
削除ボタンを使う

画面上部の削除ボタンで、プロジェクト、テンプレートファイル、組版データファイル、組版設定、組版済みファイルを削除することができます。フォルダ（テンプレートフォルダ、組版データフォルダなど）は削除できません。削除したいプロジェクトや組版設定、ファイルを選択後、削除ボタンをクリックします。プロジェクトを削除する場合は、確認ダイアログが表示されます。

複数選択削除

Tips プロジェクト以外は、複数選択できます。

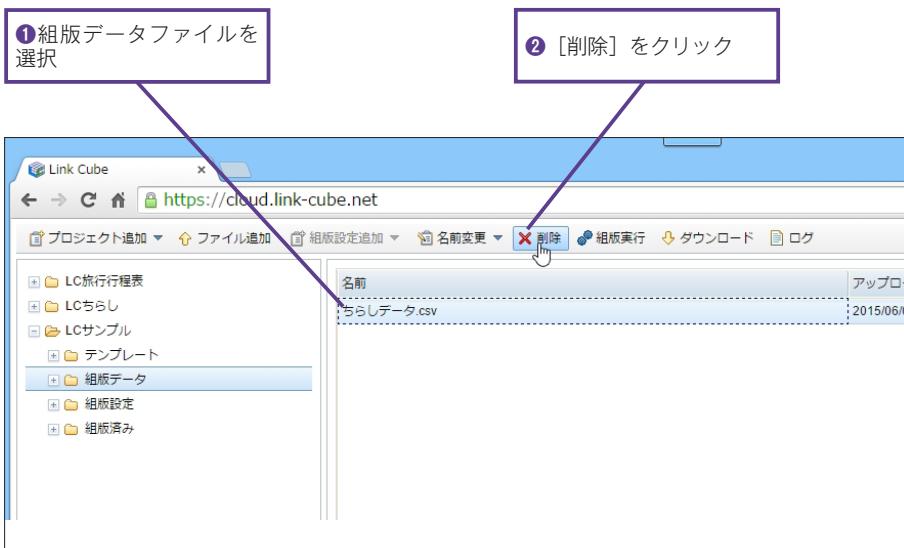
プロジェクトを削除するには



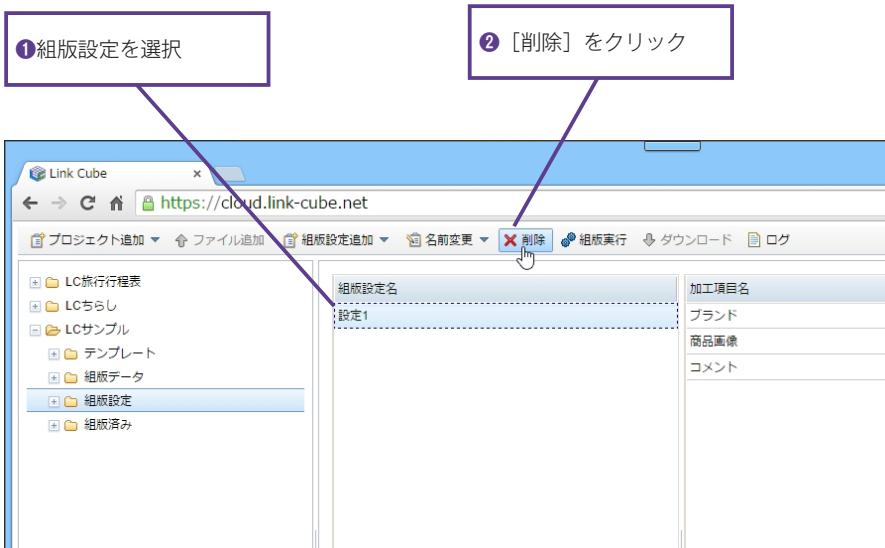
テンプレートファイルを削除するには



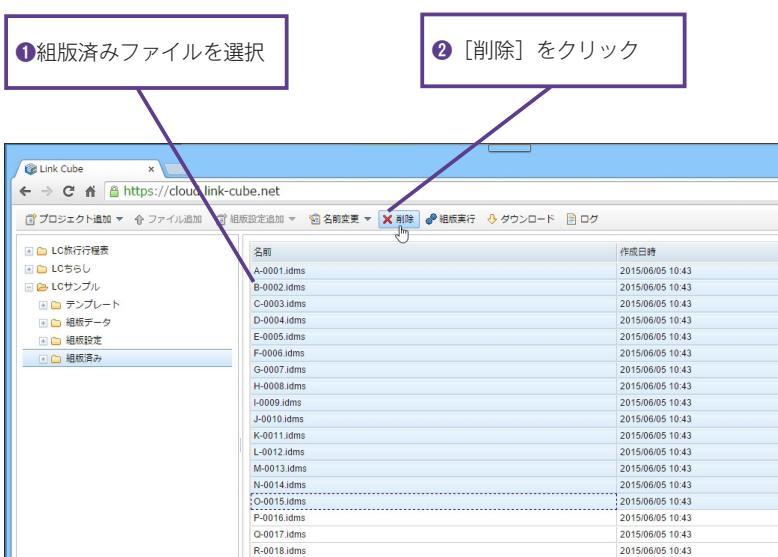
組版データファイルを削除するには



組版設定を削除するには



組版済みファイルを削除するには



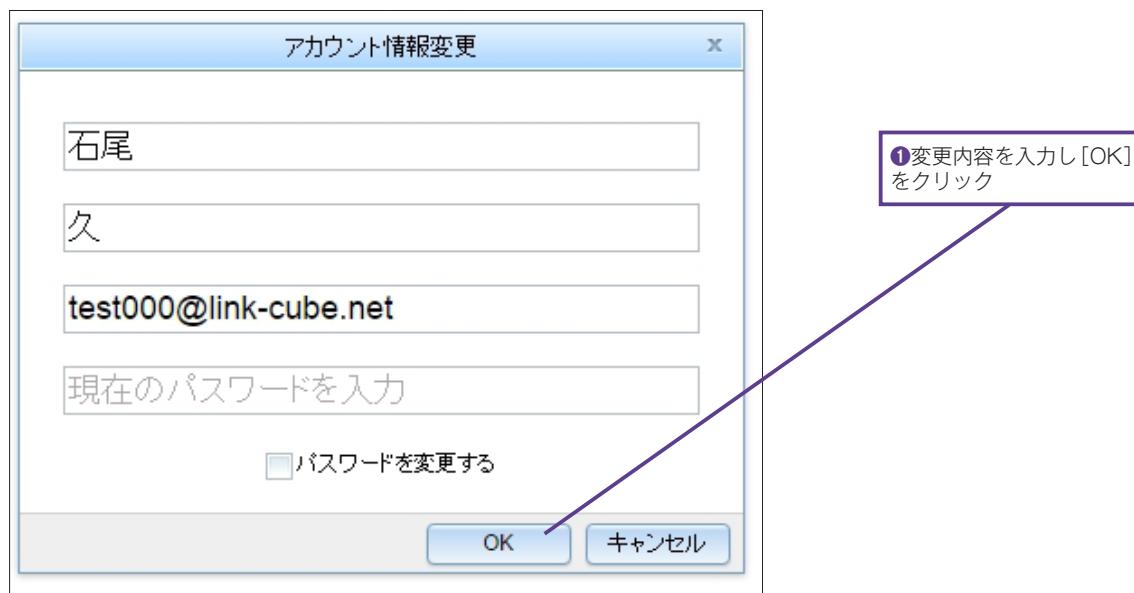
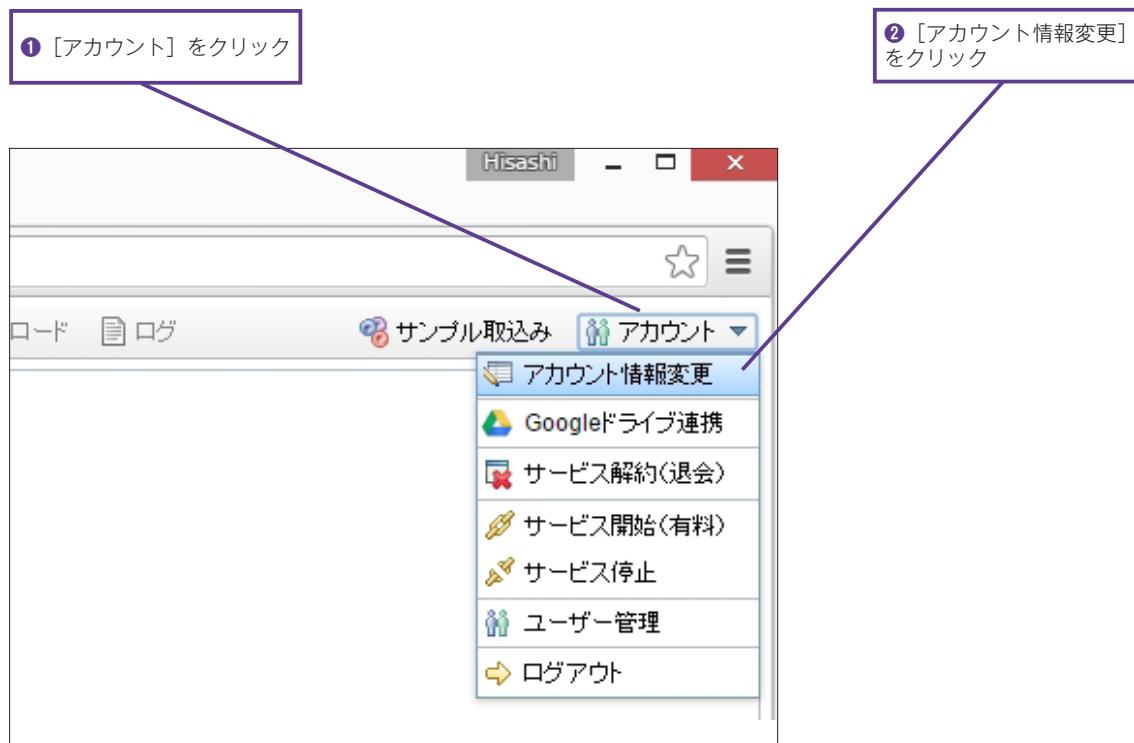
44

アカウント情報を変更しよう

アカウント情報を変更する

画面右上部のアカウントボタンから、アカウント情報を変更することができます。姓、名、メールアドレス、パスワードが変更できます。アカウント情報の変更には必ずパスワードが必要です。パスワードを変更する場合は、「パスワードを変更する」にチェックを入れると、新しいパスワードの入力欄が表示されます。

アカウント情報を変更するには



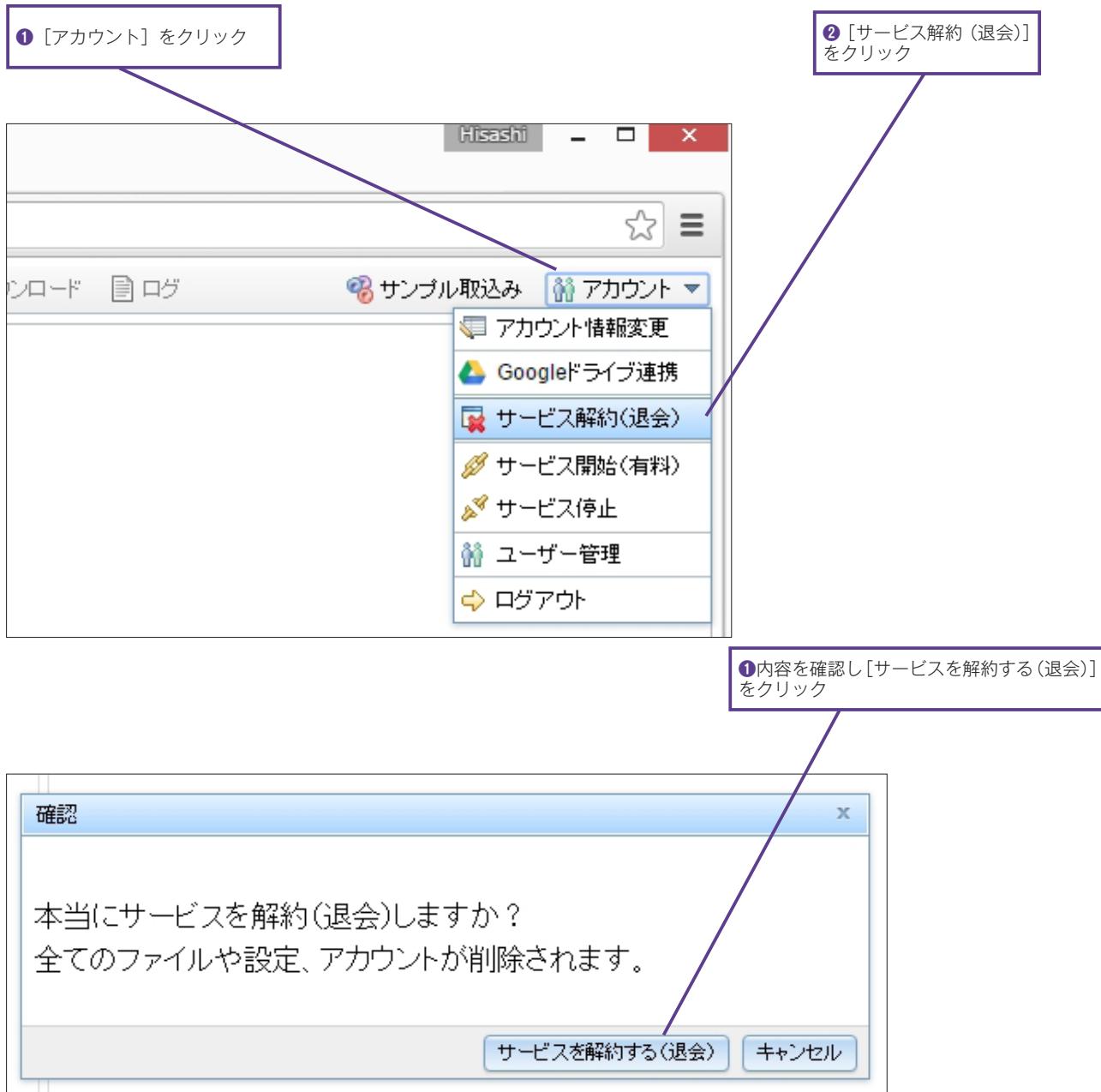
45

サービスを解約（退会）

サービスを解約（退会）する

画面右上部のアカウントボタンから、サービスを解約（退会）する事ができます。サービスを解約すると、全ての設定やファイルが削除されます。Google ドライブプロジェクトの場合、Google ドライブ内のファイルは削除しません。

サービスを解約（退会）するには



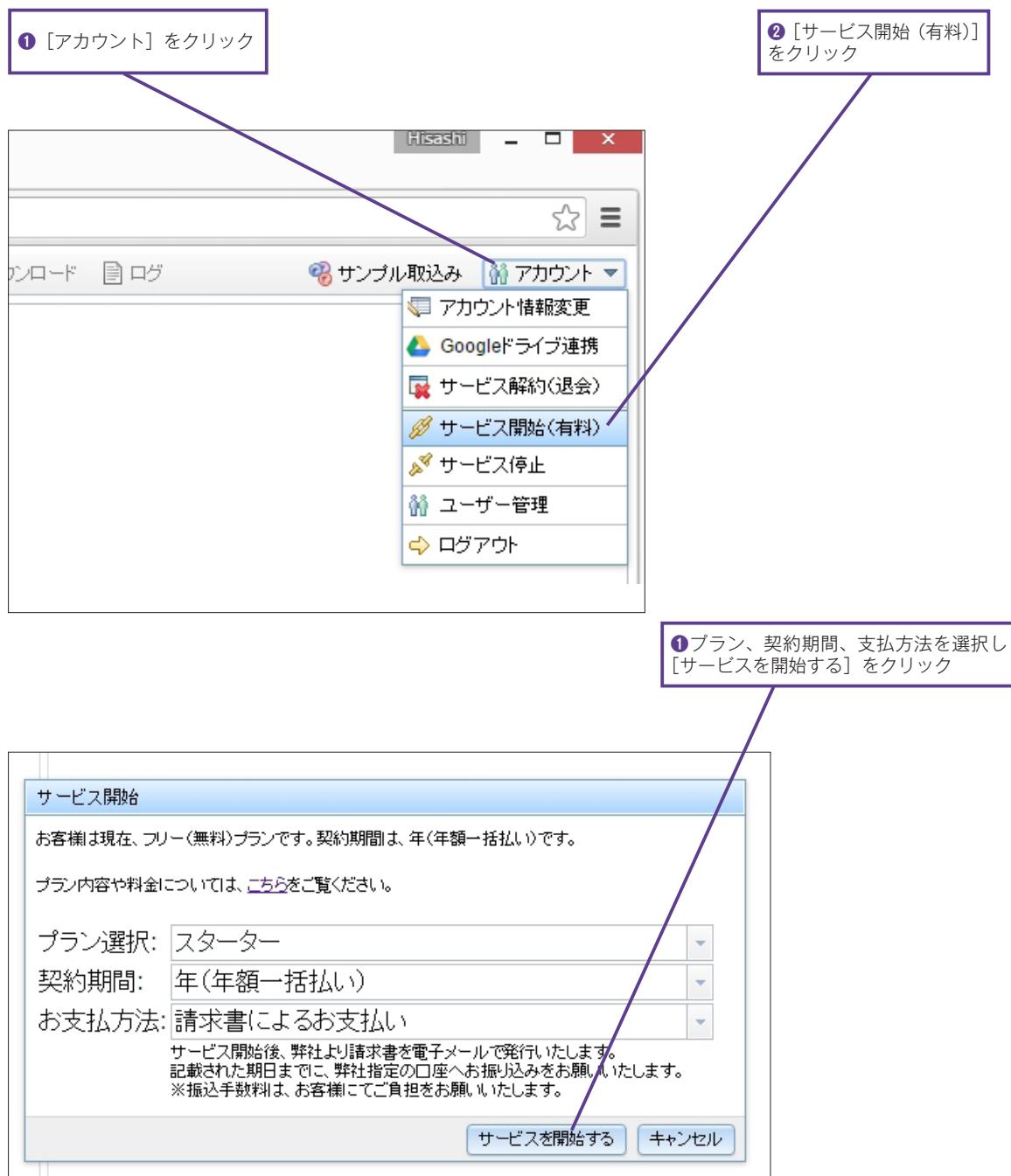
46

有料サービスを開始しよう

プラン、契約期間、支払方法を選択する

画面右上部のアカウントボタンから、無料プランを有料プランに変更する事ができます。プラン、契約期間、支払方法を選択し、「サービスを開始する」をクリックすれば、契約となります。

有料サービスを開始するには



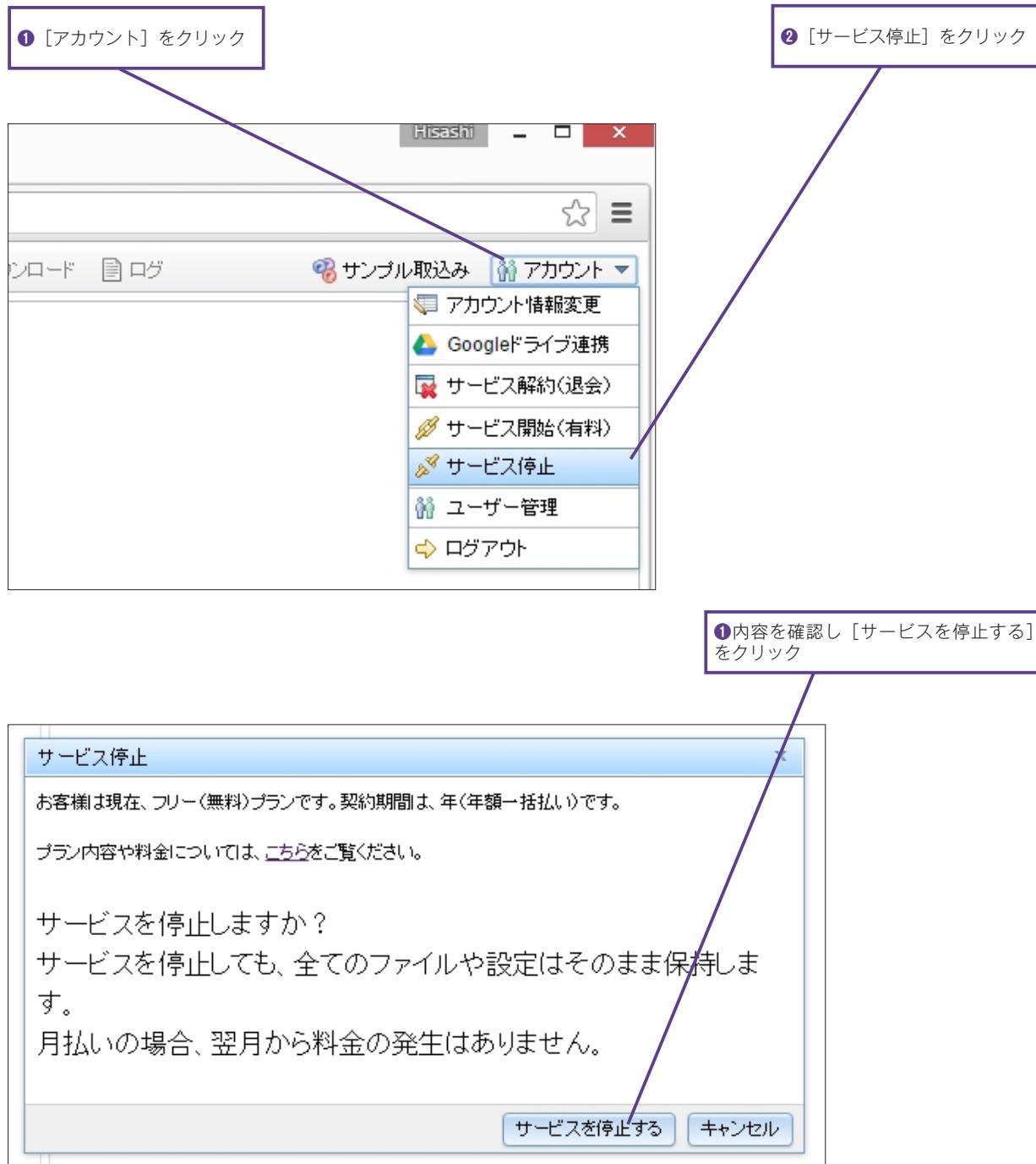
47

有料サービスを停止しよう

使用しない月は、サービスを停止する

画面右上部のアカウントボタンから、有料サービスを停止することができます。サービスを停止しても、全てのファイルや設定はそのまま保持します。月払いの場合、翌月から料金の発生はありません。内容を確認し、「サービスを停止する」をクリックすれば、停止となります。

有料サービスを停止するには



ユーザーを管理しよう

ユーザーを追加してプロジェクト共有する

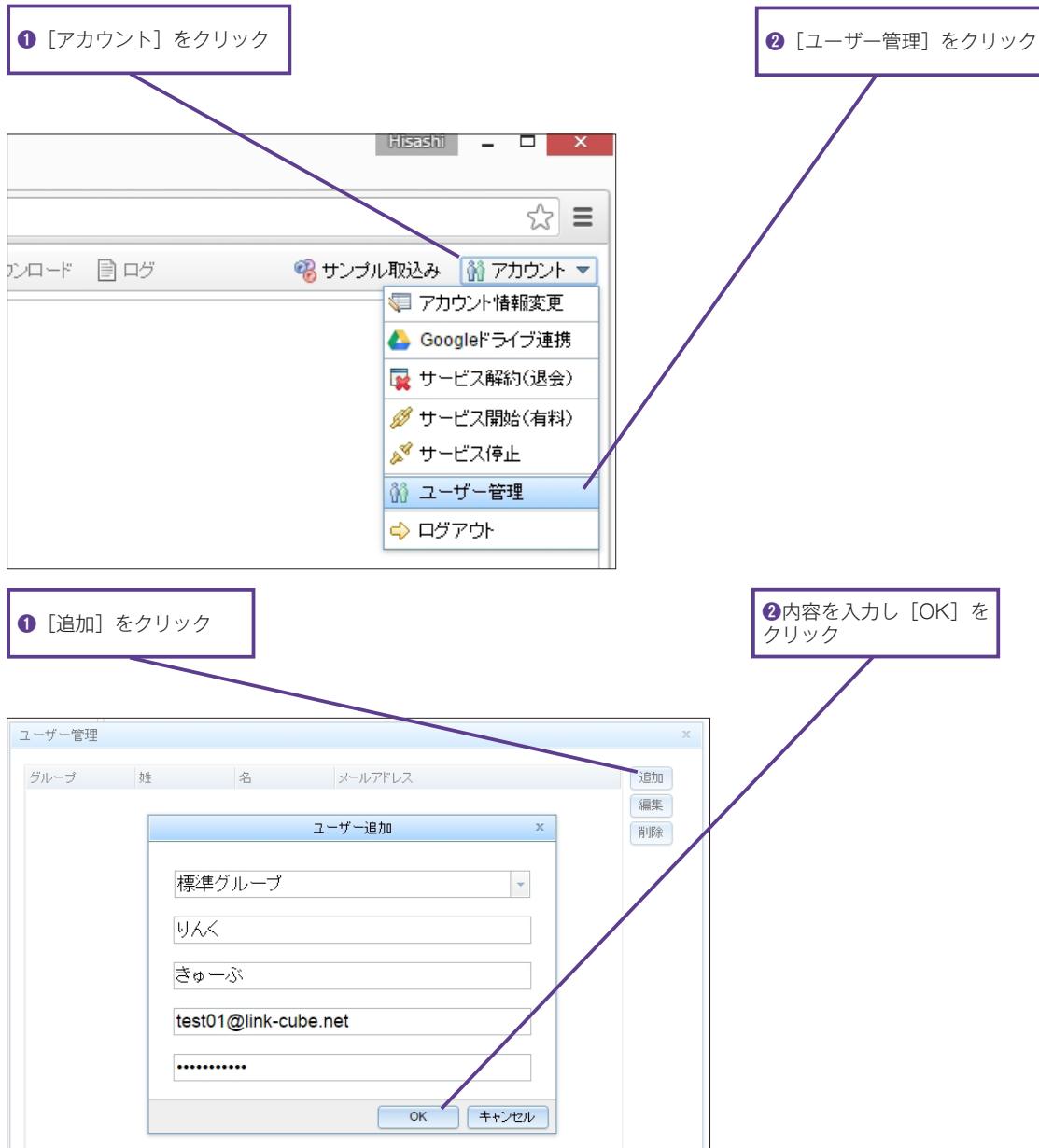
ユーザーを追加すれば、サービスを複数人で使用し、全てのプロジェクトを共有できます。追加できる人数はプランによって異なります。

ユーザーは、管理者グループまたは標準グループに属します。管理者グループと標準グループの違いは、管理者グループに属しているユーザーのみ、サービス契約操作（開始、停止、解約）、ユーザー管理操作、Google ドライブ連携を許可する操作を行えます。

管理者は、自分自身を標準グループに変更する事はできません。新規に管理者を追加し、新規管理者から標準グループに変更します。

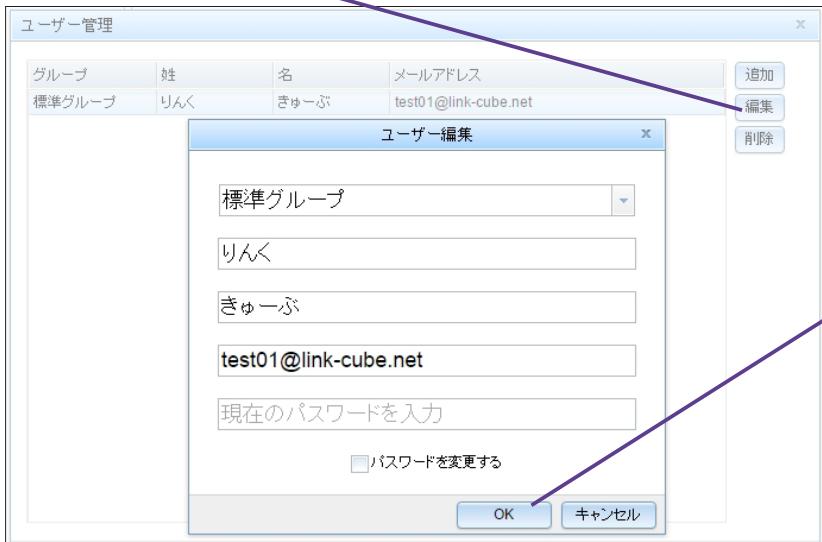
無料プラン登録時は、管理者グループとなっています。

ユーザーを追加するには



ユーザーを編集するには

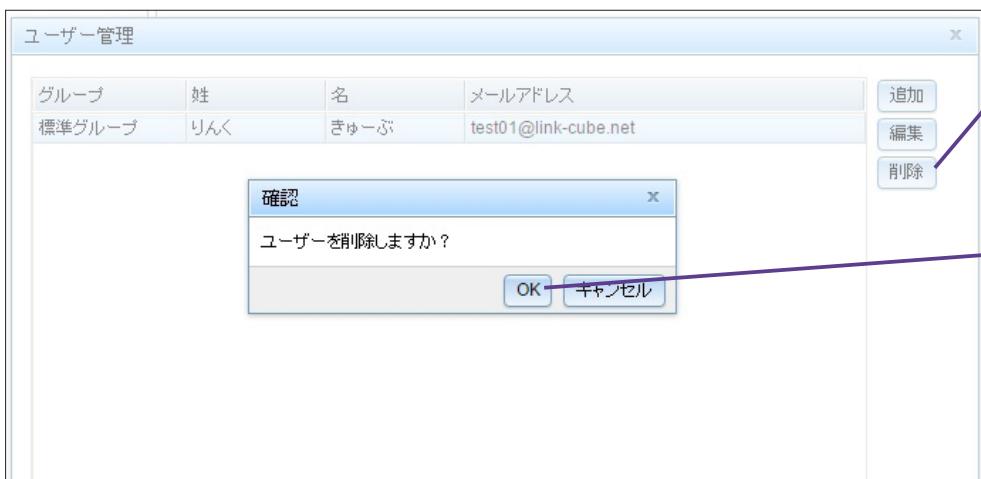
① [編集] をクリック



② 内容を編集し [OK] をクリック

ユーザーを削除するには

① [削除] をクリック



② [OK] をクリック